

2016 アプローチ

APPROACH

KOBE No.45 2016.1.31

特別投稿「学生作品を実現したリノベーション・プロジェクト」
特別企画「神戸市の空き家対策」



(一社) 兵庫県建築士事務所協会 神戸支部



神戸市耐震キャラクター
オキールファミリー

APPROACH No.45

(一社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部

巻頭挨拶	新年のご挨拶	神戸支部長	柏本 保	1
	新年に寄せて	神戸市長	久元 喜造	2
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 建築指導部長	浜田 有司	3
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 安全対策担当部長	鳥田 政明	4
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 建築指導部耐震推進課長	矢島 利久	5
	新年のご挨拶	一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社 住環境再生部長	中原 信	6
〈特別投稿〉				
	学生作品を実現したりノバージョン・プロジェクト	神戸芸術工科大学 環境デザイン学科	花田 佳明・川北 健雄	7
〈特別企画 神戸市の空き家対策〉				
	空き家活用相談窓口の開設	神戸市住宅都市局住宅部住宅政策課 民間住宅担当課長	吉田 亮浩	13
		神戸すまいとまちの安心支援センター 企画係長	藤田 耕治	
	特定空家等への措置	神戸市住宅都市局建築指導部安全対策課	藤谷 修司	15
	オールドニュータウンにおける中古住宅流通活性化モデルプロジェクト	～鶴甲団地における神戸すまいまちづくり公社の取り組み～	一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社 住環境再生部 支援課長	小川 直樹
	事業報告	定時総会・講習会・研修見学会		25
	活動報告	平成26年度 第2回法規講習会レポート	研修部 安藤 昇	29
		平成27年度 第1回法規講習会レポート	研修部 安藤 昇	30
		木質構造セミナーレポート	研修部 戎 眞弓	31
	事業部たより		事業部 前田 由利	32
	神戸支部一泊研修旅行 in 広島/小京都 竹原、宮島	三和シャッター工業㈱	三原 芳之	33
	An American in Japan: Travels in Hiroshima Prefecture with the Hyogo Association	日本滞在中のアメリカ人：兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆さんと広島への旅	ステファニー・カベニャロワン	36
	日帰り研修「ケイミー奈良TC見学と箸墓古墳・散策」	ケイミー㈱	奥村 美幸	40
	第32回親睦ボウリング大会			42
	同好会だより	KJ会(ゴルフ同好会)		43
		KM会(麻雀同好会)		43
		トレッキング同好会		44
	賛助会だより	タイルの歴史と博物館紹介	㈱LIXIL(INAXライブミュージアム学芸員) 竹多 格	46
〈建築士事務所キャンペーン〉				
	第22回 なた桜まつり	共催セミナー担当	成瀬 秀一	48
	第19回 灘ふれあい秋まつり	共催セミナー担当	成瀬 秀一	51
	平成27年度 建築士事務所キャンペーンを終えて	副支部長	藤澤 利行	58
	秋のキャンペーンに参加して	㈱北村鉄工所	太田 慧一	60
	建築士事務所キャンペーンに参加して	文化シャッター㈱ 関西支店営業開発部	谷向 康裕	61
	新入会員紹介			62
	受賞者紹介			64
	作品紹介			66
	平成27年度 神戸市すまいの耐震化促進事業のご案内			68
	ちょっとひと休み 島根県 出雲大社参拝旅行	関西塗研工業㈱	藤田 秀人	72
	会員の広場	バルセロナの建築をたずねて「モンタネールの遺産」	㈱ナックス建築設計事務所 中村 利明	74
		福井県立恐竜博物館を訪ねて	㈱吉田設計事務所 吉田 多雄	77
		ピフォーアフターの裏ばなし	YURI DESIGN 前田 由利	79
	投稿	第3回 神戸市都市デザイン賞募集!!	神戸市住宅都市局 計画部まちのデザイン課 課長	西 修
		これからの安心安全タイル張りセミナー	(一社)全国タイル業協会 理事・需要喚起委員会委員長	古津 彰宏
		タイルデザインの最新トレンド	名古屋モザイク工業㈱	相澤 昭郎
	第2回 フォトコンテスト		広報部 前田 信行	93
	協賛広告			99
	編集後記			107

本誌の掲載文は、執筆者が個人の責任において自由に書く建前をとっております。
掲載文の文責は執筆者本人にあります。



新年のご挨拶

神戸支部長 柏 本 保

新年明けましておめでとうございます。
神戸支部会員並びに賛助会員の皆様には、平素より支部の活動にご支援賜りまして心から感謝申し上げます。

平成26年5月9日開催の第55回定時総会におきまして神戸支部長を拝命してから1年9ヶ月が経過しました。平成16年から8年間本部専任となり、副会長を務めさせていただき、しばらく神戸支部の役職を遠ざかっていましたので、当初は神戸支部の現在の機構を把握するのにやや時間がかかりましたが、2年目を迎え3人の副支部長や幹事の皆様に支えられ、支部長職にやっとなじんできた感じがいたします。

我が神戸支部は平成27年12月末日現在、正会員118名、賛助会員38名と全県下会員数の約1/4を占め、年間の事業も他支部が羨むほど圧倒的に多く、大阪会の各支部よりも事業数が多いと聞き及んでおります。これもひとえに正会員・賛助会員のご協力の賜物と感謝申し上げます。

私的なことではありますが、一昨年12月7日の第1回トレッキング同好会(六甲山～有馬コース)参加の後、有馬で温泉に浸かったのですが、翌日から右足首に違和感があり、翌々日には右足ふくらはぎが腫れあがり、その夜は激痛でベッド上で七転八倒。朝まで一睡もできない状態でした。翌日、朝一番に病院に飛び込みましたが、医者の診断は『蜂窩織炎』。右足首に多少かぶれ傷があり、なんらかの要因で細菌が入り、発症したようです。

しばらくは抗生物質での治療となり腫れは治まったのですが、1週間後には患部に大きな傷が浮かび上がり、その後症状は悪化する一方。傷の周囲が壊死状態、傷全体がクレーター状態となり、脳天に突き抜けるような痛みとの格闘となりました。結局2ヶ月間処方された軟膏治療では回復できませんでした。

結果的に昨年3月5日に神戸市民病院に入院し、4時間かけての大手術で脇腹の皮膚を横3cm縦9cm深さ5mm程度切り取り、患部に移植いたしました。6月頃からやっとまともに歩行できるようになりましたが、その間ほとんど松葉杖歩行で、アスリートを自負する私にとってはなんととも情けない状況でした。

会員の皆様にはご心配をおかけいたしましたがおかげさまで11月いっぱいでもリハビリを終え、順調に回復しております。すでに10月よりジョギングを開始、無謀にも来年3月の篠山マラソンにエントリーいたしました。

さて、今年度も灘の桜祭りへの参加、3年連続

の板宿の建築士事務所キャンペーンをはじめ、広島方面(広島平和祈念資料館、竹島、安芸の宮島視察)への一泊二日の研修旅行、一昨年から会員親睦のために立ち上げたトレッキング同好会、本部から依頼のあった兵庫木材フェアへの参加、生き生き下町協議会への参加、賛助会主催の日帰りセミナー、KJ会、KM会、会報誌の発行と順次精力的に事業を消化してまいりました。

さらには、神戸支部長として、神戸市長主催の『空き家等対策計画に関する協議会・有識者会議』、『神戸市の今後五ヵ年計画の新たな建築物耐震改修促進に関する有識者会議』に参加し、我々建築士事務所が協力できることに関し積極的に意見具申をいたしました。

ただし、順調に見える我が神戸支部におきましても問題点が露呈してきました。他の会同様に会員の高齢化と、本部・支部の世話役候補の若手の人材不足です。今後若手の後継者を育成しなければ、支部の色々な事業の運営が滞る可能性が出てまいります。今後の大きな課題となっております。

いずれにせよ、我々設計事務所の目的は、建築を通じて地域への社会貢献を行ない、ひいては建築文化の発展に寄与すること。安全な住まいを設計し、市民の皆様が安心して生活していただくよう日々技術力を練磨すること。さらに事務所の地位向上のために活動し、一般市民の方々へ設計事務所の職能を認知していただくための努力を惜しまないこと。以上3点につきると思います。

昨年は相次ぐ重大問題に揺れ動いた建築界でした。例の平成17年に発覚した『姉齒元建築士の構造偽装の事件』以来、10年振りに3月の免震偽装問題、10月の傾斜マンションに端を発した『杭のデータ改ざん問題』が露呈し、建築業界に激震が走りました。今後、我々設計事務所の監理方法に関しさらなる締め付けが始まることが予測されます。

改正建築士法、改正建築基準法が今年6月から施行されましたが、姉齒事件以降の法律の厳しい締め付けがやや改善されつつある矢先での事件で残念なことです。単なる締め付けだけではなく、今後問題解決に向けた冷静な論議が必要になると思います。

これらの事件を糧とし、全ての建築士が手を携え安全安心なまちづくりのため、さらに邁進する必要を痛切に感じております。

今後も神戸市の皆様、正会員、賛助会員の皆様の神戸支部へのご指導、ご協力をお願いいたします。私の年初めのご挨拶とさせていただきます。



新年に寄せて

神戸市長 久元 喜造

あけましておめでとうございます。皆様が、健やかに新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、日ごろから市政に対し格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、戦後70年、阪神・淡路大震災から20年という節目の年でした。災害等に対する備えを怠ることなく安全・安心なまちを築いていくため、また、神戸を安定した成長軌道に乗せるため、様々な施策を進めてきました。

都心の将来ビジョン・三宮周辺地区の再整備基本構想、神戸創生戦略などの策定、保育所待機児童の解消に向けた取り組みや医療産業都市の推進、あるいはスタートアップオフィスという新たな産業振興の取り組みなどにも取り組みました。

今年は、これらの取り組みが実を結び、少しでも多くの皆様に「神戸のまちが変わった」と感じていただけるよう、また、神戸が選ばれるまちになるよう、子育てのしやすい環境や公共交通の充実、教育水準の向上、ビジネスがしやすい環境づくりなど、各分野の政策をバランスよくすすめて、神戸の魅力や活力、都市の総合力を高める施策をさらにスピード感をもって進めてまいります。

これまでの歴史やまちの歩みをしっかりと受け継ぎながら、ポスト阪神・淡路大震災20年という新しいステージに踏み出し、「輝ける未来創造都市」を実現するため全力で取り組んでまいります。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様におかれましても、引き続き市政へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、すばらしい年となることをお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

建築指導部長 浜田 有司

あけましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆さまには、日頃より神戸市の建築指導行政に格別のご理解とご協力をたまわり、厚く御礼申し上げます。

昨年は、基礎杭のデータ偽装問題で建設業界に激震が走り、それは今も続いています。今後抜本的な再発防止策等が国より打ち出されていくことと思いますが、その中で設計・施工に携わる者や行政の新たな責務も明らかになってくるものと思われま。建築物の安全性は常に最重要課題であるということ、新しい年を迎えるにあたり、あらためて肝に銘じておきたいと思ひます。

さて本年は、本市の建築指導行政にとって大きな施策目標となる二つの計画をスタートさせる年となります。

ひとつは、増え続ける空家問題に対処するために制定された「空家等対策の推進に関する特別措置法」にもとづき策定する「神戸市空家等対策計画」、もうひとつは、平成19年度から9年間にわたり進めてきた「神戸市耐震改修促進計画」を見直して新たに作る耐震改修促進計画です。いずれの計画も本年4月からスタートする予定です。

人口減少社会を迎え、神戸のような大都市においても空家は年々増加し、いまや市内の住宅総数の13%を超えるまでになりました。空家解消の根本的な対策は、都市の活性化や人口の呼び戻し

により空家状態をなくしていくことにありますが、老朽化して周辺環境に悪影響を及ぼしている空家を、必要に応じて除却したりしながら、適正に管理していくことが建築行政の重要な課題となっています。本市ではこの空家対策に積極的に乗り出すことにいたしました。

阪神・淡路大震災から20年が経ち、住宅・建築物の耐震化への取り組みが継続して続けられてきた中で、耐震化率も大きく改善してまいりました。しかしながら、所有者の高齢化によって改修がなかなか進まない住宅があったり、地域によって耐震化の進捗状況に差がみられるなど、新たな課題も見えてきました。これからは住宅所有者の状況や地域特性などを踏まえた施策を考えていくとともに、命を守るための建築物の耐震化の重要性を市民ひとりひとりに理解してもらい取り組みも大事です。

さらに、これらの空家対策と耐震化施策は、それぞれ単発的に行うのではなく互いに連携しあうことで、より効果的な解決策に繋がっていくのではないかと考えております。より安全で安心なまちづくりを目指して、専門家である皆さまにおかれましても、是非この取り組みに参画していただきたいと思ひます。

これからも皆さまのご尽力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

安全対策担当部長 烏田 政明

新年あけましておめでとうございます。

平素は建築指導行政にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

近年、所有者等による適切な管理が行われていない空家が、防災、衛生、景観など、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることを背景に、平成27年5月に「空家等対策の推進に関する特別措置法（以下、特別措置法という）」が全面施行されました。

本市においても、空家は増加傾向にあり、市民生活への影響がますます顕在化すると見込まれます。空家の対策を総合的かつ計画的に推進するため、平成28年3月に「神戸市空家等対策計画」を策定（予定）するとともに、必要な条例制定等を行い、平成28年4月からの空家対策を強化してまいります。

空家対策の今後の主な取組みは、以下のとおりです。

◆所有者等による適正管理

所有者等による適切な管理責任を明確化するとともに、具体的な管理方法などの情報提供を行うことで、所有者等による空家の適正管理を促します。所有者への専門家派遣制度については、これまでも貴支部の皆様にご協力いただいております。引き続き皆様のお力添えのもと取組みを進めていきたいと考えております。

◆空家の活用支援

平成27年11月30日に開設した「空き家活用相

談窓口（すまいるネット内）」において、貴支部をはじめとする建築関係団体や不動産関係団体などと連携し、空家の所有者からの空家の活用、管理、売却などに関する多様な相談に対応し、活用されていない空家の流通促進を図ります。また、空家の活用事例のPRにより、空家活用の気運づくりを行います。

◆特定空家に対する措置

老朽化などにより周辺へ悪影響を及ぼす恐れのある空家（特定空家）については、悪影響の程度と危険等の切迫性により、助言・指導、勧告、命令、代執行などの必要な措置を実施し、周辺住民の生活環境の保全を図ります。

措置が必要な悪影響の例：

- ・ 保安上危険…倒壊など
- ・ 衛生上有害…ごみなどの放置や衛生動物の住みつきなど
- ・ 生活環境保全…雑草・立木の繁茂や防火・防犯など

このような空家対策の取組みを通じ、神戸の安全・安心・快適なすまい・まちづくりを推進するにあたっては、神戸支部の皆様のご参画が不可欠と考えておりますので、今後も引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

建築指導部耐震推進課長 矢島 利久

新年明けましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、平素よりすまいの耐震化促進事業の運営について、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

年の初めは、いつも華やいだ心持ちとともに、毎年1月17日が阪神・淡路大震災の発生した日であることから、震災の経験と教訓を風化させることなく、住宅・建築物の耐震化をより一層推進してまいりたいと決意を新たにします。

神戸市では、平成20年2月に「神戸市耐震改修促進計画」を策定し、市内の耐震基準を満たしていない建築物の耐震安全性を確保するための様々な取組みを進めてまいりました。平成24年度には、県と市の耐震改修補助申請の窓口を一本化して、申請手続きの簡素化や審査期間の短縮化を図りました。その後も、小規模型耐震改修工事、戸建住宅の建替え工事費等に対する補助制度の創設や、分譲マンション向けに、段階的な耐震改修工事を行う場合も補助制度の対象とするなど、市民ニーズにきめ細かく応えてきました。

これらの支援制度やすまいの耐震化の普及啓発を集中的に行うために、神戸市・神戸市すまいとまちの安心支援センター（すまいるネット）では、市民団体や専門家団体・報道機関等と連携し、毎年9月・10月に「すまいの耐震キャンペーン」を開催しています。

昨年度も、貴支部の耐震診断員の皆様には、お

忙しい中、「灘ふれあい秋まつり」や板宿商店街での「建築士による“住まいの相談会”」を開催いただき、ありがとうございました。身近な場所で専門家に相談する機会があることで、市民の方々の住まいに関する不安を少しでも解消できたかと思えます。

また、平成27年度は、耐震改修促進計画の目標年次にあたり、本年3月の計画改定に向け、貴支部の柏本支部長にもご参画いただき、これまでの取り組みの検証と今後の課題・目標について検討を行いました。

様々な取り組みの結果、平成25年時点の住宅の耐震化率は約91%を達成しましたが、昭和56年以前の旧耐震基準住宅で耐震性のないものが約6万7千戸存在すると見られることから、今後はこの数を減少させていくことが喫緊の課題であり、目標であると考えております。

貴支部の皆様には、耐震相談、耐震診断員派遣事業等を通じて市民の皆様と行政を結ぶ重要な役割を担っていただいております。今後も、建築士である専門家、地域住民、そして行政が一体となって、すまいの耐震化を進める必要がありますので、引き続き、皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も皆様方の益々のご多幸とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社
住環境再生部長 中原 信

新年明けましておめでとうございます。

平素より当公社の事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当公社では、すまい・まちづくりを通じ、市民の豊かな生活に貢献することを使命として、行政と民間の狭間の課題に先導的に対応していくことが重要な役割と考えております。

その象徴のひとつが、設立当初より兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様方から多大なご協力をいただいている「すまいるネット」であります。おかげさまで、すまいるネットは今年で開設16周年を迎える予定であり、神戸市をはじめ、多くの関係機関から高い評価をいただいております。皆様方からのご支援に深く感謝申し上げますところ です。

すまいるネットでは、すまいに関する相談業務からまちづくりの専門家派遣まで、すまいまちづくりの分野において、市民をワンストップで支援していく体制を整えておりますが、その業務は年々拡大しております。これまで、すまいの耐震

化、高経年マンションの支援、団地再生など様々な事業に取り組んでまいりましたが、特に近年、全国的に大きな課題となってきた空き家について、その流通や適正管理を促すため、昨年11月に「空き家の活用に関する相談窓口」を新たに開設したところです。空き家を含めた中古住宅流通の活性化につきましては、今後とも、住宅インスペクションの普及などすまいの安全、安心をサポートする取り組みがさらに重要になってくると思われ ます。引き続き、皆様方のご支援をお願いする次第です。

また、当公社では一般賃貸、直営特優賃、借上特優賃など87団地・約3,400戸の賃貸住宅の経営管理事業を展開しております。今後、これらの住宅の外壁改修などの大規模修繕工事や、様々な施設のリノベーション工事などを計画的・継続的に実施する予定でございますので、引き続き皆様方のお力をお借りしたいと考えているところです。

本年も、変わらぬご指導とご鞭撻をお願いするとともに、皆様方の益々のご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

学生作品を実現したリノベーション・プロジェクト

神戸芸術工科大学 環境デザイン学科
花田 佳明・川北 健雄



本学科の学生たちとともに。多様な居方ができる空間であることがよくわかる。

1. プロジェクトの背景

人口減少が進む中、このままでいくと消滅する自治体すら発生しかねない状況であり、それへの対策は日本の最重要課題といってよい。都市部であっても、高度成長期に開発された郊外住宅地では高齢化が進み、空き家の老朽化が進んでいる。また中心部においても、使われなくなったオフィス、商業ビル、賃貸マンションなどをどうしていくのかが大きな問題である。

そのような状況をふまえ、神戸芸術工科大学環境デザイン学科でも、既存ストックの利活用などの問題を、授業や研究、そして実践の場においてできるだけ多く取りあげてきた。さらに今年度からはリノベーションコースも立ち上げた。また、

いくつもの自治体から依頼を受け、まちおこしへの協力なども行なっている。

そのような活動の一環として、2010年より、神戸市の不動産会社・大和船舶土地株式会社と協働して、まさに前述したような問題を抱える神戸市須磨区の住宅地を対象に、古い建物のリノベーションや町の活性化に取り組んできた。その内容は、本誌44号(2015年1月)に「リノベーションによる個別更新を通したまちの魅力づくり」(川北健雄、花田佳明)として発表した。

その後も同社とは様々なプロジェクトを実践しているが、今回は、本学科の実習授業の一環として制作された学生作品を実際に施工したプロジェクトを紹介したい。

2. プロジェクトのスタート

前述の記事に書いた2棟の木造アパートのリノベーションが終わったあと、大和船舶土地株式会社から、同社が所有する中規模賃貸マンションの空き住戸の改修を考えてほしいという依頼があった。

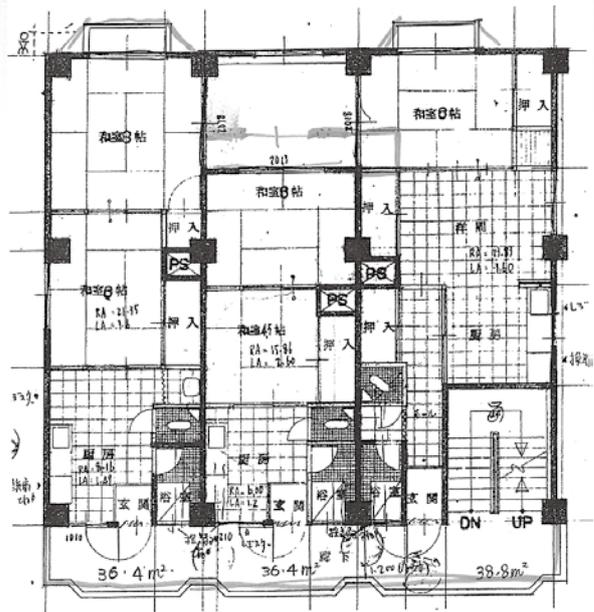
本学科では、学生の専門性を高めるために、3年生の後期に設計を学ぶ主要な実習科目を、建築系/ランドスケープ・まちづくり系/リノベーション系と分けている。ちょうど今年度の課題を作る時期であったため、それをリノベーション系の実習課題にしたいと考えた。さらに、優れた学生案が出ればそれを元に設計をまとめ実現できないかという提案をしたところ、ご快諾いただいた次第である。

対象となったのは、神戸市兵庫区の下町に建つ5階建て中規模賃貸マンションである。1階はテナントオフィス、2階から5階に12の住戸があり、3階の約37㎡の住戸が改修対象だ。周囲には、大型スーパー、マンション、木賃アパート、戸建て住宅などが混在し、三宮への地下鉄の駅がすぐそばにあって交通の便は良い。

実はすでに2住戸の改修が終わっていた。設計はいずれも、我々のプロジェクトでも協働してきた建築家の安田利宏氏(ランドサット)で、2014年度のグッドデザイン賞も受賞している。それに続けて3戸目の改修をしようという構想である。



対象マンションの外観



現況平面図(対象住戸は右端)

3. 授業の様子

授業は、2014年の9月23日が出題、12月10日が提出締め切り、12月16日が最終講評会というスケジュールで進んでいった。もちろん学生には、優秀案を実現するという前提を伝え、発奮材料にしてもらった。主担当者は花田で、2名の非常勤講師(島田陽/タトアーキテクト、笹岡周平/ワサビ)も加わった。

20数名の学生がこの課題を選び、まずは全員で現地見学と実測に赴いた。同時に、既に改修された2住戸を見学した。

優秀案は実現するという前提であり、規模も小さいので、実施設計レベルの図面を描くことを目標にした。そのために、既に改修された住戸の実設計図をご提供いただき、見学時に学生に配布して図面と実物を対照しながら解説をした。また、実施図面の描き方を解説する授業も行なった。さらに、大和船舶土地株式会社の鈴木祐一社長による、不動産業から見たリノベーションについての実践的なレクチャーも実施した。



現地見学



改修済み住戸の見学

学生には、借り手のイメージやそこでのライフスタイルを想像しながらスタディを進めることを要求した。多くの学生は、それまでの規模の大きな課題とは異なる小さなスケールの設計を楽しみ、最終的には予想以上に多様な作品が提出された。

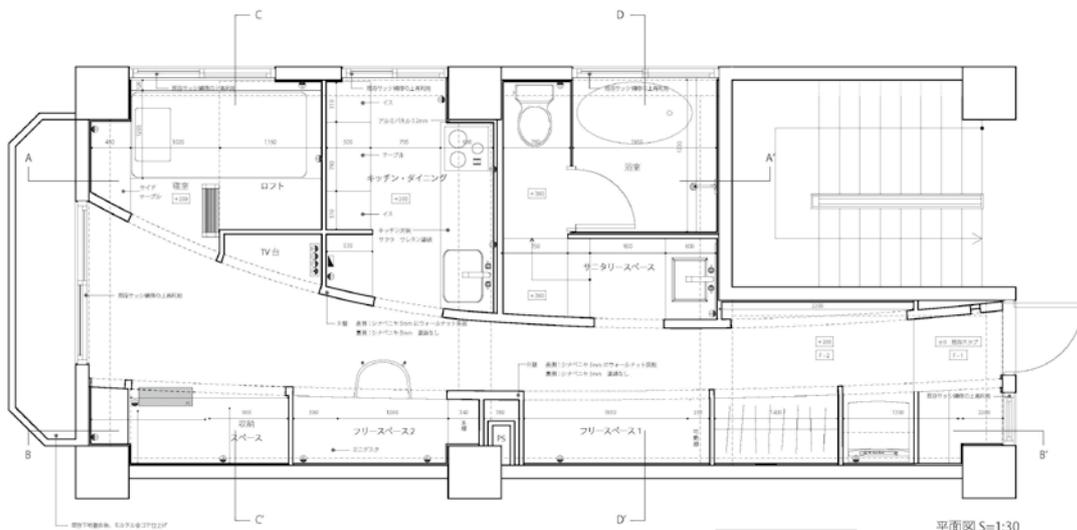
講評会が終わってから関係者で実施案の選定を行なった結果、以下のような点において最も高い

評価を受けた久木楓さんの「tiny space」という作品を実現することに決定した。この選定理由は、履修した全学生に発表した。

- 2枚の緩やかにカーブする壁によって大きな骨格を与えた上で、その内部に小さなスケールの空間を埋め込んだ構成は実に明快である。
- このような小規模の住戸デザインの多くはワンルーム化する傾向にあるのに対し、あたかも家具の中に住むかのような迷路状の空間は希有な発想であり興味深い。
- こういった空間のスケールや構成は、現在の都市の様相や現代人の都市観を象徴しているのではないかといった想像を誘う力がある。
- 小規模なワンルームマンションの住戸空間として既視感の無いデザインであり、実現してみたいと思わせる力をもっている。



採用された学生案のパース



採用された学生案の平面図

4. 実施設計から完成へ

実施設計は安田氏の事務所でまとめることになり、鈴木氏、安田氏、学科教員、学生・久木氏で打合せをしてまとめていった。ちょうど春休みになり、学生は安田氏の事務所に通って模型作りなどの手伝いをし、現場での材料決めなどにも参加して実践的な勉強をした。

その結果2015年4月初めに無事竣工し、4月11・12日に見学会を実施した。本学科の学生はもちろん、一般の方から建築の専門家まで多くの来訪者があり、複雑なのに居心地のよい空間はたいへん好評だった。

さらに2015年度のグッドデザイン賞へ応募し、見事受賞した。応募に当たっては、作品タイトルを「都会で暮らす私のための小さくて大きな『秘密基地』」とし、学生の名前を設計者リストの筆頭に置いた。彼女は二次審査や表彰式に出席し、さらに貴重な経験をした。



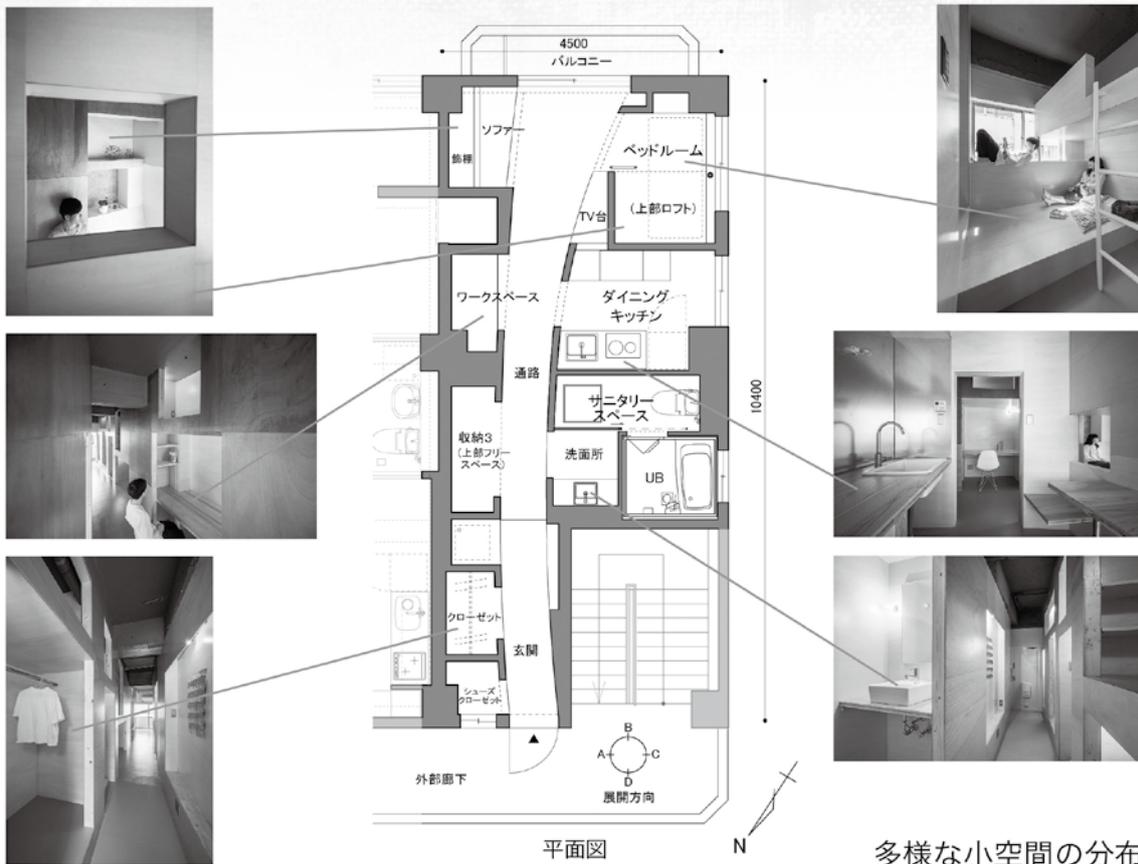
設計事務所での模型制作作業



現場での確認作業



完成写真。一番奥から入口方向を振り返ったところ。まるで都市の街路のようである。[撮影：多田ユウコ]



多様な小空間の分布

2枚の湾曲した壁の裏側にたくさんの小空間が隠れていて、信じられないくらいの多様性が生まれている。文字通り「秘密基地」だ。



左右に向かい合う作業スペースとキッチン。穴の向かいには必ず穴がある。[撮影：多田ユウコ]

5. 本プロジェクトのねらいと今後の展望

我々が意図した本プロジェクトのねらいを整理すると以下ようになる。

(1) 都市部の賃貸マンションの新たな姿

交通の便の良い都心にありながら、空室を抱えたまま老朽化が進む中規模賃貸マンションは多い。本プロジェクトの対象も正に同じ問題を抱えた建物である。そこで、若い世代の都心回帰を促すという大きな目標を掲げ、彼らの都市生活に対する多様な要望に応えるため、空室が出るごとに特徴的な空間へと改修を行なおうと考えた。それによって、やがては全て異なるデザインの住戸から成る集合住宅へと再生させることをねらっている。

また、そのような賃貸マンションを一気に作ることは不動産事業という観点からはリスクが大きいが、一室ずつの改修であれば十分な採算性があるとも考えた。

(2) 新たな生活像を満たす住戸デザイン

小規模マンションの住戸改修では、壁を撤去してワンルーム化し、広さやフレキシビリティを確保する傾向にある。しかし本プロジェクトでは、それとは全く逆の方法、つまり多くの壁を設け、たくさんの小さな空間に分節する設計手法を採用した。そして、各空間に様々なスケールとプロポーションを与え、立体的にも積み上げ、それらが中央の湾曲した天井の高い空間を挟んで向かい合う構成とした。

その結果、多くの人が幼い頃に夢見た秘密基地とでもいうような空間が生まれ、住むことの楽しさを再認識させる住戸となった。また、層状に重なり合う空間を介して、周囲の雑多な都市の風景と程よいつながりも獲得できた。

我々は、このような小さなスケールの多くの空間から成る構成は、独り暮らしであっても多くの友人を招くことができるなど、若い世代が望む生活像に合致していると予想しており、本プロジェクトが設定したターゲットへの有効な答えだと考えている。

つまり我々は、本プロジェクトを通し、賃貸マンションの小さな住戸であっても、新しい生活像を想像させてくれる新しい空間構成はまだまだあり得るということを示したかったのである。この住戸の空間を体験した人は、「ここでならこれまでとは違う生活が始まりそうだ」と感じ、日々「あそこに早く帰りたい」と思うに違いない。また、このような個別改修の積み重ねにより、古い建物が都市の中で再び存在意義を回復する可能性も提案したつもりである。

これからも民間と大学とが協働して既存ストックの利活用などの提案を行なうことにより、広い意味での公共的な空間のあるべき姿を示していきたいと考えている。

註

他の学生作品は本学科の作品集『PRAXIS 2015』に掲載しています。またウェブ上 (issuu) で公開もしており、本学科の以下のサイトでご覧いただけます。

<http://www.kobe-du.ac.jp/env/2015/003072.php>



外観の夕景。明かりのついている部分が改修住戸。あの窓の向こうに「秘密基地」が隠れている。[撮影：多田ユウコ]

神戸市の空き家対策

～空き家活用相談窓口の開設～

神戸市住宅都市局住宅部住宅政策課 民間住宅担当課長 **吉田 亮浩**
 神戸市すまいとまちの安心支援センター 企画係長 **藤田 耕治**

【1】神戸市の空き家の現状

平成25年の住宅・土地統計調査によれば、神戸市内の空き家はおよそ10万8千戸（全住宅の13.1%）あり、特に売却用でも賃貸用でもない「その他の空き家」が約3万7千戸あると推計されています。そのうち、約2万8千戸が、腐朽・破損がないにも関わらず、賃貸や売却にも出されておらず、このような使える空き家を如何に流通市場に乗せ活用につなげていくかが重要だと考えています。（下表参照）

	全体	（腐朽・破損あり）	
		（腐朽・破損あり）	（腐朽・破損なし）
空き家総数	108,100	25,800	82,300
二次的住宅	4,000	200	3,800
賃貸用の住宅	58,700	15,000	43,700
売却用の住宅	8,300	1,000	7,300
その他の住宅	37,200	9,500	27,600

【2】空き家ストックの流通活性化の検討

神戸市では、平成26年度、学識経験者や不動産関係団体等との協働による「空き家ストックを活用した中古住宅市場活性化プロジェクトチーム」を立ち上げ検討を進めました。その結果、今後の空き家活用に向けた支援の方向性として次の4点が示されました。

- ①安心して相談できる窓口を開設し、民間事業者と連携したワンストップの相談体制を構築すること

- ②インスペクション・瑕疵保険制度の普及を支援し、空き家そのものへの不安を解消すること
- ③空き家情報サイトの開設や空き家活用をテーマにしたコンペの実施等、情報発信やイベントによって中古住宅を活用する気運を醸成すること
- ④活用されていない空き家を掘り起こし、市場化を誘導するとともに、所有者による適正な管理を促すこと

【3】空き家活用相談窓口の開設

プロジェクトチームでの検討結果を受け、平成27年11月30日より、神戸市すまいとまちの安心支援センター“すまいるネット”に「空き家活用相談窓口」を開設しました。ここでは、使われていない空き家の活用、売却、管理などで悩んでおられる方々の相談に応じています。

すまいるネットは、阪神・淡路大震災を契機に、市民の視点に立った相談・アドバイス、情報の提供、普及・啓発を行う公的な機関として平成12年10月に設置された総合窓口ですので、あらためて空き家の専用窓口を設けるという形は取らず、既存の相談業務を拡充する形を取ることとしました。これは、すまいるネットの15年の信頼と経験を活かせるという神戸市にとっての強みでもあります。

窓口開設にあたっては、すまいるネットの従来の窓口相談体制に加え、新たに「空き家の専門相談員」による相談体制を用意しました。この専門相談では、相談のあった空き家やその所有者の抱

える課題に応じて、活用等にむけて適切なアドバイスを行います。さらに、この専門相談をサポートするため、建築士事務所や不動産事業者等の「支援事業者」に課題解決のための提案協力を求める仕組みを設けました。これにより、専門相談でのアドバイスや提案がより具体的に行われるものと考えています。

【4】インスペクション・売買瑕疵保険の普及に向けて

中古住宅は、新築時の品質や性能の違いに加えて、その後の維持管理や経年劣化の状況により物件ごとの品質等に差があります。

そのため、中古住宅を売買する際の品質や性能に対する不安を払しょくするため現況検査制度「インスペクション」や、万一瑕疵が発見されても保険会社によって補修費用が支払われる保険制度「既存住宅売買瑕疵保険」がありますが、まだまだその認知度は決して高いとは言えず、利用実績も極めて少ないのが現状です。

そこで、これらの制度の周知と普及を目的として、窓口開設に合わせて補助制度を創設しました。（下表参照）

【5】活用されていない空き家の掘り起し

空き家が活用されず埋もれてしまうのにはいろいろな理由が考えられます。相続が片付いていない、家財道具が残っている、境界がはっきりしない、だれに相談すればよいかわからない……など。

このたび開設した相談窓口では、こうした空き家やその所有者の抱える課題を整理し、解決策の

提案などの支援を行うことで、1件でも多くの空き家が市場に流通し活用に結び付くことを想定していますが、すぐには解決に至らないことも多々予想されます。しかし、そのまま放っておけばいずれは老朽空き家になりかねないということも理解していただき、所有者の責務として適切な管理を促すことも窓口の役割であろうと考えています。

そこで、空き家活用相談窓口の開設などの情報を広く知らせる手段として、今春発送予定の固定資産税納税通知書に、相談窓口の案内や空き家に関連する情報を載せたチラシを同封する予定です。これにより、市外や県外にお住まいの所有者にも情報が届き、活用されていない空き家の掘り起しのきっかけになることを期待しています。

【6】まとめ

人口減少が進むなか空き家は増加傾向にあり、全国的に“空き家”問題が取り沙汰されていますが、決して空き家そのものが問題なのではなく、空き家が適切に管理されず放置され、それが老朽空き家となっていくことが問題です。しかし、適切に管理されたとしても、品質や性能に対する不安等から中古住宅を敬遠するという新築志向の国民性も大きな障壁であることも事実です。

適正管理を促すとともに、インスペクションや売買瑕疵保険などの諸制度の普及にも努めながら、中古住宅の魅力発信と流通促進の気運を盛り上げていくためには、建築士事務所の皆さま方をはじめとする建築の専門家の方々との連携が不可欠と考えていますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

補助の種類	補助金の額
インスペクション補助	インスペクションに係る費用の2/3又は33,000円のいずれか低い額
売買瑕疵保険補助	既存住宅売買瑕疵保険付保に係る費用の2/3又は50,000円のいずれか低い額

既存住宅売買瑕疵保険は「個人間売買タイプ」に限ります。

神戸市の空き家対策

～特定空家等への措置～

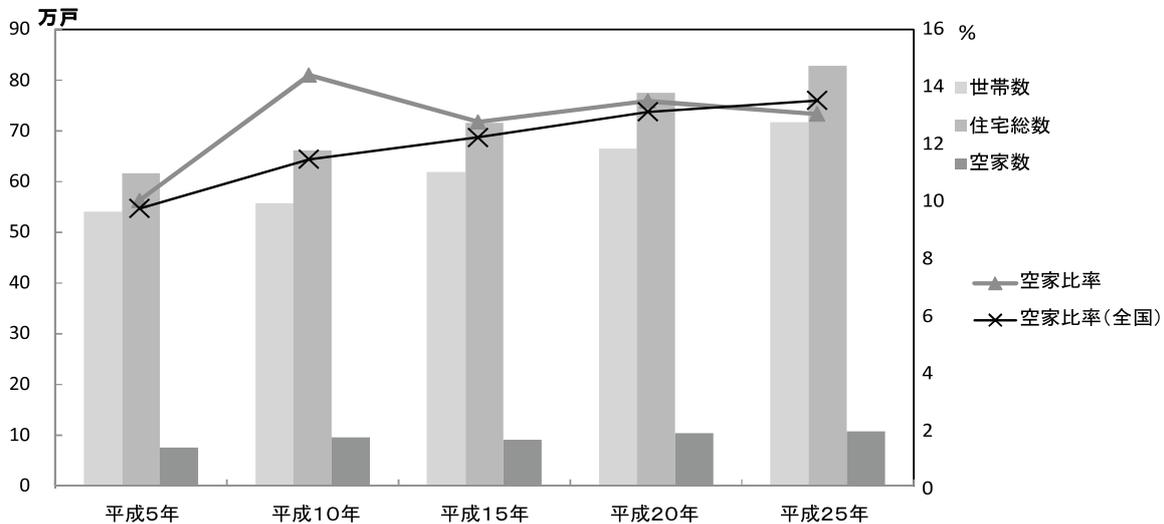
神戸市住宅都市局建築指導部安全対策課 藤谷 修司

【1】空家等の現状と特措法施行まで

空家は人口減少・高齢化・核家族化等により全国的に増加しており、本市においても、新規着工物件の増加等により空家比率は横這いですが空家数は着実に増加しています。本市の空家の特徴として、戦後の人口増加により市街地が山麓部等に拡大した際、道路条件や地形的条件の悪い場所に建てられた後に老朽化して放置されたものや、阪神淡路大震災で被災しそのまま放置されたものなどが含まれている点が挙げられます。

本市では、以前より市内各地において空家等に関する地域住民からの相談や通報が多数寄せられてきており、老朽危険家屋については「神戸市建築物の安全性の確保等に関する条例」に基づく指導や勧告、建築基準法に基づく命令等を実施しています。しかし、敷地内の立木や雑草、ごみ、害虫等に関する課題については法や条例に基づく対応ができないため、効果的な対策を進めることが困難でした。

こうしたなか、平成27年5月26日に「空家等対策の推進に関する特別措置法（以下、「特措法」という。）」が全面施行され、特定空家等については、建物の倒壊等による保安上の危険性に加え、衛生上有害、景観阻害及び生活環境保全の観点からも措置が可能となりました。



	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年
世帯数	540,200	557,000	619,300	664,800	717,100
住宅総数	615,650	661,000	715,500	774,900	828,300
空家数	61,740	95,200	91,400	104,600	108,100
空家比率 (%)	10.03	14.40	12.77	13.50	13.05
空家比率(全国) (%)	9.76	11.47	12.23	13.12	13.52

住宅空家 108,100 戸のうち 腐朽破損あり 24% 腐朽破損なし 76%

【神戸市内の住宅戸数及び住宅の空家戸数の推移（住宅・土地統計調査（H25年））】

【2】神戸市空家等対策計画の概要

特措法第6条において、市町村は空家等に関する施策について空家等対策計画を定めることができるとなっています。本市では、昨年7月に特措法に基づく「神戸市空家等対策計画の作成に関する協議会」を立ち上げ、建築・法務・不動産等の学識経験者や業界関係者、市民代表等から5回にわたり多くの意見をいただきました。それらの意見を踏まえて、今年度中に「神戸市空家等対策計画（以下、「対策計画」という。）」を定める予定です。

対策計画は、空家等のさまざまな課題に対する市の基本姿勢を示し、市民に対して空家等対策の全体像を容易に把握できるようにするとともに、総合的・計画的な空家等対策の推進を目的とするもので、計画期間は平成28年度から平成32年度までの5年間とします。

対策計画の基本的な方針は以下のとおりです。

- 所有者等による空家等の適切な管理責任を明確化するとともに、具体的な管理方法や、特定空家等の放置で固定資産税等の住宅用地特例解除の可能性があることなどについて、ホームページや広報紙等の活用により広く情報提供を行う。
- 適切に管理がなされている空家等については、市が専門家の方々の協力を得て空家等の有効活用を支援し、市場流通やリフォーム、転用等を促進する。
- 適切な管理の促進を図り、課題の改善や維持保全、除却、建て替え等の管理・更新を促すことで、特定空家等への移行の予防に努める。
- 特定空家等については明確な基準を定めて市が所有者等に対して指導・勧告・命令等の必要な措置を行い、所有者等自らによる課題改善や除却、建て替え等の改善を促す。改善がなされず周辺に対する悪影響の度合い及び危険度等の切迫性が極めて高い場合は、必要に応じて市が代執行を行う。

【3】特定空家等への措置

①窓口の一本化と情報共有のための体制

これまで、地域住民からの空家等に関する相談や通報については、内容に応じて区役所や各関連部署が窓口となりそれぞれが対応してきましたが、市民にとって相談窓口が分かりにくいことや、関連部署間での情報共有が十分ではないなどの課題を有していました。

今回、対策計画を作成するにあたり庁内の関連部署による調整会議でさまざまな議論を重ねた結果、窓口は地域住民にとって最も身近で便利な区役所とし、新たに設置する“とりまとめを行う部署（仮称）”が区役所からの情報を受け取り、必要に応じて措置等を行う関連部署へ連絡することとしました。また、“とりまとめを行う部署”は特定空家等に係るデータベースを作成し市内部での情報共有を図るとともに、複数の関連部署に跨る案件では総合調整の役割を担います。

②措置を講ずるための調査

特定空家等への措置を行うにあたっては、まず、空家等に該当するかどうかの実態調査が必要であり、外観調査や聞き取り調査、水道・電気・ガスの使用状況等の調査項目を記載した空家確認表により空家等に該当するかの判定を行います。使用実態に関する個別のケース（例えば盆と正月だけ使用している等）については、国のガイドラインのパブコメで出された意見や地方公共団体の照会に対する国交省の

回答を参考にしながら、使用の実態に合理性があるかどうかといった観点も用いて客観的に判断する必要があります。

また、これまで登記簿、住民票及び戸籍謄本等による調査では判明しないことが多々あった所有者等の調査については、特措法の施行により、固定資産税の所有者等に関する情報を空家等対策のために市の内部で利用することが可能となりました。このことは、所有者等の特定に大きな効果があるものと期待しています。

③措置を講ずる判断基準

所有者等に対して措置を講ずるかどうかの判断は、以下の物的状態等にある空家等が、地域住民や通行人等に対して悪影響を有するか、悪影響の程度と危険等の切迫性が高いか等に基づき行います。

(【 】内は特措法における特定空家等の分類を示します。)

- 建築物の倒壊、部材の脱落・飛散、擁壁の崩壊等【イ 保安上危険】
- 立木の腐朽・倒壊等【イ 保安上危険】
雑草・立木等の繁茂等【ニ 生活環境保全】
- ごみ・物品等の放置等【ロ 衛生上有害、ニ 生活環境保全】
- 空家等に住みついた動物等【ニ 生活環境保全】
衛生動物の発生【ロ 衛生上有害】
- 既存の景観に関するルールへの不適合【ハ 景観阻害】
建築物等の不適切な管理（防火・防犯）【ニ 生活環境保全】



建築物の部材剥落



雑草・立木の繁茂



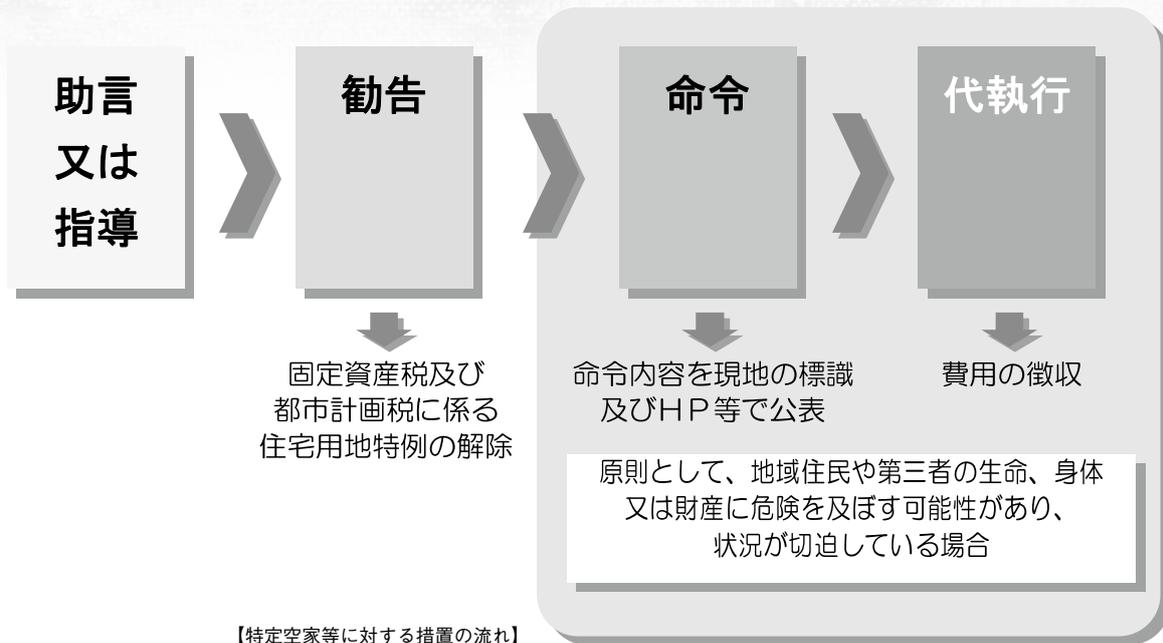
ごみの放置

④特措法に基づく措置の手順

措置は、「助言又は指導」、「勧告」、「命令」の順に実施します。

「勧告」以降の措置については、市の関連部署により設置する検討会等で措置の内容、是非等を検討します。なお、毎年1月1日時点で「勧告」を受けている特定空家等については、次年度の固定資産税等に係る住宅用地特例が解除されることとなっており、所有者等による改善の推進に一定の効果が見込まれます。

「命令」した場合は、第三者に不測の損害を与えることを未然に防止する観点から、現地への標識設置等で命令内容を公示し、それでも「命令」された人が改善を履行できないなどのときは、周辺に対する生命や身体の危険度の切迫性等を総合的に判断したうえで、必要に応じて「代執行」します。また、「命令」する相手が判明しない場合は「略式代執行」を行います。



【特定空家等に対する措置の流れ】

⑤措置の範囲

実施する措置内容については、下表のように特定空家等の状態ごとに悪影響の程度と危険性等の切迫性を鑑みてレベルを定めています。「命令」を行う対象は、原則として、地域住民や第三者の生命、身体又は財産に危険を及ぼす可能性があり、かつ、その状況が切迫しているものとしており、景観阻害や生活環境保全の状態に該当する特定空家等については市長が特に認める場合を除き勧告措置までとしています。

特定空家分類	悪影響の程度と危険等の切迫性			
イ 保安上危険	地域住民等の生命、身体又は財産に危険を及ぼすおそれがある	地域住民等の生命、身体又は財産に著しい危険を及ぼすおそれがある	地域住民等の生命、身体又は財産に著しい危険が切迫している	地域住民等の生命、身体又は財産に著しい危険がさらに切迫し放置できない
ロ 衛生上有害	地域住民等の健康に悪影響を及ぼすおそれがある	地域住民等の健康に著しい悪影響を及ぼすおそれがある	地域住民等の健康だけでなく生命、身体又は財産の危険が切迫している	地域住民等の健康だけでなく生命、身体又は財産の危険がさらに切迫し放置できない
ハ 景観阻害	既存の景観に関するルールに適合しない	既存の景観に関するルールに著しく適合しない	—(※)	—(※)
ニ 生活環境保全	地域住民等の生活環境に悪影響を及ぼしている	地域住民等の生活環境に著しい悪影響を及ぼしている	—(※)	—(※)
措置の範囲	助言又は指導相当	勧告相当	命令相当	代執行相当

※通常は実施しないが、市長が必要と認める場合は実施することができる。



【悪影響の程度と危険性等の切迫性に対する措置の範囲と建築物のイメージ】

【4】効果的な空家等対策の推進

特措法の施行により、空家等の対策は新たな展開を迎えることとなります。本市でも、市長の強力な後押しのもと、来年度より対策計画に基づく取り組みが本格的にスタートすることとなりますが、より効果的な空家等対策の推進を図るため、以下の3点について検討を進めていきたいと考えています。

①条例の制定

空家等対策を総合的に推進するためには、特措法及び各関連法令に加え、それらを補完し、行政の支援が必要な課題に対して幅広く対応を図るための仕組みが必要です。このため、既存の支援制度の拡充、特定空家等に類似した空家等への措置など特措法で対応できないものへの措置等について検討を行い、それらの行政手続きを明確化した条例を来年度に制定する予定です。

②所有者等が不明などの場合の対応

相続人不在、相続放棄、所有者等の行方不明などにより、「過失なくその措置を命ぜられるべき者を確知することができない(特措法第14条第10項)」ケースが生じています。現制度では申立人は利害関係人か検察官に限られており、市が主体的に働きかけることが難しいため、財産管理人制度をより円滑に活用できるような工夫について国に働きかけていきます。

③協働による総合的・効果的な対策の推進

空家等の問題の要因は多岐に渡ることから、課題解決のためには、建築、不動産、法務、公衆衛生、防犯等さまざまな専門分野の知識や情報が必要であり、専門家の方々における民間のノウハウや経験の積極的な活用を図るため、それぞれの役割分担を明確にしたうえで連携体制を構築したいと考えております。

対策計画の作成に係る協議会にご参加いただきました建築士事務所協会様をはじめ、建築の専門家の皆様ともこれまで以上に連携を深め、総合的・効果的な対策を推進してまいりたいと存じますので、今後ともご協力よろしくお願いいたします。



神戸市の空き家対策

オールドニュータウンにおける中古住宅流通活性化モデルプロジェクト ～鶴甲団地における神戸すまいまちづくり公社の取り組み～

一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社 住環境再生部 支援課長 小川 直樹

【1】はじめに

神戸市の調べによれば、人口1,000人を超える計画的開発団地は、市内に51箇所あるという。その大半がいちどきに超高齢化と少子化を向かえ、経年による施設の老朽化などいわゆる「オールドニュータウン」化によって、空き家の増加や商業施設の衰退などによる活力の低下が懸念されている。

神戸すまいまちづくり公社は、神戸市との連携のもと、かつて計画的に開発された住宅団地のひとつである灘区鶴甲団地において、既存住宅の流通を促進し、ストックの有効活用とコミュニティミックスに配慮した若年居住者の呼び戻しに取り組んでいる。

【2】鶴甲団地と公社



鶴甲団地は、阪急六甲駅、JR六甲道駅からバスでおよそ15分の六甲山の裾野に位置する住宅団地である。ピーク時に6,000人を超えていた人口は約8割弱に減少し、他のニュータウンと同様に超高齢化、少子化に直面している。特に高齢化の進行は顕著で、平成22年の国勢調査時点で神戸市平均を約10%上回っている。今後、相続や転居などによって空き家が増加し、地域の活力が低下する恐れがある。

住宅の種別は戸建て住宅が295戸（約17%）、共同住宅が1,458戸（約83%）と共同住宅の戸数が多く、このうち1,242戸と大半をかつて神戸市住宅供給公社が分譲した。エレベーターの無い5階建ての階段室型が多くを占め、4階5階を中心に徐々に空き家が目立ち始めている。しかし、総じて適切に維持修繕されており、中期的には良好な市街地の住宅ストックとして活用可能なものである。

公社は、かつて分譲したこれらの共同住宅と、自ら所有する賃貸共同住宅を基盤として、公社ネットワークを生かした流通促進策を提案し、若い世代の流入促進に貢献できる立場にある。

[3] 事業の概要

既存住宅の流通促進・ストックの有効活用と若年居住者の呼び戻しを図る具体的策として、当初以下の3つの事業プランを立て取り組みを始めた。なお、実施に当たっては国土交通省の「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」の採択を受けている。

- ①若者・子育て世代をターゲットにしたリフォームモデルルームを整備し、公開する。
- ②団地やリノベーションの魅力を発信するツールを整備し、不動産事業者等を通じた流通を支援する。
- ③インスペクションの実験的実施や空き家活用に関する相談体制の整備など、安心して流通できる仕組みの定着を図る。

[4] リノベーションモデルの整備・公開

時代に合わなくなった間取りや設備を更新し、魅力的なすまいをどれだけのコストで実現できるのか。平成26年度はまず、流通促進のターゲットとなる若年世代に向け鶴甲の共同住宅での住まい方をアピールするため、公社の賃貸住宅空き室2住戸を活用してリノベーションを行いモデルルームとして公開する事業を実施した。

実施にあたっては、地域の流通事例や若年世代のライフスタイル等を踏まえて住み手のイメージと整備費用（設計・施工費）をあらかじめ設定し、広く事業者のリノベーションプランを公募した。1月弱という短い公募期間にもかかわらず、14グループから合計23プランの意欲的な提案を頂いた。有識者らによる選考によって選ばれた2つのプランをもとにモデルルームが整備され、27年2月から一般公開している。2月7日（土）8日（日）にはオープニングイベントを開催し、リノベーション情報の発信や関連セミナー・住宅相談会などを実施し、2日間で300人を超える参加者に来場いただいた。

「交差点のある自然素材の住居」

鶴甲団地15号館 502号室 53.68㎡

改修費用330万円（設計・施工）

<設計者> 有限会社シンプレックス一級建築士事務所

<施工者> ストック株式会社





「多様な使い方に順応可能なシンプルな一体空間」

鶴甲団地15号館 402号室 53.68㎡

改修費用150万円（設計・施工）

<設計者> 中村×建築設計事務所

<施工者> 株式会社匠建築工房



その後も週末に公開し、500名を超える見学者があり、これを機に自宅をリノベーションした方や空き家所有者から活用相談を受けるなど、一定の効果があった。



【5】神戸大学との連携

団地に隣接する神戸大学（工学研究科）と公社は、リノベーションモデルの検討段階から連携した取り組みを模索し、学生によるモデルプランの提案や流通促進イベントの共同実施などで連携を深めてきた。こうした取り組みを継続して実施するため、神戸大学工学研究科と公社は昨年6月に連携協定を締結した。この協定の締結により、学生目線で団地の魅力を調査再発見し、発信ツールを作成するプロジェクトや、学生のルームシェアなど新たな住まい方のニーズ把握・実験的整備での事業連携を図るなどのプロジェクトが進行している。

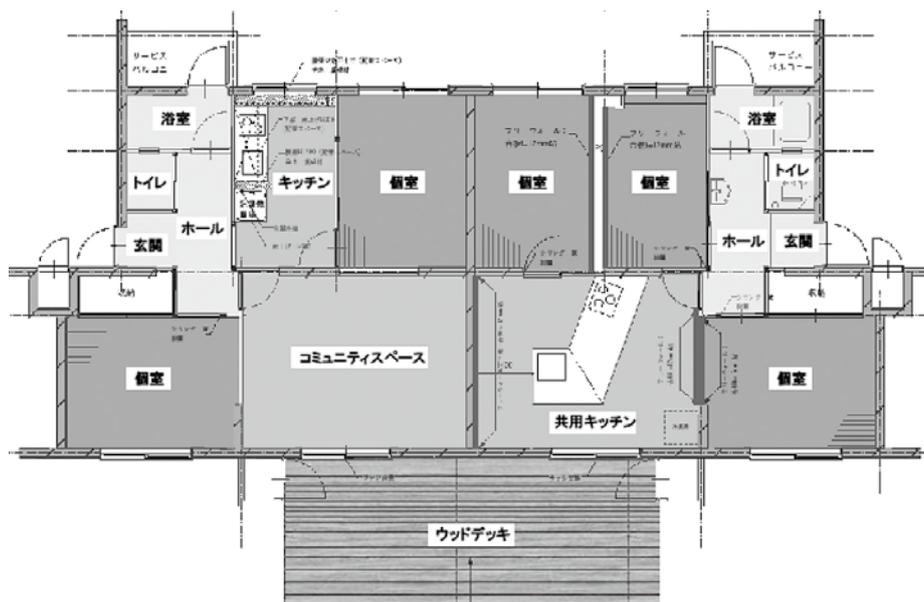


街の魅力を議論する神戸大学の学生たち

【6】新たな住まい方の提案

リノベーションモデルの整備は、主に既存住宅を購入してこだわりのある住まい方を実現する方策を示すことを主眼としたものだった。今年度は第2弾として、賃貸という手法をベースに団地再生に寄与する新たな住まい方を探る社会実験を行うこととした。昨年度と同様に民間事業者との連携を模索するため、プランの提案からリノベーション、賃貸住宅としての経営サポートまでを一貫して行うパートナーを公募した。

公社賃貸住宅の4戸を利用して募集をした結果、1階の2住戸を利用した一体的な「ルームシェア住宅」と、入居者の嗜好やライフスタイルに応じて「カスタマイズする住宅（おこのみ賃貸）」2戸とを提案した企業の提案を採用し、1月末の公開に向け工事を進めている。



「ルームシェア住宅」プラン（106号室107号室）

<設計・施工・管理運営サポート> 株式会社フログハウス

なお、今回の4住宅と先に整備公開しているリノベーションモデル住宅2戸とは、公開の後入居者を募集し、入居者の満足度や改善点などを検証する予定である。

【7】今後の展望

公社は、すまいるネットの運営主体として神戸市のすまいに関する相談・情報提供・啓発等の施策を実施している。昨年11月からはあらたに「空き家活用に関する相談」事業をスタートさせた。また中古住宅を安心して取引していただくために欠かせないインスペクションについても鶴甲団地内で実験的に実施し、普及方策を探っている。

鶴甲でのモデルプロジェクトは、空き家の有効活用を促す市施策に呼応し、公社の立場で先導的・実験的取り組みを行うことで相乗効果を発揮しようとするものである。

しかしながら、当然公社独自の取り組みだけでは、大量に発生する空き家の有効活用を進めることはできない。鶴甲での実験を検証し、その内容を広く発信することで地域に存在する空き家の有効活用に取り組もうとする民間事業者と連携を深めていかなければならない。

また、すまいの「設計」、「改修」、「流通」、「管理」など様々な分野で意欲的に取り組んでいる事業者がお互いの強みを活かしたチームとして連携することが空き家を活かすうえで欠かせない基盤であるとも言える。こうした事業者間のネットワークづくりにも公社独自の取り組み方ができないか議論を始めている。

今後も、公社は「官」と「民」との狭間を埋め、連携を生み出す役割を果たすべく、新たな展開を模索したい。



ウッドデッキ製作に参加中の神戸大学生ら



写真提供：(株)フロッグハウス

事業報告(定時総会・講習会・研修見学会)

・平成26年度 第2回法規講習会

日 時：平成27年1月27日(火)

場 所：兵庫県私学会館

・神戸支部広報紙アプローチ44号 発行

日 時：平成27年1月30日(金)



・第32回親睦ボウリング大会

日 時：平成27年2月7日(土)

場 所：ラウンドワン三宮駅前店



・日帰り研修会

日 時：平成27年2月13日(金)



波谷工業(株)福崎工場前にて

場 所：波谷工業(株) 福崎工場見学、姫路書写
山園教寺見学



圓教寺 摩尼殿下にて

・第187回KJ会(ゴルフ同好会)開催

日 時：平成27年3月13日(金)

場 所：城山ゴルフ倶楽部



・事務所キャンペーン

日 時：平成27年4月4日(土)

場 所：なだ桜まつり：都賀川公園内



事業報告(定時総会・講習会・研修見学会)

・第56回定時総会・懇親会+賛助会第23回総会・懇親会

日 時：平成27年4月28日(火)

場 所：ラッセホール



・神戸市耐震診断員講習会

日 時：平成27年5月22日(水)

場 所：サンパル5F

・改正建築基準法・建築士法講習会(神戸支部)

日 時：平成27年5月27日(水)

場 所：兵庫県私学会館

・平成27年度 第1回役員総会・幹事会

日 時：平成27年6月4日(木)

場 所：ホテルモントレー神戸



・第188回KJ会(ゴルフ同好会)開催

日 時：平成27年6月9日(火)

場 所：明石ゴルフ倶楽部

・第45回KM会(麻雀同好会)開催

日 時：平成27年7月4日(土)

場 所：平和荘



・第2回トレッキング同好会

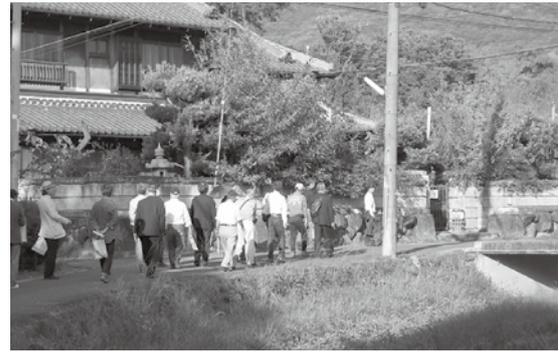
日 時：平成27年6月7日(日)

場 所：阪急六甲～長峰山～摩耶山～王子公園

・日帰り研修会

日 時：平成27年9月10日（木）

場 所：大阪ガス(株) ハグミュージアム



・事務所キャンペーン

日 時：平成27年10月10日（土）

場 所：灘ふれあい秋まつり 都賀川公園内

・第30回ひょうご木材フェア参加

日 時：平成27年10月11日（日）

場 所：神戸ハーバーランド高浜岸壁周辺



・平成27年度 第1回法規講習会

日 時：平成27年9月15日（火）

場 所：兵庫県私学会館

・第189回KJ会（ゴルフ同好会）開催

日 時：平成27年9月17日（木）

場 所：六甲国際ゴルフクラブ

・日帰り研修会

日 時：平成27年10月8日（木）

場 所：奈良



・第3回トレッキング同好会

日 時：平成27年10月25日（日）

場 所：新神戸駅～布引の滝～森林植物園

事業報告 (定時総会・講習会・研修見学会)



・第46回KM会 (麻雀同好会) 開催

日 時：平成27年10月31日 (土)

場 所：平和荘

・一泊親睦研修旅行

「広島／安芸の小京都 竹原、宮島」

日 時：平成27年11月15日 (日)～16日 (月)

場 所：安芸の小京都 竹原、広島平和記念公園、
宮島



・事務所キャンペーン

日 時：平成27年11月21日 (土)

場 所：板宿本通商店街



・第190回KJ会 (ゴルフ同好会) 開催

日 時：平成27年11月26日 (木)

場 所：三木ゴルフクラブ



平成26年度 第2回法規講習会レポート

研修部 安藤 昇

- 日 時：平成27年1月27日（火） 13：30～17：00
- 場 所：兵庫県私学会館 302号室
（神戸市中央区北長狭通4丁目3-13）
- 講習内容：①「建築関連条例の改正について」
②「建築基準法施行令等の改正動向とよく質問がある規定の取扱いについて」
③「マンション建替円滑化法の改正について」
④「省エネルギー基準改正について」
⑤「兵庫県福祉のまちづくり条例について」
⑥「消防法関係の最近の動向について」
- 出席者：事務所協会神戸支部26名、建築士会55名、会員外3名

講習会の様子



平成27年度 第1回法規講習会レポート

研修部 安藤 昇

- 日時：平成27年9月15日（火） 13：30～16：45
- 場所：兵庫県私学会館 302号室
（神戸市中央区北長狭通4丁目3-13）
- 講習内容：①「神戸市民の住環境等をまもりそだてる条例の改正について」
②「自転車等の放置の防止及び自転車駐車場の整備に関する条例施行規則の改正について」
③「建築基準法関連告示の改正等について」
④「構造関係規定にかかる既存不適格建築物の取扱いについて」
⑤「消防法関係の最近の動向について」
- 出席者：事務所協会神戸支部21名、建築士会39名、会員外6名

講習会の様子



木質構造セミナーレポート

研修部 戒 眞 弓

- 日 時：平成27年11月5日（木） 13：30～16：00
- 場 所：日建学院神戸校 D教室 神戸市中央区磯辺通2丁目2-10 ワンノットトリーズビル6F

■セミナー内容：

①「木質構造について」 会員：(株)ジョインウッド一級建築士事務所 波多野隆之 氏

- ・ 木質材料 集成材3種類：合板3種類 カットサンプルの説明
- ・ 構造形式
- ・ 準耐火と耐火木材
- ・ 様々な木造優遇
- ・ コスト・メリット・(東日本大震災に耐えた木質構造)
- ・ その他

②「最近の建築金物」 (株)タツミ 吉藤錦吾 氏(金物メーカー)

- ・ 在来軸組工法の接合方法+Zマーク金物
- ・ 職人不足を解消する金物工法
- ・ 非住宅、中・大規模建築物で活用される金物工法

■出席者：14名

■セミナーを終えて(戒 眞弓)：

- ・ 当初、木造の(木質構造)のセミナーにどのくらいの参加があるのか、気をもんでいましたが、14人の参加と、程よい人数での開催となりました。又、講義中に適宜質問も入れられたりと勉強会らしい雰囲気でした。
- ・ 内容は、おさらいも兼ねて木質構造全般にわたり、現物サンプルを交えて、わかりやすい講義だったと思います。ただ一つ、気になったのが、住宅において金物工法がかなり増えてきたということです。原因は、職人不足だそうです。木材のプレカットが主流になってきた時感じましたが、この先、木造住宅はどうなっていくのか気になります。TV番組の「下町ロケット」の中で、パルプの最終研磨は「人の手」が優るとか、国産初のジャット機「MRJ」の部品製作会社も、最終研磨は人が行っており、又、その材料や削る知識や技術は日本刀からきているとか、さらには、杭打ち職人の件も... 本当に気になります

講習会の様子



事業部たより

事業部 前田 由利



11月15日 竹原にて。

本年度の事業部も会員の皆様の親睦を深める企画が盛りだくさんでした。

昨年度となりますが、新年互礼会は、副支部長の藤澤さんや副部長の佐川さんのご尽力で、多くの来賓の方や、賛助会の方々にもご参加いただき、貴重な情報交換の場になり、最後は大ビンゴ大会で大いに盛り上がりました。

また、2回行われた日帰り研修では、賛助会員の大阪ガスさん、北村鉄工所さんに大変お世話になりました。

1泊研修は、「竹原、広島、宮島」という旅程でしたが、両日とも晴天に恵まれ、歴史的な町並みを散策したり、建築物を見学したり、またおいしい郷土料理に舌鼓を打ったり、神社にお参りしたりおいしいもみじ饅頭をお土産に買ったりと、とても楽しい旅行になりました。

私もですが、部員の皆さんもお忙しいようで、部会の開催も最小限にしましたが、それでも参加人数が少ないのが少し寂しかったです。

部活動に楽しく参加できることが大事だなと感じた1年でした。

皆様、いろいろとご協力ありがとうございました。

神戸支部一泊研修旅行 ⑩ 広島/小京都 竹原、宮島

三和シャッター工業(株) 三原 芳之

- 日 時：平成27年11月15日(日)～16日(月)
- 場 所：安芸の小京都 竹原、広島平和記念公園、宮島
- 参加者：20名

11月15日(日) 8:30一行20名はバスで雨あがりの神戸を出発。安芸の小京都 竹原→世界平和記念聖堂→原爆ドーム・平和記念資料館→世界文化遺産 宮島と一泊二日の研修旅行がスタートした。

【安芸の小京都 竹原】

福山で昼食後13:50竹原に到着。ここ竹原は平安時代、京都下鴨神社の荘園として栄えたことから「安芸の小京都」と呼ばれる。とくに上市・下市には江戸時代後期に製塩と酒造で栄えた屋敷や由緒あるお寺と町並みが今も保存され落ち着いた雰囲気醸し出している。最近では連続テレビ小説「マッサン」やアニメ「たまゆら」で脚光を浴びた。建築物で目を引いたのは浜だんな(塩田経営者)の家として明治5年に建てられた旧笠井邸。大蛇のように曲がりくねって交差するダイナミックな大梁が印象的だった。そして松坂家住宅の波打つような大屋根、その下の鶯色の漆喰、大壁造りなど非常に華やかな建築意匠に目を奪われた。



【世界平和記念聖堂・原爆ドーム・平和記念資料館】

15:50バスは世界平和記念聖堂に到着。この建物は建築家 村野藤吾設計による鉄筋コンクリート造3階建地下1階、三廊式のバシリカ教会堂である。次に向かう丹下健三設計の平和記念資料館とともに第二次大戦後の建築物としては初めて重要文化財に指定された。恒久平和のシンボル原爆ドームは大正4年「広島県物産陳列館」として建築、戦時中には「産業奨励館」と改称。メディアでは今まで何度となく見てきたが初めて本物を見て一つの建物がこれほど人の心に訴え、そして語りかけてくるとは思いもよらず、ただただ本物の迫力に圧倒された。一時は解体の話も出ていたようだが世界遺産に登録されて本当に良かったと思う。平和記念資料館では展示の最初に被爆直後の人の様子を再現した等身大



活動報告

の人形がジオラマの中に置かれているのを見て子供の頃に漫画「はだしのゲン」を読んだ時以来の衝撃を受けた。展示順路の最後に核兵器禁止条約の早期実現を目指す署名コーナーがあった。殆どの人が通り過ぎる中でアメリカ人と思しき数名の若い男女のグループが署名しているのを見て複雑な気持ちを抱きつつ署名した。



【広島ワシントンホテル／酔心 牡蠣づくし／お好み焼き 文ちゃん】

17：40広島ワシントンホテルに到着。良いホテルだった。シックなインテリアとトイレと独立したゆったりくつろげるバスルームに大満足。夕食は「酔心本店」にて牡蠣づくしコース。牡蠣の酒煎りに始まり土手鍋、塩焼き、ガーリックバター焼き、カキフライ、オイル漬けそして最後は牡蠣がゴロゴロ入った釜飯と広島牡蠣を堪能した。それでも飽き足らずもう一つの名物、広島焼きをもとめて、お好み村へと有志10人で繰り出す。2階に美味しい店があるというので入ったのが「文ちゃん」「ぶんちゃん」ではなく「ふみちゃん」。この店の店主が「お好み村のレジェンド」「ふみちゃん」。何と昭和3年生まれの87歳。広島焼きを焼き続けて50年。サポートの女性2人とソバ係りのお兄さんと共にバリバリの現役で日夜鉄板に向かっている。けっこう満腹状態で来ているのに、やっぱり本場で食べる広島焼きは最高にうまい。以前、家で広島焼きを作ろうとしてキャベツとモヤシをタップリ入れたら水っぽくて食べられたものではなかった。ここのソースはオタフクではなくてお好み村専用のオリジナルだそうで各店は焼き方の違いでそれぞれの特徴を出しているようだ。文ちゃんではお好み焼き専用のそばをその都度鉄板の横の大鍋で茹でて使っているのが大きな特徴であるとの事。次回広島に来る時にも文ちゃんに立ち寄ろうと心に決める。ふみちゃんにはまだまだ元気で頑張っていてほしいと思う。



【宮島 厳島神社・表参道商店街】

11月16日（月） 本日もよい天気。8：40に広島ワシントンホテルを出発。今日は世界文化遺産の宮島へ船で渡り厳島神社を参拝する。おみやげもこの表参道商店街が豊富とのこと。今年は少し暖かいせいか紅葉は色づきはじめというところか。それでも回廊で結ばれた朱塗りの社殿が海に浮かんでいるようで、背後の弥山の緑、海、青空とのコントラストが見事だった。



厳島神社を参拝し景色を楽しんだ後は宮島といえばもみじ饅頭。焼きたてのもみじ饅頭はあつあつで皮の表面が少しパリパリ感があって初めての食感。そして“揚げもみじ饅頭”もサクサクの衣をまとったもみじ饅頭のてんぷらという感じでなかなかのものだった。逆にもみじ型ピリ辛ナゲットを3個ほど串にさして“もみじナゲット”として売り出しても辛党の皆さんにうけるのではないかと思う。おみやげは定番のもみじ饅頭の他に、やまだやの「桐葉菓」という餅入りの四角いもみじ饅頭？がおいしいと添乗員さんから聞いたので試食して納得。買い求めた。



宮島からの乗船前、メンバーの1人が鹿におみやげの「桐葉菓」が入った紙袋をあやうく奪取されかけるというアクシデントに見舞われたが最悪の事態には至らず無事に乗船。宮島口でバスに乗り込み昼食場所の広島駅に着きその後帰路についた。途中渋滞も無く予定通り18：00神戸に到着。今回の旅行は企画良し、アゴ・アシ・マクラ良し、天気良し。事業部の皆さんに感謝、運転手さんに感謝、ユニークなバスガイドさんと添乗員さんに感謝。本当に楽しい二日間の旅であった。



An American in Japan: Travels in Hiroshima Prefecture with the Hyogo Association

日本滞在中のアメリカ人:兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆さんと広島への旅

by Stephanie Cavagnaro-Wong
ステファニー・カベニャロワン

As an American with close Japanese family, I have recently been lucky enough to spend an extended period living and studying in Tokyo and Kobe. As part of my trip, I was ecstatic to have the opportunity to join the Hyogo Association of Architectural Firms on their November trip to Takehara, Hiroshima, and Miyajima.

私はアメリカ人ですが、日本に家族がいます。先日、東京と神戸に長期滞在して、日本語を勉強する機会に恵まれました。また、滞在中の11月には、幸運にも、兵庫建築士事務所協会神戸支部企画の竹原、広島、宮島の旅に参加することができました。

We left Kobe Station by bus early the morning of November 15. Two travel guides came with us to guide the trip, and were absolutely delightful from the moment the bus left the station they encouraged our excitement and made sure we were always enjoying ourselves. The bus ride felt like a good-humored road trip, and I couldn't help admiring the camaraderie of the Hyogo Association. Everyone was also incredibly friendly and welcoming to me throughout the entire trip, which I appreciated more than I can say.



11月15日の早朝、バスで神戸駅を出発しました。二人の添乗員さんが同行してくださり、その仕事ぶりは、大変素晴らしいものでした。駅を出発するときからずっと、私たちが旅を楽しめるように心配りしてくださいました。バスの旅は、笑いが絶えず、協会の皆さんの連帯感は本当にすばらしいと思いました。また、皆さんがとてもフレンドリーで、私の参加を大変歓迎してくださいました。これには、本当に言葉にならないくらい感謝しています。



た、皆さんがとてもフレンドリーで、私の参加を大変歓迎してくださいました。これには、本当に言葉にならないくらい感謝しています。

The bus ride took us through cloud-capped mountains. After stopping for a delicious, multi-course lunch, our first sightseeing destination was the city of Takehara. Long-famous for its salt and sake, Takehara has a historic district filled with buildings that are two to three hundred years old. Our walking tour took us through a well-preserved house, where we sat on the floor by the table and felt the breeze from the back garden tease through the curtains, and imagined what it would be like to live there. On



display were artifacts such as an old Japanese guitar, a loom, and some of the equipment that used to be used in the salt manufacture. We even got to try some delicious fresh Takehara salt.

バスは雲がかかった山に到着しました。昼食に美味しいコース料理をいただいた後、最初に訪問したところは竹原市でした。竹原は塩と酒で有名で、2-300年前の建築物が多く残る歴史的な地区があります。徒歩で、保存状態のよい家屋を訪れました。そこで、テーブルが置いてある床に座り、カーテン越しに吹く裏庭からのそよ風にあたりながら、こんなふうここに人が暮らしていたことを想像しました。三味線、機織機、製塩に用いた機具が展示してありました。また、新鮮で美味しい竹原塩も試食しました。



The historic streets wound past an ancient sake-refining plant, an old kimono shop, and the first post office in Takehara. A statue of Confucius overlooked a canal meant to transport great blocks of salt to Tokyo and Osaka. The fall colors in the trees were just coming out against the crisp blue November sky, bringing out the rich depth of browns and charcoals in the ancient buildings in a vibrant contrast. We wandered the historic district enjoying sake gelato what a treat!



歴史的な街並みは、伝統的な製塩所、呉服店、竹原初の郵便局へと続いていました。孔子像は、東京・大

阪へ大きな塩の塊を運ぶ運河を見下ろしていました。木々の紅葉は、すがすがしい11月の青空に映え、茶色や濃灰色の古い建物と鮮やかなコントラストをなしていました。私たちは、酒ジェラートを食べながら竹原地区を散策しました。—なんて贅沢なことでしょう！



After Takehara, we piled back on the bus, and by late afternoon we reached Hiroshima.

This was my first time in Hiroshima. We visited all the memorials in the Hiroshima Peace Memorial Park: the A-Bomb Dome and the Children's Peace Monument and, of course, the Hiroshima Peace Memorial Museum.

竹原を後にして、バスは午後遅くに広島に到着しました。私にとっては、初めての広島訪問でした。広島平和公園内の記念碑すべてに足を運びました。原爆ドーム、原爆の子の像、広島平和記念資料館がありました。

I've been staring at this page for many minutes and I still don't know what to say about it. But I think everyone should go. Everyone in the world who has the means should visit Hiroshima and should see the museum there. So we understand, as citizens of the world.

私は何度も考えました。何と言ってよいのか、いまだにわかりません。でも、ここへ皆が行くべきだと思っています。できることなら、世界中のすべての人々が広島を訪れ資料館の見学をすべきだと思います。そうすれば、地球市民として、共感することができるでしょう。

I know I didn't understand before. I'd studied the events of 1945 in history class, of course, and even in the United States, there are many people who speak passionately

about the horror my government caused. But despite having studied it, I didn't understand. Not until I saw the museum in Hiroshima. Not until I stood in the city and looked around me.

これまでの私は何もわかっていなかったことに気付きました。もちろん、私は、アメリカで歴史の時間に1945年の出来事を学びました。アメリカ政府が起こした恐ろしい出来事について熱心に話す人もたくさんいました。しかし、勉強したにもかかわらず、わかっていなかったのです。広島資料館を訪れるまで、また、広島に立ち、まわりを見渡すまで、何もわかっていなかったのです。

Visiting Hiroshima affected me. The experience wrecked me, deeply, in a way I've rarely felt. I can only reiterate that I think everyone in the world should go, to see and understand. Especially our world leaders.

広島訪問は私にとって衝撃的でした。これまで経験したことのないような深い衝撃を受けました。何度も繰り返しますが、世界中の人々が広島に行き、見て、理解すべきだと思います。特に、世界中の指導者たちはそうすべきだと思います。

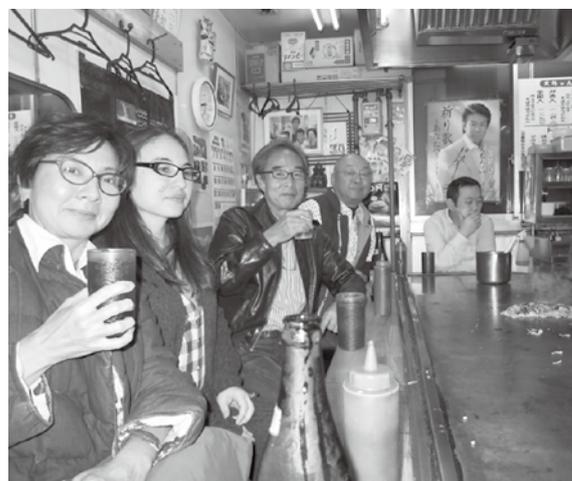


Being with the Hyogo Association, however, I also got to see what a delightful and vibrant city Hiroshima is in the modern day. That

night was a ten-course oyster banquet of a sort I'd never experienced. Every type of oyster in every possible method of mouth-watering delicacy was placed before us. Since I couldn't understand Japanese, the servers explained to me how to eat each dish with exaggerated hand motions that had us all in stitches with laughter. And afterward, even though we were all full to bursting, we stopped to sit down for some Hiroshima-yaki and get a taste of the favorite fried food of the city.



また、兵協会の皆さんと一緒に、広島現代都市としての活気に満ちた素晴らしい一面を見ることもできました。その夜は、牡蠣10品のコース料理で、これまで経験したことがないものでした。あらゆる種類の牡蠣が、様々な調理法で調理され、私たちの前に並びました。それは食欲をそそられるものでした。私は日本語がわからないので、給仕してくれる方が、一皿ずつそ



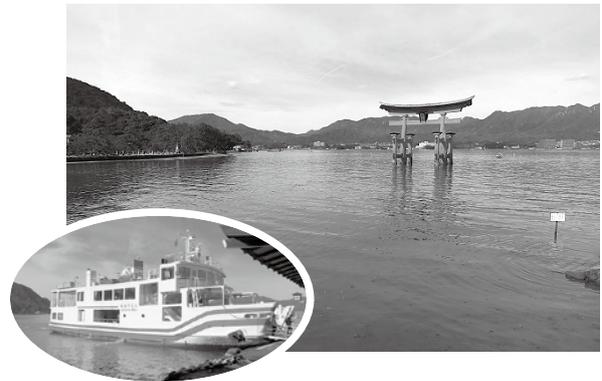


の食べ方を、逐一大げさなジェスチャーで教えてくれました。それがおかしくて、みんな笑いこけました。その後、お腹がいっぱいなにもかかわらず、広島焼きの店に立ち寄り、広島市の名物である広島焼きを味わいました。

The next day, we departed Hiroshima early in the morning for our final tourist destination: Miyajima. I was quite excited, as I'd read how beautiful it was, but the island exceeded my expectations. We came in by ferry, the famous floating torii gate rising from the water to greet us, but the scenery was even more spectacular once we disembarked. The Istukushima shrine sprawled over the receding tide, a brilliant orange-gold against the blue sea and sky as water lapped below us and the torii gate framed our view of the world. The air felt brilliantly crisp and the streams brilliantly clear, like Miyajima was a land separate from the rest of the world. Everywhere on the island, wild deer meandered through the visitors, so tame they would come right up to any human being without fear. One even tried to steal and eat the souvenirs one of our

party had bought!

次の日の早朝、広島を出発して、最終目的地である宮島に向かいました。とても美しい場所と聞いていたので、非常に楽しみにしていましたが、それは私の期待以上のものでした。フェリーに乗ると、水面に浮かび建つ有名な鳥居が私たちを迎えました。下船後には、さらに壮観な景色がありました。干潮時の厳島神社は、青い海と空とは対照的に橙がかった金色に輝き、私たちの足元に打ち寄せる波と鳥居が額に入れたような景色をつくりました。とてもすがすがしく、さわやかな風が流れ、宮島は世界のほかの地域から隔離された場所のようでした。島の至るところに、野性の鹿がいて、観光客のまわりを歩き回り、飼いならされたように、人を怖がることなく近寄ってきました。一頭は、私たちが買ったお土産をとって食べようとしてました！



We ferried back to the bus, and after stopping for one more lavish meal, we returned to Kobe right on time Monday evening. I am greatly indebted to the Hyogo Association of Architectural Firms for inviting me to join their trip and welcoming me with such warmth and hospitality. I am already recommending to all of my friends here in Japan that they, too, take a similar journey into Hiroshima Prefecture and seek out these amazing, affecting experiences.

フェリーでバスに戻りました。そして、また豪華な食事をいただいた後、月曜日の夕方には予定通りに神戸に帰ってきました。兵庫建築士事務所協会神戸支部のみなさんには、この旅に参加させていただき、温かく迎え入れていただいて、とても感謝しています。日本にいる私の友人たちにも、この驚きと感動の体験をしてほしいと思い、広島への旅をすすめています。

(翻訳：大阪女学院大学 前田美子)

日帰り研修「ケイミュー奈良TC見学と箸墓古墳・散策」

ケイミュー(株) 奥村美幸

- 日 時：平成27年10月8日（木）
- 場 所：ケイミュー（KMEW）奈良テクノセンター&箸墓古墳と周辺策
- 参加者：22名

■10月8日朝8時 JR神戸駅 晴天

神戸駅南バス駐車場に集合し、定刻8時出発。香芝SAで休憩。高速道路も順調で予定より早く9時40分ごろKMEW奈良TCに到着。



香芝SAで休憩



説明会の一コマ



設備棟見学中



展示架台の前で

KMEW奈良TCは製造・販売する外装材のデザイン・基材開発・評価試験等の研究施設や施工方法を施工業者に習得させる建材学校を常設したテクノセンターです。

開発部員より製品説明や評価試験設備等の見学を行いました。特に評価試験設備や施工架台等前での説明には生き生きとした姿で質疑応答されている姿が印象的でした。

昼12時半ごろKMEWを出発し、大和郡山市内の昼食会場へ。



見学会の全員写真 ハーイ チーズ!!



昼食の一こま

お腹も満腹になり、次の目的地である「箸墓古墳群のある桜井市」に移動いたしました。

桜井市は、飛鳥以前の国の中心地として数多くの歴史遺産と大和青垣国定公園など豊かな自然環境に目が生まれた「日本の歴史とこころのふるさと」。

熱心なボランティアから多くの手づくりの資料で箸墓古墳を望みながら説明を受けました。

箸墓古墳の周辺を散策しながら、三輪そうめん研修センターや民家など建物撮影や秋の風情豊かな彼岸花の赤色や稲穂の黄金色、柿の黄色などの被写体を撮影しながらの散策を楽しみました。



箸墓古墳を望みガイド説明を聞く



散策途中の住宅の撮影



散策中



ホケノ山古墳跡で

小腹も空き、喉も渇き「三輪そうめん山本麺ゆう館」に向かいましたが、閉館時間を過ぎていましたが、お店のご好意で急きょ試食そうめんを茹でていただき、舌鼓を打ちながら、財布の紐を緩め、思い思いのそうめんをお土産に三宮へ。午後6時40分ごろ到着。

天気にも恵まれ「古代に思い」をはせながらの日帰り研修でした。ご苦労様でした。

第32回親睦ボウリング大会

平成27年2月7日(土)



●個人総合の部

優勝	越智 修治 (神鋼不動産ジークレフサービス(株))
準優勝	平川 達也 (創企(株))
第3位	宮本又規子 (創企(株))

●個人女子の部

優勝	宮本又規子 (創企(株))
準優勝	川崎 好美 (株)川崎設計
第3位	芳野 美香 (創企(株))

参加者名簿及び組み合わせ表

レノ	氏名	事務所・会社名	レノ	氏名	事務所・会社名
25	中島 哲	(株)盤設計	33	安藤 昇	伊丹工房
	福富 直子	〃		平川 宏之	(有)竹久建築設計事務所
	福富 潤一	〃		大栗 丈幸	(株)建築資料研究所 日建学院
	福富 瑠依	〃		平川 大樹	〃
26	福富 緒乙	(株)盤設計	34	川崎 史	(株)川崎設計
	藤塚 琳久	朝日共同設計(有)		川崎 好美	〃
	谷 祐太郎	〃		川崎 敏嗣	〃
27	高田 昌之	朝日共同設計(有)		川崎衣里永	〃
	藤塚 治	〃	35	橋本 昌和	神鋼不動産(株)
	藤塚 奈央	〃		鷹取 憲一	〃
今田 貴光	(株)神戸清光	吉武 圭子		〃	
28	佐伯 義之	(株)佐伯設計	36	山本智佐子	〃
	税所 豊	〃		岡本 季雅	菱電工レベータ施設(株)
	佐伯恵美子	〃		野村 幸治	〃
星本 真希	〃	川上 雅史		〃	
29	星本大空志	(株)佐伯設計	37	小俣 匡外	〃
	池北 和奏	JA兵庫六甲一級建築士事務所		平川 雅勝	創企(株)
30	池北 浩之	JA兵庫六甲一級建築士事務所		平川 喜則	〃
	谷向 康裕	文化シャッター(株)		平川 明宣	〃
	山本 修	〃	平川 達也	〃	
31	越智 修治	神鋼不動産ジークレフサービス(株)	有本 健吾	〃	
	北村 憲司	(株)北村鉄工所	38	肥田木義信	創企(株)
	太田 慧一	〃		芳野 美香	〃
	内田 俊治	〃		宮本又規子	〃
富山 靖久	〃	富永 紘子		〃	
32	尾添 泰弘	(株)アーキノヴァ設計工房	横山 千尋	〃	
	庄本 健人	〃			
	藤谷 章	エスケー化研(株)			

同好会だより

●KJ会 (ゴルフ同好会) 【会長：為金清人 幹事：水野政博、八木啓祐】

ゴルフ同好会は、雨にも負けず風にも負けず、楽しくコンペを行っています。ゴルフを始められた方、久しぶりにプレーしたい方、新しく入会された方々も、ご連絡をお待ちしております。

第171回より新世話人により運営をおこなっています。引継ぎ宜しくお願いします。

◆第187回 H27.3.13 (城山ゴルフ倶楽部)
..... (参加者10名)

優勝	2位	3位
越智 修治	北村 憲司	小坂 雅生

◆第189回 H27.9.17 (六甲国際ゴルフ倶楽部)
..... (参加者13名)

優勝	2位	3位
八木 啓祐	前田 信行	辻 俊夫

◆第188回 H27.6.9 (明石ゴルフ倶楽部)
..... (参加者9名)

優勝	2位	3位
水野 政博	八木 啓祐	辻 俊夫

◆第190回 H27.11.26 (三木ゴルフ倶楽部)
..... (参加者8名)

優勝	2位	3位
八木 啓祐	和田 光男	小坂 雅生



●KM会 (麻雀同好会)

【幹事：前田進一】

麻雀同好会は娯楽を目的に楽しく開催されており、久しぶりに麻雀される方が多数ですので麻雀の初心者などもご遠慮なく参加してください。

◆第45回 H27.7.4開催..... 参加人数8名

優勝	準優勝	3位
辻 俊夫	前田 進一	角村 和良

◆第46回 H27.10.31開催..... 参加人数7名

優勝	準優勝	3位
前田 進一	辻 俊夫	高田 昌之



同好会だより

●トレッキング同好会【会長：柏本 保 幹事：前田 信行】

自然観察をしながら日頃の運動不足やストレスを解消しませんか？会員同士の情報交換や親睦も深めて頂きたいとも願っております。また、この会への入会手続きは特にありません。家族、社員の参加也大歓迎です。多数の参加をお待ちしております。

◆第2回 H27.6.7・・・・・・・・・・(参加者12名)

長峰山と摩耶山の山頂を目指しました。

行程概略

集合場所・時間／阪急六甲駅／午前9：00（時間厳守）

予定工程／9：00阪急六甲駅集合⇒9：40伯母野住宅碑⇒11：00長峰山山頂⇒11：40穂高湖にて昼食

12：30穂高湖⇒13：00摩耶山山頂⇒摩耶山史跡公園を経て上野道⇒14：30阪急王子公園にて自由解散



摩耶の大杉



五鬼城展望



長峰山山頂より下界を望む

平成27年6月7日 第2回トレッキング同好会参加者名簿

(順不同・敬称略)

番号	事務所・会社名	出席者名
1	前田信行一級建築士事務所	前田 信行
2	(株)アーキノヴァ設計工房	柏本 保
3	徹建築設計事務所	岡田 徹
4	東播建築設計事務所	小川 美紀
5	同上	柿野 栄子
6	同上	松村 佳織
7	三和シャッター工業(株)	三原 芳之
8	菱電エレベーター施設(株)	野村 幸治
9	一級建築士事務所 (有)未来工房	小村 敏夫
10	丸正建設(株)一級建築士事務所	森脇 匠一
11	一般	小学校5年生
12	一般	小学校3年生



長峰山山頂にて



摩耶山菊星台にて

同好会だより

◆第3回 H27.10.25・・・・・・・・・・(参加者8名)

日光の華厳の滝、紀伊的那智の滝と共に数多くの史実跡をとどめてきた日本三大神滝の一つ、「布引の滝」を鑑賞した後、軽快な布引谷の沢の飛石渡りでその数がほぼ20回あるところからトエンティークロスと呼ばれるコースをたどり、色付き始めた秋の神戸市立森林植物園を散策しました。

行程概略

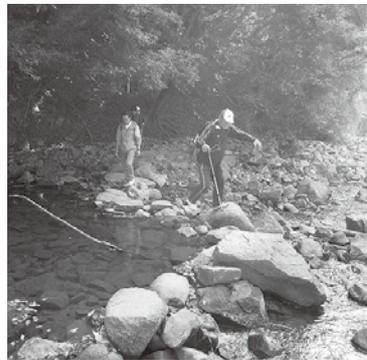
集合場所・時間／新神戸駅／午前9：30（時間厳守） 駅構内1階 駅レンタカー店 前

予定工程／9：30新神戸駅集合⇒10：00布引の滝⇒11：00桜茶屋⇒12：00神戸市立森林植物園にて

昼食後、園内自由散策（1時間から2時間） 14：00頃 自由解散



森林植物園にて



沢渡り



展望所からの眺め



沢渡り



布引貯水池にて

平成27年10月25日 第3回トレッキング同好会参加者名簿

(順不同・敬称略)

番号	事務所・会社名	出席者名
1	前田信行一級建築士事務所	前田 信行
2	(株)アーキノヴァ設計工房	柏本 保
3	徹建築設計事務所	岡田 徹
4	(株)川崎設計	川崎 史
5	三和シャッター工業(株)	三原 芳之
6	大創建設工業(株)	浅井 嗣也
7	一般	
8	一般	



布引の滝にて

タイルの歴史と博物館紹介

(株)LIXIL (INAXライブミュージアム学芸員) 竹 多 格

タイルは建築仕上げ材として紀元前3500年頃にメソポタミアにクレイペグと呼ばれる円錐型のやきものによる神殿のための壁装飾が、また紀元前2650年頃にはエジプトでターコイズブルーのタイルが王墓のための壁装飾材として登場しています。さらに9世紀頃から中近東でモスクなどの宗教施設の壁装飾に本格的に使用されてきました。その後、タイルはイスラーム文化の広がりとともに豊かさの象徴としてヨーロッパに伝わり、スペイン、ポルトガル、イタリア、オランダ、イギリスへと広がっていきました。その基本的な技法には主に3種あり、まず絵付けされる色釉を鮮やかに魅せるための錫釉陶器の技法、また、金属的な輝きを持つラスター彩の技法、さらに中国生まれの白地藍彩の色彩技法です。そして18世紀後半からイギリスでは産業革命がおこり、タイルの生産にも機械が導入され各種加飾技術の開発と相まってタイル史上最高の装飾タイルを量産するに至りました。



クレイペグによる装飾

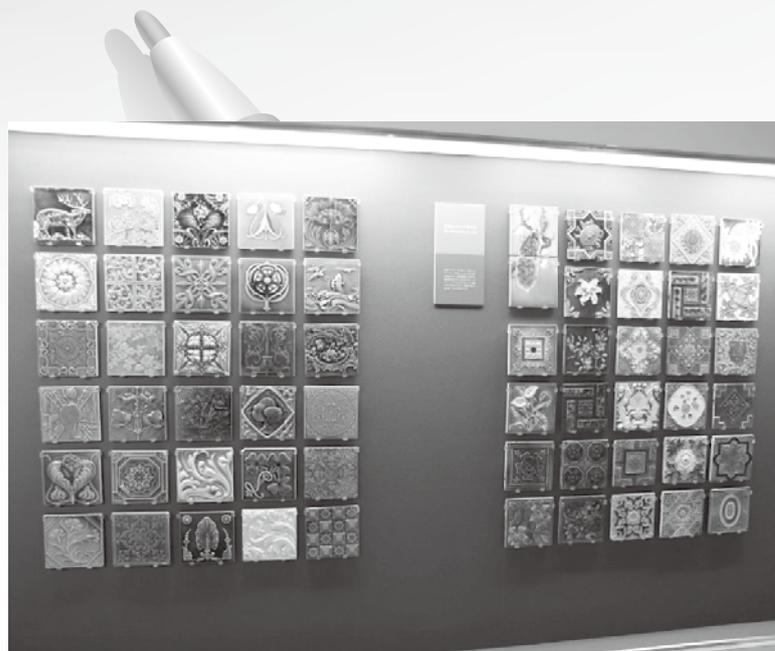
日本のインテリアタイルのルーツの一つにこのイギリスのタイルがあります。アールヌーボーのデザインを取り入れた多彩色のタイルが明治時代に輸入され、洋館に使われたのをきっかけに、明治末頃から昭和戦前まで、こうしたイギリスのタイルを手本にしたタイルが淡陶、不二見焼タイル、佐治タイルなどの内装タイルメーカーによって製作されました。一方、ビル外壁のタイルの歴史は、明治期の赤煉瓦建築の流れをくみ、特にその形状は煉瓦積みの目地に囲まれた部分の形・大きさが、踏襲されました。自然界にある鉄分を含む粘土を焼いてできた赤煉瓦は樹木の緑とよくマッチし、関東大震災後に建物構造が赤煉瓦造から鉄筋コンクリート造へ変わったとき、外装タイルの多くはこの赤煉瓦色をしたものが使われました。その後も外装タイルはスクラッチタイルに代表されるような土ものと呼ばれる天然の粘土の色・質感を活かした色合のものが流行し、表面もスクラッチ(引っ掻き模様)のほか、粗い石粒が浮き出た模様、あるいは伝統的なやきものの釉薬を施したものなど、やきもの好きな日本人ならではの嗜好のタイルが一時代を

築きました。現在はシンプルな仕上げが好まれサッシにガラスという外壁が多くなっていますが、やはりタイルの魅力は大切に後世に伝えていかなければならないと思います。

LIXILでは、1997年に旧INAXがタイル研究家故山本正之氏の歴史的に貴重な世界のタイルコレクション約6000点を核とする「世界のタイル博物館」を愛知県常滑市に開設しました。ここでは、コレクションから1000点近くの歴史タイルを展示

するとともに、タイル史で代表的な地域・国のタイル空間を再現しています。メソポタミアのクレイペガ装飾、エジプトの階段ピラミッドの地下に使われた世界最古のタイル装飾、イスラームのモザイクタイル張りの天井装飾、オランダの居間に使われたタイル装飾、イギリスのパブを再現したタイル空間、最後に日本のモザイクタイル壁画の6つスペースがあります。これらの常設展示とは別に、世界のタイルをテーマにした企画展を年2回開催し、あらためてタイルの魅力を発信しています。皆様、是非一度お越しください。お待ちしております。

詳しくはホームページ <http://www1.lixil.co.jp/museum/>にてご確認ください。



イギリスのタイル



【世界のタイル博物館】

● 神戸市すまいの安心支援センター共催事業 ●

第22回 なた桜まつり

日時：平成27年4月4日（土） 10：00～15：00（13：00～15：00）

場所：都賀川公園・区民センター（神戸市灘区神ノ木通4丁目・千旦通4丁目）

共催セミナー担当 成瀬 秀一

桜が灘区の木に指定されていることから、この時期には、灘区の各地で桜に関わる催しが開催されている。

麻耶ケーブルの南「桜のトンネル」を通る市バス18系統では、トンネル通過時に「さくらさくら」のメロディーを車内で流したり、神戸市立王子動物園では、恒例の「夜桜通り抜け」（3日～5日午後6時～8時半）があり、夜桜を満喫させたり、それに合わせて4月4日は、水道筋商店街でもゲームや屋台が出店して、神戸市立王子動物園の「夜桜通り抜け」を盛り上げている。我々が参加しているなた桜まつりもその一環で、前日までの雨天という予報をくつがえし、上着を脱いでも額に汗がにじんでくるぐらいの初夏を思わせる陽気で



の開催であった。

本来の開催時間は、10：00からではあるが、なた桜まつりには初めての参加で、無理を言っただけの参加であることから、No29テントを10：00～12：00まで都賀川を守ろう会が豚汁を配るために使用し、13：00～15：00を神戸支部とすまいるネットが使用するという変則的な形になった。

会場での活動が2時間程となる事から、すまいるネットと相談をして、ゲームや耐震診断のアンケートなど本格的な活動はやめて、耐震診断等の資料配布の普及活動をすることにした。

すまいるネットの配布資料は、耐震診断資料と耐震キャラクターグッズが透明の手提げ袋に入れられており、グッズがよく見えているので、受け取っていただきやすく配りやすかった。

事務所協会の配布資料は、神戸支部のA4封筒に連合会が作成した「耐震診断とは？」「安心し



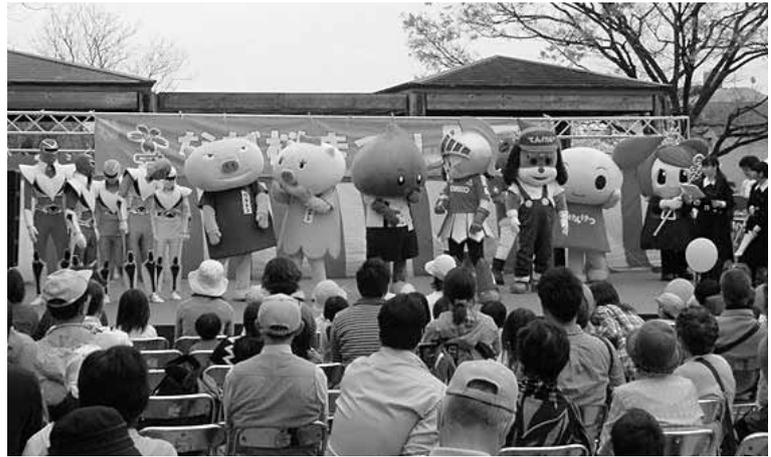
て家を建てるのには」のパンフレットと、神戸信用金庫との住宅ローン優遇協定の、会員が設計・工事監理した住宅であれば変動金利が、通常より年0.2%引き下げられる、(条件あり)という、神戸支部会員の連絡先が記載されたA3チラシと、神戸信用金庫の「ご近所住宅ローン」・「リフォームローン」・「変動金利型住宅ローン」のチラシの配布を行った。

神戸信用金庫との住宅ローン優遇協定で建築主は、確かな設計と工事監理を受けられ、ローン金利の優遇も受けられる。神戸支部会員は、金融機関との提携により信用度が増し、金利優遇により仕事につながりやすくなる。

神戸信用金庫は、今までなかった多くの人が集まるまつりで宣伝活動ができ、新規顧客の開拓につながる。

地元の方は、周りに安全な建物ができて安心して暮らせることになり、「4方良し」が可能となる。

神戸支部会員の新規顧客の開拓には、会員の仕



事を分かりやすく伝えるチラシの作成が必要である。

神戸支部も以前PRの為にティッシュを作ったことがあるが、行きかう人に資料を受け取ってもらいやすい工夫や、商品を作る必要がある。

舞台では、チアリーディングや太鼓演奏、灘の酒造り唄をはじめとした多彩なステージプログラムあり、模擬店やゲームコーナーなどが開催された。リサイクルコーナーも設置され、空き缶20個持参で粗品がプレゼントされるほか、牛乳パック20枚で花の苗1鉢がプレゼントされた。

プログラムの終盤ではキャラクターショーが開催され、灘区に関するキャラクターが共演した。

舞台の下には多くの子供たちが列を作って目を輝かせて見ていた。

舞台に神戸市の耐震キャラクターである博士の着ぐるみを登場させて、舞台の下に並ぶ子供たちにキャラクターグッズとチラシを配布すれば、学校でも話題にもなる。

付き添ってきている父母・祖父母にも子供たち通じて、耐震診断に関心を持っていただけることになると思う。

耐震診断・耐震改修工事を普及させるには、絶好の機会であると思われる。

子や孫に甘い、父母・祖父母に受け入れてもらうには、子供用のチラシも必要かもしれない。

次回の桜まつりでは、是非ともキャラクターショー参加を実現させたい。



第 22 回 なた桜まつり 会場レイアウト図

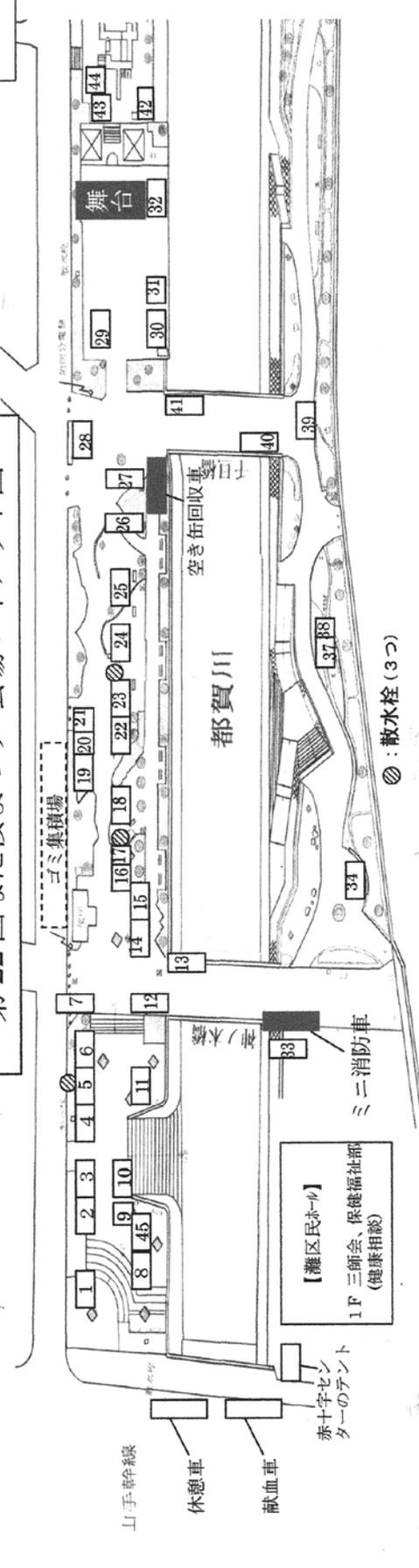
金沢病院

山手、春中線

休憩車

献血車

赤十字センターのテント



No	出店団体名 (内容)	No	出店団体名 (内容)	No	出店団体名 (内容)
1	灘警察署・灘交通安全協会 (交通安全コーナー)	18	灘区自治会連絡協議会 (コーヒー)	32	ステージ音響
2	摩耶婦人会 (たこやき)、篠原上婦人会 (フライドポテト)	19	灘中央まち協 (スーパースポーツ、ボール、お茶)	33	灘消防団 (待機所)・ミニ消防車
3	上野婦人会 (おでん)、休憩所	20	灘中央まち協 (本部)	34	自動車整備振興会神戸東支部 (交通安全PR)
4	灘中央婦人会 (やさそば)、休憩所	21	灘中央まち協 (活動コーナー)	37	灘百選の会・企画運営員会 (灘百選の会PR)
5	原田婦人会 (はつろこし)、五毛婦人会 (フランクフルト)	22	灘中央まち協 (フランクフルト、炭そば、ポップコーン)	38	のびやかスペースあーち (手作りおもちゃ・リサイクル)
6	なぎさ婦人会 (さぬきうどん)、都婦人会 (赤飯・焼き鳥)	23	灘中央まち協 (やさそば、焼き鳥)	39	環境局灘事業所 (ゴミの分別PR)
7	灘区子ども会連合会 (ピーンボウリング)	24	灘中央まち協 (金魚すくい、わたがし)	40	食と農の研究所 (有機野菜の販売)
8	神戸灘ライオンズクラブ (牛乳パックリサイクル他)	25	灘中央まち協 (ヨーヨーつり、わなげ)	41	警察署 (詰所)
9	灘文化軸倶楽部 (銘菓販売)	26	灘中央まち協 (アイスゲーム、ダーツ)	42	ステージ出演者用テント
10	灘区民会 (近畿府民会、灘区民会、灘区民会、灘区民会)	27	神戸製鉄所 (空き缶リサイクル)・空き缶回収車	43	ステージ出演者用テント
11	都賀川を守る会 (餅つき・きなこ餅)	28	灘消防署 (防災広報)	44	ステージ出演者用テント
12	灘区老人クラブ連合会 (ゲームボール体験コーナー)	29	都賀川を守る会 (豚汁)	45	兵庫県更生保護女性連盟 (ガレージセール)
13	連合婦人会 (切花・野菜・カレー・お好み焼、出し昆布)		水道局東部センター (水道水試飲)		
14	八幡婦人会 (バザー)、高羽婦人会 (バザー)	30	都賀川を守る会 (河川の安全啓発)		
15	上河原婦人会 (衣類ほか)、篠原婦人会 (バザー)				
16・17	神戸養生会 (コーヒー豆、ペーパーカステラ、りんごあめ、からあげ)	31	なた桜まつり本部		

● 神戸市すまいの安心支援センター共催事業 ●

第19回 灘ふれあい秋まつり

日時：平成27年10月10日（土） 10：00～15：00

場所：都賀川公園・区民センター（神戸市灘区神ノ木通4丁目・千旦通4丁目）

共催セミナー担当 成瀬 秀一

久本神戸市長・遠藤灘区長のあいさつで第19回灘ふれあい秋まつりが始まった。

盛山先生や関係者の訪問があり、ゲームやアンケートにも協力して頂いた。



すまいるネットの努力の成果で、来場者から122件の回答を頂くことができました。

アンケートを取る中でお話をさせて頂くと、手頃感があるのか家具固定に興味を示される方が数名おられた。耐震診断や住宅についての相談もあったが、詳細が不明なので、参考になる資料をもって、すまいるネットに伺って頂くようにした。

今回の事務所キャンペーンにおいて課題が見えてきた。

事務所キャンペーンやセミナー開催では事業単独の告知チラシを作成しているが、会員・行政・市民の「三方よし」のチラシを作成する必要がある。

現在、事務所キャンペーンでは、神戸信用金庫との住宅ローン優遇金利の提携をPRする為に、会員の連絡先を記載したA3チラシを配布しているが、新たに作成して神戸信用金庫の各支店の窓口に設置して頂いて、地元での会員の認知と業務拡大につなげて行く必要がある。



行政の推し進めている事業、「空き家対策」・「耐震事業」に対して神戸支部として協力できることをチラシにまとめて、各区役所や関係先に設置して頂き、事務所キャンペーンや一般向けのセミナーでも配布して、神戸支部を認知して頂く。

「耐震事業」や「空き家の流通」にかかわる住宅を保有されているのは、年配の方が多い。年配の



方々は、デジタル的な取り組みには活発ではなく必要最小限にとどめていて、常時インターネットを活用されていることは考えられず、デジタル的な手法では行政の推進事業への認知には至らない。「耐震事業」や「空き家の流通」を推進させるのには、文字を大きくしたり、キャラクターや絵をふんだんに取り入れて、子供や年配の人にも親しみ



やすく、やさしく解説されたチラシを作成する必要があり、紙媒体や口コミなどアナログ的な広報が有効的であると考えます。

おまつりには、対象となる年配の方々や、子供たちが参加しており、子供が興味を示せば、同伴者である祖父母や父母も関心を示すことになり、おまつりでの普及活動は有効な手段であると考えます。

灘区ふれあいまつり 来場者アンケート集計結果 (H27.10.10実施 回答数122件)

■問1. あなたは？

(1) 性別

① 男	31	25%
② 女	89	73%
無回答	2	

(2) 年齢

① 20代以下	17	14%
② 30代	27	22%
③ 40代	34	28%
④ 50代	7	6%
⑤ 60代以上	36	30%
無回答	1	

(3) 住所

神戸市北区	1	1%
神戸市灘区	106	87%
神戸市東灘区	3	2%
神戸市中央区	1	1%
神戸市兵庫区	0	0%
神戸市長田区	0	0%
神戸市須磨区	0	0%
神戸市垂水区	0	0%
神戸市西区	1	1%
神戸市以外	5	4%
無回答	5	

■問2. あなたのお住まいについてお聞きます。

(1) 住居形式

① 戸建て住宅	66	54%
② 集合住宅(マンション、アパートなど)	55	45%
無回答	1	

(2) いつ建った住宅ですか？

① 昭和56年5月以前	14	11%
② 昭和56年6月以降	78	64%
③ 不明	18	15%
無回答	12	

■問3. 今後、発生する可能性が高いとされる「南海トラフ地震」についてお聞きます。

(1) 南海トラフ地震に関心がありますか？

① 非常に関心がある	52	43%
② 少し関心がある	53	43%
③ あまり関心がない	11	9%
④ 全く関心がない	2	2%
無回答	4	

(2) 南海トラフ地震の今後30年以内の発生確立が「70%」ということを知っていますか？

① 知っている	60	49%
② なんとなく聞いたことがある	37	30%
③ 知らない	21	17%
無回答	4	

(3) 今後30年以内の発生確率が「70%」と聞いて、あなたはどのように思いますか？

① 高い確率なので早急に対策が必要	81	66%
② この確率なら急いで対策する必要はない	25	20%
③ この確率なら対策は不要	1	1%
④ 地震は起こらない	4	3%
⑤ その他	5	4%
無回答	7	

その他回答 ⇒ イメージがわからない、むずかしい、不安である。

(4) 南海トラフ地震が発生した場合、不安に思うことはありますか？(複数回答)

① 建物の耐震性	55	25%
② 家具の転倒	60	27%
③ 電気、ガス、水道などのライフラインの確保	68	31%
④ 津波	33	15%
⑤ その他	2	1%
⑥ 特になし	1	0%
無回答	2	

その他回答 ⇒ 子どもの安全。医療。

■問4. 神戸市が実施している「すまいの耐震化に関する補助制度」についてお聞きます。

(1) 昭和56年5月以前の住宅を対象にした「無料の耐震診断」や「耐震改修工事に対する補助制度」を知っていますか？

① 知っている	45	37%
② 知らない	74	61%
無回答	3	

(2) 小学生以下の子供がいる世帯などを対象にした「家具固定の補助制度」を知っていますか？

① 知っている	35	29%
② 知らない	84	69%
無回答	3	

(3) 要支援・要介護認定を受けていない高齢者世帯を対象にした「バリアフリー住宅改修補助」を知っていますか？

① 知っている	36	30%
② 知らない	84	69%
無回答	2	

■問5. 現在、お住まいで行っている地震対策はありますか？(複数回答)

① 非常持出し袋がある	39	23%
② 家族で避難場所を決めている	46	28%
③ 家具の固定を行っている	29	17%
④ 家の耐震診断を受けた	4	2%
⑤ 家を耐震改修した	4	2%
⑥ その他	2	1%
⑦ 特になし	42	25%
無回答	1	

その他回答 ⇒ 水・食料などの保存。知らない





加入申込書付

兵庫県が提供する「住まい再建のしくみ」
兵庫県住宅再建共済制度

フェニックス共済

分譲マンションにお住まいの方も

住宅をお持ちの方の
住宅再建共済制度

年額5,000円で
最大600万円給付!

※市町村が発行する防災証明書で
年額以上の認定を必要
(4Pの約款第6条第5項参照)

賃貸・借家・社宅にお住まいの方も

住宅にお住まいの方の
家財再建共済制度

年額1,500円で
最大50万円給付!

※市町村が発行する防災証明書で年額以上又は
市上乗金の認定を必要

プラス

住宅再建と家財再建
セット加入で
年額6,000円

一部損壊特約
年額500円で
補修時等に25万円給付!

※市町村が発行する防災証明書で一部損壊
(被害割合10%以上20%未満)の認定を必要
※一部損壊特約の加入は不可

制度創設
10周年!!

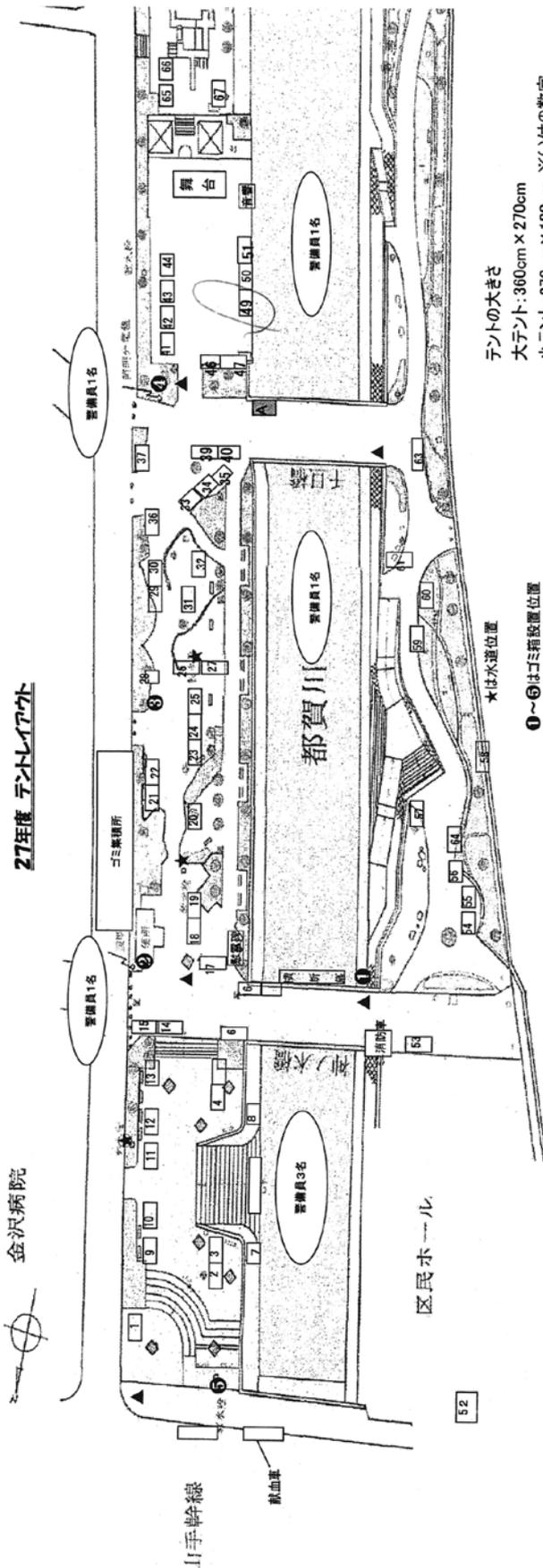


フェニックス
フオックス
ほほタン

兵庫県
企画県民部 防災企画局 復興支援課

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金
☎078-362-9400 受付時間 9:00-17:00 FAX 078-362-9405
神戸市中央区下山手通7丁目10番1号(兵庫県庁内) [フェニックス共済]





テントの大きさ
大テント:360cm × 270cm
小テント:270cm × 180cm ※()内の数字

①～⑤はゴミ箱設置位置

▲はウイザリ-問題設置位置

★は水道位置

① 団体PR-啓発ブース ※は初参加団体

テント№	団体・グループ・業者名
1	東区交通安全協会 一般社団法人 瀬自家用自動車協会
2, 3	神戸運ライオンズクラブ
4	公益社団法人 護国協協会 護国協防衛総合委員会
(40),(47)	近畿物理士会 護支部
(48)	神戸市環境局 事業部 護支部
(50)	神戸市すまじとまの安心支援センター 耐震支援係 (一社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
(58),(61)	都賀川を守る会
北スティーヂ(バフオーマンススティーヂ)	兵衛県自動車整備協会 神戸支部
テント№	団体・グループ・業者名
7, 8	(株)神戸製鋼所
飲食機設店ブース	
テント№	団体・グループ・業者名
6	団体・グループ・業者名
9A	灘中央地区民生委員児童委員協議会
9B	五石婦人会
	上野婦人会

※

飲食機設店ブース

テント№	団体・グループ・業者名
10A	瀬原上場人会
10B	灘中央婦人会
11A	東野婦人会
12A	原田婦人会
12B	なごさ婦人会
15B	新婦人会
(14)	(社)木の芽福祉社 六甲俱樂部
(19)	グループホーム六甲 ぼほほみくら
17	生活協同組合コープこうべ コープ瀬原・頓甲
18,(19)	神戸養生会
20	灘区自治会連絡協議会
21	神戸市手をつなぐ育成会 灘支部
22	灘区護国協者福祉協会
23	特定非常勤活動法人マブイ六甲 未来をひらくマブイ六甲
(24)	神戸市立ワークセンターいっや
25	灘チャレンジ実行委員会
26,27	サポーステーション 灘・つどいの家

※

子どもの遊びブース

テント№	団体・グループ・業者名
29	KOBE 在宅ケア・ボランティアグループ ぼほほみくら選抜班
(30)	灘区聴覚障害者福祉協会 & 灘手話の会
31,(32)	灘区老人クラブ連合会
(33),(34)	灘区子ども会連合会
36	神戸東おやこ劇場
54	灘区児童館
55	灘区公立保育所
(56)	神戸市地域子育て応援プラザ 灘
(57)	神戸海星女子学院大学
(64)	子育てひろば情報コーナー
(58)	灘区更生保護女性会
(37)	KOBEISM
バザーブース	
テント№	団体・グループ・業者名
(16)	灘区連合婦人会
(28)	つどいグループいっやわり
(35)	NPO法人ボレロ

バザーブース

テント№	団体・グループ・業者名
(38)	さざりサークル士の会
(40)	社会福祉法人 たん匠匠
(41)	瀬原婦人会
(42)	八幡婦人会
(43)	上河原婦人会
(44)	東野婦人会
63	『つなごろう日本!』神戸大学生+KOBEISM

その他

テント№	団体・グループ・業者名
(51)	本部
52	兵庫県赤十字血液センター
53	灘消防団
55,56,57	スティーヂ出家控テント

本日は灘ふれあい秋まつり会場の、事務所協会・すまいるネットのブースにお立ち寄りいただきまして、誠に有難うございました。我々、(一社)兵庫県建築士事務所協会は、建築設計等を業務としている設計事務所が集まった全国組織の職能団体です。建築基準法・建築士法第27条に記載されている法定団体で、建築主の立場になって業務を遂行する事を旨として活動しております。そのため行政と連携する事が多く、神戸市の推し進めている安全で安心なまちづくりにも協力しており今回の耐震診断・改修工事の普及活動もその一環で、灘ふれあい秋まつりを介して広報活動をしております。

【東灘地区】

事務所名	住 所	電話番号
(株)エトスアソシエイツ	東灘区森北町1丁目7-1	078-862-3500
(株)上浦企画設計	東灘区森北町2-3-16	078-436-0090
清原建築事務所	東灘区魚崎北町5-4-3	078-411-3821
リファイン御影	東灘区御影中町2丁目1-4	078-851-8060
(有)大路工務店一級建築士事務所	東灘区御影本町2丁目12-9	078-811-1985
OKU構造研究室	尼崎市西昆陽2-22-1-407	06-4962-3936
積和管理関西(株)一級建築士事務所	東灘区向洋町中5-13	078-857-0008
メルコエステートサービス(株)関西支店耐震診断センター	尼崎市南塚口町2-1-2	06-6424-1341
(株)トーアコーポレーション一級建築士事務所	東灘区森南町1丁目7-8	078-452-6500
日本技術サービス(株)	東灘区住吉東町3-11-2	078-841-4585
(株)アトリエフルタ建築研究所	芦屋市東山町12-8504	0797-31-6550
一級建築士事務所YURI DESIGN	東灘区御影3丁目8-4 5	078-846-5125
(株)山岸建設一級建築士事務所	東灘区住吉本町1-5-8	078-842-1822

【灘地区】

(有)アムワークス建築設計事務所	灘区山田町2-5-15	078-843-2448
(株)IDA	灘区城南通4-7-25	078-861-2001
(株)アール・アイ・エー神戸支社	灘区桜口町3-1-1-301	078-822-3901
(株)財田建築設計事務所	灘区山田町3-1-15	078-821-7443
(株)レンゴー建設一級建築士事務所	灘区鹿ノ下通1丁目4-12	078-802-2331
(株)トキタホーム	灘区城南通4丁目7-16	078-861-0220
成瀬設計事務所	灘区船寺通4-5-21	078-862-0810
長谷川建築設計事務所	灘区千日通4-3-23	078-871-9054
前田信行一級建築士事務所	灘区畑原通3-8-12-101	078-881-5640
(有)和田建築事務所	灘区高羽町2丁目4-22	078-841-5818
(有)興和ハウジング	灘区水道筋1丁目19-3	078-855-7588

【葦合地区】

まこと建築工房一級建築士事務所	中央区野崎通3-1-29-401	078-200-4850
神鋼不動産(株)住宅分譲部	中央区脇浜町海岸通2-2-4	078-261-2240
都住建(株)	中央区熊内町1-1-13	078-221-6147
神鋼興産建設(株)	中央区脇浜町2丁目8-20	078-231-4553
(有)末広設計	中央区脇浜町1-5-1-810	078-241-8832
徹建築設計事務所	中央区御幸通4-2-2	078-271-3933
(株)アグル建築事務所	中央区御幸通4-2-2	078-265-0665
神鋼不動産ゾークレフサービス(株)一級建築士事務所	中央区脇浜町2丁目8-20	078-261-4550
北風建築設計事務所	中央区葦合町馬止1-4	078-221-6485
(株)小池建築事務所	中央区旗塚通1-6-16	078-271-9401
(株)NAK建築事務所	中央区磯辺通3-2-4-101	078-251-3566
神戸中央設計	中央区御幸通3-1-25-1002	078-242-5621
(有)エー・シー設計事務所	中央区浜辺通3-1-3301	078-231-2567
一級建築士事務所大和船舶土地(株)	中央区小野柄通3-1-15	078-232-3131
一級建築士事務所朝日共同設計	中央区雲井通2-1-29-203	078-221-9781
(株)エムイーシー	中央区磯上通4-1-6	078-221-0511
(株)山田工務店一級建築士事務所	中央区雲井通4-1-3	078-232-1800
(株)益田工務店1級建築士事務所	中央区二宮町1-2-3	078-222-5233
住友林業(株) 住宅事業本部 神戸支店	中央区浜辺通5丁目1-14	078-232-3751
(有)原田デザイン	中央区浜辺通3-1-31-1001	078-221-4688
一級建築士事務所創企(株)	中央区小野柄通4-1-15	078-261-0202
廣原一級建築士事務所	中央区浜辺通3-1-3-706	078-241-5532
一級建築士事務所水野建設設計(株)	中央区琴ノ緒町1-10-4	078-231-1931
(株)神鋼環境ソリューション一級建築士事務所	中央区脇浜町1-4-78	078-232-8010
(株)山本設計	中央区二宮町4-11-10	078-231-2921

【須磨地区】

(株)佐伯設計	須磨区大田町2丁目2-8-302	078-735-5370
(株)左成工務店一級建築士事務所	須磨区多井畑字筋替道41-1	078-741-0954
(株)富士澤一級建築士事務所	須磨区妙法寺字牛の子1014-16	078-741-7637
(有)宮北建築	須磨区神の谷6-3-109-101	078-794-0803
(株)y&M design office	須磨区弥栄台3-3-7	078-891-7616
八木啓祐建築研究所	須磨区堀池町2-1-8	078-731-4988

【西地区】

(株)丹田工務店一級建築士事務所	西区榎谷町榎木小谷484	078-996-1060
阪本建築事務所	西区玉津町高津橋456-7	078-917-3352
長田建築設計事務所	西区神出町東923-2	078-965-2590
一級建築士事務所アクト建築設計事務所	西区岩岡町古郷961-7	078-967-2869
WING建築設計事務所	明石市松が丘北町3784-13-1009	078-914-5115
(株)興建社一級建築士事務所	三木市志染町東自由が丘2-91	0794-85-1283
設計事務所 建築計画 貫谷	姫路市白銀町100	079-223-0194

一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会 神戸支部では、神戸信用組合と提携しており、ローン金利のサービスを行なっております。神戸支部会員の事務所で設計や監理をされ、神戸信用金庫の各支店において、ローンの制度を活用されると、住宅資金については最優遇金利を1.075%とし、その他のローンについては、所定の金利より0.2%引き下げられます(条件あり)。

【生田地区】

事務所名	住 所	電話番号
一級建築士事務所 伊丹工房	伊丹市大鹿2-80	072-785-0264
協立建築事務所	中央区加納町2丁目1-14	078-261-2351
(株)戒真弓建築研究室	中央区元町通1-10-11	078-391-8071
(株)カワサキライフコーポレーション 一級建築士事務所	中央区東川崎町1-1-3	078-360-5414
(株)小田設計事務所	中央区北長狭通4-9-26	078-391-1371
(株)アーキノヴァ設計工房	中央区北野町2-7-18-12	078-222-3231
北澤建築事務所	中央区下山手2丁目13-11	078-392-1327
(株)NBC一級建築士事務所	中央区京町79-801	078-332-4107
(株)兵庫県公社住宅サービス一級建築士事務所	中央区下山手通4-18-2	078-230-8831
(株)いるか設計集団	中央区海岸通3丁目1-5	078-332-4902
(株)瀬戸本淳建築研究室	中央区海岸通1-1-1	078-333-0138
協同組合 都市設計連合	中央区生田町1-4-20	078-262-8900
DAN構造設計室	中央区北長狭通5-4-7-205	078-382-1350
(株)ナックス建築設計事務所	中央区北長狭通6-2-15-204	078-599-7940
神戸ビル管理(株)一級建築士事務所	中央区浪花町15番地	078-334-3810
(有)T&H設計一級建築士事務所	中央区東町116-2-801	078-325-5780
福元建築設計事務所	中央区長隈町5-21-314	078-341-7463
(株)藤木設計事務所	中央区相生町5-12-18-202	078-576-4351
アトリエsae	中央区三宮町3-5-4-802	078-332-7280
(株)エアランドディー設計企画	中央区下山手通4-6-13	078-391-7038
阪神測建(株)一級建築士事務所	中央区楠町6-3-11	078-360-8481
(株)吉田設計事務所	中央区東町116-2	078-332-2720

【兵庫地区】

(株)黒田建築設計事務所	兵庫区下沢通2丁目1-17	078-574-0678
(株)市来建築設計事務所	兵庫区駅前通1-3-14-201	078-575-0088
(株)東洋工業一級建築士事務所	兵庫区下沢通7丁目2番28号	078-576-0053
今津建設(株)一級建築士事務所	兵庫区吉田町2-27-10	078-671-3632
寄神建設(株)一級建築士事務所	兵庫区七宮町2丁目1-1	078-681-6662
(株)川崎設計	兵庫区永沢町3-1-10-301	078-576-1820
(株)創設計事務所	兵庫区門口町1-33	078-652-9007
志水一級建築士事務所	兵庫区荒田町3-73-11	078-579-2370
一級建築士事務所 プラマ190	兵庫区菊水町9-1-1	078-511-8555
近畿菱重興産(株)一級建築士事務所	兵庫区笠松通9-2-19	078-672-4739
(株)ディ・オー	兵庫区中道通3-3-1	078-515-2460
(有)竹久建築設計事務所	兵庫区中道通3-4-26	078-575-4448
ヒロセ一級建築士事務所	兵庫区荒田町3-2-13	078-521-6549
(株)盤設計	兵庫区三川口町3-3-3-303	078-576-6436
(株)正井建築設計事務所	兵庫区水木通5-3-16	078-575-8281
山岸建築設計	兵庫区三川口町1-2-9	078-652-2552
(株)都市景観総合計画	兵庫区浜崎通10-1 阿部ビル5F	078-671-1723

【北地区】

(株)ii-Sumai	北区山田町小部字妙寶10-8	078-595-2731
兵庫六甲農業協同組合一級建築士事務所	北区有野中町2-12-13	078-981-6955
(株)クローバーハウス一級建築士事務所	北区東有野台1-5-5	078-981-2516
(株)ジョインウッド一級建築士事務所	篠山市栗栖野27-1	079-595-1517
本郷正人建築設計事務所	北区藤原台北町7丁目8-12-201	078-981-4090

【長田地区】

(有)北池技建	長田区大谷町2-13-17	078-612-4328
(株)迫水建築設計事務所	長田区細田町6-1-7-205	078-611-2001
前田建築設計事務所	長田区御蔵通6-10-3	078-575-5624
丸正建設(株)一級建築士事務所	長田区房王寺町7-2-7	078-621-8661
(株)アートテック一級建築士事務所	長田区庄田町2丁目5-11	078-643-6430

【垂水地区】

(有)有井建築設計事務所	垂水区千鳥が丘2-7-12	078-708-8322
(有)大田建設一級建築士事務所	垂水区御霊町7-16	078-709-8880
ジェネシス建築事務所	垂水区神陵台6丁目3-5-197	078-754-7735
(株)田口建築事務所	垂水区中道4-1-15	078-755-2081
(株)三宗都市建築研究所	垂水区西舞子9丁目13-6	078-784-2319
LARC建築事務所	垂水区塩屋町5-16-30	078-752-7849

【会場近くの神戸信用金庫の支店】

神戸信用金庫 石屋川支店	神戸市灘区記田町2-3-19	078-841-2681
神戸信用金庫 西灘支店	神戸市灘区水道筋4-2-1	078-802-2031

神戸信用金庫 本店営業部 神戸市中央区浪花町61 (T) 078-321-7711

〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号(兵庫県林業会館2F)

TEL (078) 351-6779 FAX (078) 371-7913

兵庫県本部 URL <http://www.hyogo-aaf.org/> 神戸支部 URL <http://www.kobe-aaf.org/>

● 建築士による住宅無料相談会 ●

平成27年度建築士事務所キャンペーンを終えて

日時：平成27年11月21日（土） 11：00～17：00

場所：須磨区飛松町 板宿本通商店街内

副支部長 藤澤利行

平成27年11月21日（土）、会場は、「板宿商店街」の一画である、板宿本通商店街で、板宿本通商店街振興組合のご協力を得て、建築士事務所キャンペーンを開催いたしました。



前日の夕方には、多くの会員・賛助会の方々にお手伝いをいただきました。お忙しい中、どうもありがとうございました。

当日は、朝から暑くも寒くもなく、天候に恵まれました。神戸市・神戸市住まいの安心支援センター・板宿商業連合会の後援を頂き、「阪神・淡路大震災から21年 安全・安心なすまいをもう一度見直しませんか？」をテーマに、マンションの大規模修繕工事、住まいの耐震補強・省エネルギー関連・バリアフリー・リフォーム・シックハウス・空き家対策等建築全般に関する相談会（無料）とパネル展示・会員作品展を行い、建築士の必要性を啓蒙し、今一度、建築士による「建築設計・工事監理」がいかに大切かを市民の皆様理解していただき、建築士を身近に感じてもらいたく開催いたしました。

会場は、商店街のアーケードの下の道路上で支部会員の建築作品パネル、欠陥住宅のパネル、各種パンフレット等々を展示、配布をし、昨年も好評でした写真フレームの製作を建築相談・アンケート記入等の子供たちの待ち時間を利用して、賛助会員の方々の協力を頂き開催し、たくさんの皆様に立ち寄って頂きました。





今年は、賛助会用の展示ブースを設ける事が出来ませんでした。次回の開催では充実した展示ブースを考えるべきと反省しました。

これからも設計事務所キャンペーンや、耐震キャンペーンなどを通じて、無料耐震診断制度、家具の固定、補強金物や耐震補強工事の説明、空き家対策の相談、省エネルギー住宅の必要性の理解などを行い、このような催し物の回数や場所を少しでも増やし、われわれ建築士事務所が身近な存在である事のアピールなど、地道な努



オキールファミリーのグッズや賛助会員の方々から協賛いただきましたグッズも全て配布できました。

今回も、オキールファミリーの博士以外の着ぐるみとも共演でき、子供たちや若い女性の方々は大喜びで、知名度が多少は上がったかなと思われ



力と建築に関する他の団体との協力が大切かなと感じました。

最後の、開催の準備・運営にご協力いただいた会員・賛助会員並びに関係各位に心より御礼申し上げます。



● 建築士による住宅無料相談会 ●

秋のキャンペーンに参加して

日時：平成27年11月21日（土） 11：00～17：00

場所：神戸市須磨区 板宿本通り商店街

（株）北村鉄工所 太田 慧 一

日頃は耐震丁番の訪問営業に与り心から感謝申し上げます。今年も（一社）兵庫県建築士事務所協会神戸支部の秋のキャンペーンに参加させていただき、ありがとうございました。そして、板宿本通商店街振興組合理事長、野田利幸様、皆様にはたいへんお世様になり御支援を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。扱て、11月20日（金）午後5時30分から振興組合の事務所に集まり藤澤先生のご指示のもとに先生方と一緒に準備をさせていただきました。翌日の21日（土）のキャンペーン当日は午前11時からレイアウトを開始し、そのままキャンペーンが始まりました。



秋分から始まった秋も早くも中秋から晩秋を迎えようとしていましたが、日中は本当に暖かい晴天に恵まれたキャンペーンでした。午前中は割合に多くの人出がありましたが、午後からは少しずつ減ってきました。キャンペーンでは作品のパネルには若い夫婦連れが熱心に見入っておられました。建築無料相談を真剣にされている方の隣りでは特に高齢のご婦人、子供さん達にはペーパークラフト、塗り絵よりも例年通りフォトフレーム作りが人気集中していました。私は杭の偽装をニュースで知られた店主さんから、この店は大丈夫でしょうかという質問を受け、一瞬、戸惑うことがありました。



午後には着包の“はかせ君”“いたやどかりちゃん”も登場し子供達は喜んで触っていました。出演者の後程の感想は着包の中はたいへんに饂えた臭いが充満していたそうです。ご苦労様でした。この様にキャンペーンは流れも良く午後4時20分頃に滞りなく終了しました。準備、レイアウト後片付けまで先生方と賛助会会員が一致協力してスムーズになされました。これからも引続きこの様に先生方と賛助会会員が協力し合って仕事をさせていただけたら幸せに思います。そして一般の方々が生起する建築に関する疑問点、問題点を気軽に“生”で専門家とこの様に相談できる機会が備えられることはたいへん意義深いことであると思います。

最後に後片付けの荷物をご自分のワゴン車一杯乗せて帰られたK先生がお一人で事務所の3階まで運ばれる御労に感謝申し上げます。思い付くままに書かせていただきました冗長な文章をお許し下さい。ありがとうございました。



● 建築士による住宅無料相談会 ●

建築士事務所キャンペーンに参加して

日時：平成27年11月21日（土） 11：00～17：00

場所：神戸市須磨区 板宿本通り商店街

文化シャッター(株) 関西支店営業開発部 谷 向 康 裕

平成27年11月21日（土）神戸の元気な商店街、板宿商店街で（一社）兵庫県建築士事務所協会神戸支部主催の建築士事務所キャンペーンが開催され、賛助会である私たちも参加させていただきました。3連休の初日でしたが、朝から夕方まで人通りが多く大変活気のある商店街でした。



建築士の先生方は一日中耐震診断やリフォームなど多くの方々の多種多様な相談を受けられていたようです。

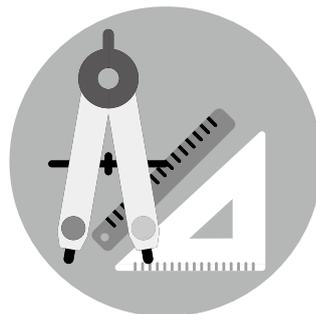
板宿商店街のゆるキャラ（オキール博士：ベテラン着ぐるみマン藤谷さん）や（いたやどかりちゃん：新人着ぐるみマン北村さん）も登場し子



供達や若い女性に人気で集客に貢献していただきました。

‘子供たちも一緒に遊ぼう’のコーナーではLIXIL様ご提供のフォトスタンドモザイクタイルデコレーション企画などに子供からお年寄りまでたくさんの人達が集まりチャレンジされていました。

文化シャッターではゲリラ豪雨対策として最近注目されている止水関連商品の止めピタやラクセットのカタログ配布やPR活動を行いました。今回当キャンペーンに初めて参加させていただきましたがアツと言う間に終わってしまったというのが印象です。次回からはもっとお役にたてるよう準備し活動したいと思っています。



新 入 会 員 紹 介

【正会員】

支部	氏 名	年 齢	事務所名	所在地／TEL／FAX	備 考
神戸	かまた 鎌田 あきら 晃	36	(有)興和ハウジング	〒657-0831 神戸市灘区水道筋1丁目19-3	管理建築士
				TEL : 078-855-7588 FAX : 078-855-7578	
E-mail : kouwa.a.k@mx5.alpha-web.ne.jp					
神戸	すえひろ 末廣 あきのり 彰伯	62	(有)末広設計	〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-5-1-810	開設者 兼 管理建築士
				TEL : 078-241-8832 FAX : 078-241-8932	
E-mail : sue810@abelia.ocn.ne.jp					
神戸	おの 小野 つよし 剛	50	大和リース(株)神戸支店 一級建築士事務所	〒651-0086 神戸市中央区磯上通4丁目1-6	管理建築士
				TEL : 078-291-0813 FAX : 078-291-0819	
E-mail : t.ono@daiwalease.jp					
神戸	つちだ 土田 たけし 剛司	50	あいき不動産鑑定(株)	〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-4-18 富士信ビル3F	開設者
				TEL : 078-392-0950 FAX : 078-392-0960	
E-mail : t-tsuchi@aikikantei.com					
神戸	おかだ 岡田 としみこ 俊彦	55	スペースプロ 一級建築士事務所	〒674-0065 明石市大久保町西島1158-1	開設者 兼 管理建築士
				TEL : 078-946-8880 FAX : 078-946-8889	
E-mail : okada-888@ninus.ocn.ne.jp					
神戸	まえだ 前田 じつお 實夫	62	(株)都市景観総合計画	〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通10-1 阿部ビル5F	開設者 兼 管理建築士
				TEL : 078-671-1723 FAX : 078-671-3103	
E-mail : ldajmaeda@ybb.ne.jp					

支部	氏名	年齢	事務所名	所在地／TEL／FAX	備考
神戸	まるたに とみのり 丸谷 富則	60	㈱アートテック 一級建築士事務所	〒653-0035 神戸市長田区庄田町2丁目5-11	開設者 兼 管理建築士
				TEL : 078-643-6430 FAX : 078-643-6441	
E-mail : arttec@fine.ocn.ne.jp					
神戸	ほうたに かつま 寶谷 勝馬	69	設計事務所 建築計画 寶谷	〒670-0902 姫路市白銀町100	開設者 兼 管理建築士
				TEL : 079-223-0194 FAX : 079-223-0194	
E-mail : k-houtani@zeus.eonet.ne.jp					

【賛助会員】

支部	名称	代表者名 (担当者名)	所在地／TEL／FAX	業種
神戸	じょうとう 城東テクノ(株) おおさかえいぎょうしょ 大阪営業所	西尾 康孝 (赤澤 伸一)	〒540-0031 大阪市中央区北浜東4-33 北浜NEXUBUILD19階	建築資材メーカー
			TEL : 06-4792-8092 FAX : 06-4792-8094	
E-mail : akazawa@joto.com				



受 祝 賞

兵庫県知事表彰



山本 康一郎



瀬戸本 淳

兵庫県自治賞



戎 真弓



前田 信行

●●● 「作品紹介」の募集と展示のご案内について ●●●

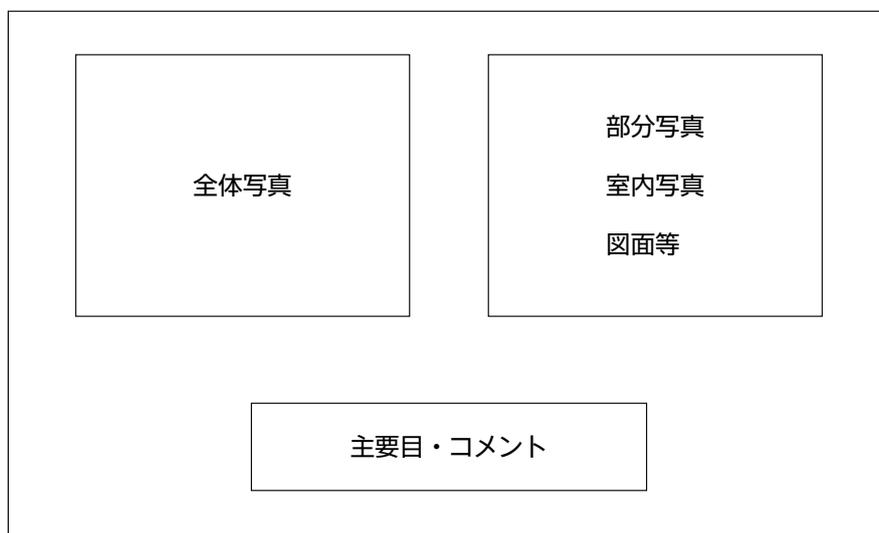
標記について、「作品紹介」を下記の展示・掲載のために、会員の皆様から募集しますので、応募要領により奮ってご応募下さい。

I 「作品紹介」募集について

1. 応募作品の内容

建築物を対象とし、下記の要領で纏めた作品とします。

写真と主要目・コメントを下図(例)のようにA3サイズにレイアウトして、下記の宛先までご送付下さい。



①写真配置は例示したもので複数枚でも可です。

②机上自立展示又は壁に吊り掛け展示になりますので、当方で用意するA3透明硬質ビニール製カードケースに入れて展示しますので、挿入出来るものとします。(カラーコピーで可)

主要目・コメント欄には下記事項を記載して下さい。

- ①物件名 ②設計監理 ③施工 ④建築場所(区町まで) ⑤工期 ⑥構造規模 ⑦建築面積 ⑧延べ面積
⑨内容・コンセプト

* 応募作品は返却しません。

2. 応募作品提出先

連絡先：〒657-0842 神戸市灘区船寺通4丁目5-21 成瀬設計事務所 宛(郵送又は宅配便)

TEL 078-862-0810・FAX 020-4642-2135/Email:naruse2@gmail.com

出来るだけ展示・紹介したいので、その他にご推薦出来る展示場所がありましたらご連絡下さい。

作 品 紹 介



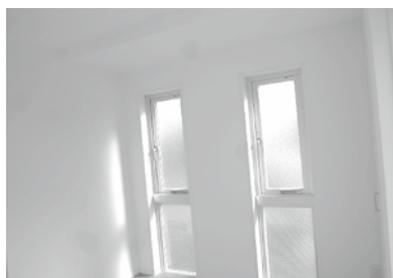
設計監理／株式会社瀬戸本淳建築研究室
物件名／ワコーレトアロード ザ・スイート
施 工／株式会社 大木工務店
建築場所／神戸市中央区下山手通
工 期／平成26年4月～平成27年11月
構造規模／RC造 地下1階、地上14階建
建築面積／324.32㎡
延床面積／3,661.55㎡



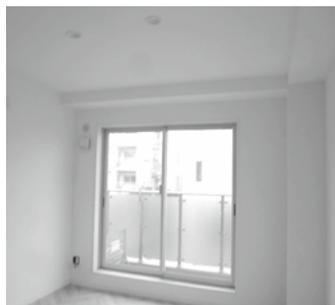
神戸開港以来、トアロードは居留地と北野町を結ぶ神戸のシンボル道路として親しまれてきました。トアロードの個性とにぎわいを大切に、いつまでもこの街が活性化し、発展するように心がけました。生活のための環境がとても整っているこの場所の特質から、住宅・仕事・文化・余暇・社会的つながりを結ぶ多技能プロジェクトでもありました。そのためにもできるだけ街に開かれた存在になるように、また街と対話できるような雰囲気デザインのデザインに気を配りました。内部空間も様々な生活シーンをサポートできるフレキシブルなプランニングにつとめ、住まう人々の社会的な生活が長期にわたって可能になればいいと考えました。末永く生活を楽しんでいただければと願っています。



作品介绍



設計監理／**阪本建築事務所**
物件名／**(仮) 垂水海岸通ビル**
施工／**神陽建設株式会社**
建築場所／**神戸市垂水区海岸通**
構造規模／**鉄骨ALC造4階建て**
1K住宅9戸
建築面積／**88.57㎡**
延床面積／**278.75㎡ (共用部を含まず)**



H27年度 神戸市すまいの耐震化促進事業のご案内

すまいの耐震化をすすめましょう!



平成27年4月1日現在

- 耐震診断への支援制度 …………… P. 1
- 耐震改修への支援制度 …………… P. 2～3
(すまいの耐震改修事業)
- その他の支援制度 …………… P. 4
(戸建住宅建替工事費補助、防災ベッド等設置補助 他)

耐震診断 (すまいの耐震診断員派遣事業：メニュー選択)

メニュー	無料耐震診断 (無料)	耐震おまかせパック (有料)
概要	神戸市から無料で耐震診断員 (建築士) を派遣し、住宅の耐震性を診断します。後日、耐震診断員が診断報告書をご自宅へ持参し、結果説明と改修へのアドバイスをします。	耐震診断から耐震改修の設計、見積りまで一貫して行う制度です。無料耐震診断 (左記参照) を行い、その結果、耐震性が不足していた場合、耐震性向上の為に耐震改修設計及び工事費見積りをします。
対象住宅	昭和56 (1981) 年5月31日以前に着工された住宅 (戸建住宅、共同住宅、長屋) (注1)	昭和56 (1981) 年5月31日以前に着工された木造戸建住宅 (床面積 200 m ² 以下) (注1) (注2)
負担額	無 料	2万円 (耐震診断員への支払額) (契約額は床面積に応じて 20.6万円 (100 m ² 以下)、25.7万円 (100 m ² 超 150 m ² 以下)、または 30.9万円 (150 m ² 超 200 m ² 以下) となりますが、契約額から2万円を差し引いた残額は市から耐震診断員へ支払います。)

(注1) 賃貸住宅及び店舗併用住宅 (住宅用途の部分が延べ面積の半分を超えているもの) を含む。

プレハブ・ツーバイフォー・丸太組み工法の住宅は対象外です。

(注2) パック申込には兵庫県住宅再建共済制度への加入が必要です。

共同住宅耐震精密診断補助

マンションの耐震改修を行うために必要な精密診断費の一部を補助します。

■対象者：分譲マンションの管理組合または賃貸マンションの所有者

■対象住宅：下記のすべてを満たす市内に所在する共同住宅

- ・昭和56年5月31日以前に着工されたもの
- ・主要部の構造が鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造のもの (賃貸住宅、店舗併用住宅 (住宅用途の部分が延べ面積の半分を超えているもの) を含む)

■対象費用：建築士による耐震精密診断、第三者機関による評価の取得に要する費用

■補助金額：対象費用の2/3または4万円×戸数のうち低い額

※無料耐震診断を受診していない場合は、対象費用の2/3以内で最大25万円を加算できる

※店舗併用住宅については、住宅用途の部分に対する費用を対象とする

※階数が3以上かつ延べ面積が1,000 m²以上のものは第三者機関による評価書の取得が必要

お問合せ・お申込は… **神戸市すまいとまちの安心支援センター (すまいるネット)** まで

10:00 ~ 17:00 (水曜・日曜・祝日を除く)

〒651-0096 神戸市中央区雲井通 5-3-1
サンパル4階 (JR三ノ宮駅東徒歩5分)

TEL : 078-222-0186

FAX : 078-222-0106



すまいの耐震改修事業

耐震改修補助〔一般型〕

耐震診断を受け、大地震に耐える本格的な耐震改修（改修後の評点 1.0 以上等）をされる方に、改修設計費及び改修工事費の一部を補助します。

		設計費（計画策定費）補助	工事費補助
対象者		神戸市内に対象住宅を所有し、原則として、兵庫県住宅再建共済制度に加入している方または加入する方（個人・法人）	神戸市内に対象住宅を所有する個人のうち、原則として、兵庫県「ひょうご住まいの耐震化促進事業」の対象となる、以下のすべてを満たす方（個人） ※法人は対象外です。 <ul style="list-style-type: none"> 兵庫県民（兵庫県民以外の方の場合は、（注4）をご確認下さい） 所得が 1,200 万円（給与収入のみの場合 14,421,053 円）以下の方 兵庫県住宅再建共済制度に加入している方または加入する方
対象住宅		下記全てを満たす住宅 <ul style="list-style-type: none"> 昭和56年5月31日以前に着工されたもの 改修前の耐震診断の結果、木造住宅は上部構造評点が 1.0 未満、鉄筋コンクリート造等は構造耐震指標が 0.8 未満（1 次診断）又は 0.6 未満（2 次診断）のもの ※1 賃貸住宅、共同住宅及び店舗併用住宅（住宅用途の部分が延べ面積の半分以上を占めているもの）を含む。 ※2 違反建築物に対する措置が命じられていないものが対象です。 ※3 プレハブ工法の住宅は対象外です。 ※4 区分所有の建物は、管理組合の議決等が必要です。	
対象費用		安全性を確保するための耐震改修設計（計画策定）と、それに伴う耐震診断に要する費用（工事費用の見積りも含む）（注1）、第三者機関による評価の取得に要する費用（注2）	A. 安全性を確保するための耐震改修工事に要する費用 <ul style="list-style-type: none"> 木造住宅は改修後の上部構造評点が 1.0 以上 鉄筋コンクリート造等は改修後の構造耐震指標が 0.8 以上（1 次診断）又は 0.6 以上（2 次診断） B. 安全性を確保するための耐震改修工事を 2 回に分けて実施する場合の工事に要する費用（木造を除く共同住宅） <ul style="list-style-type: none"> 1 回目で改修後の構造耐震指標が 0.3 以上（2 次診断） 2 回目で改修後の構造耐震指標が 0.6 以上（2 次診断）
補助金額	戸建住宅	対象費用の 9/10 または 27 万円のうち低い額 （注3）	次の①②の合計額（注4） ①補助対象工事費の 1/4 または 30 万円のうち低い額 ②補助対象工事費の 1/3 または 100 万円のうち低い額
	共同住宅	対象費用の 2/3 または 12 万円×戸数 のうち低い額	A. 次の①②の合計額（注4） ①補助対象工事費の 1/4 または 10 万円×戸数のうち低い額 ②補助対象工事費の 1/2 または 40 万円×戸数のうち低い額 B-1. 1 回目に行う工事 補助対象工事費の 1/4 または 10 万円×戸数のうち低い額 B-2. 2 回目に行う工事 A①②の合計額から、1 回目に受けた補助金額を引いた額

（注1）耐震改修以外のリフォームの設計費、工事監理費は対象費用に含めません。

（注2）共同住宅（木造以外）で階数 3 以上かつ延べ面積 1,000 m² 以上のものは、改修前の耐震診断結果及び改修設計に対して、第三者機関による評価書の取得が必要です。

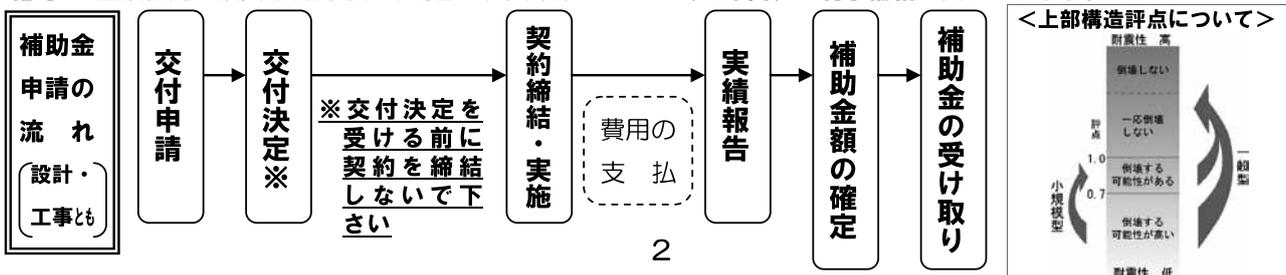
（注3）木造以外の住宅は、対象費用の 2/3 または 20 万円のうち低い額になります。

（注4）兵庫県民以外の方は、①のみの額となります。

備考1 過去に神戸市すまいの耐震改修事業で耐震改修工事補助を受けた住宅については、過去に受けた補助金額を控除した額が補助金額となります。

備考2 一定の耐震改修を行った場合には、所得税額の特別控除と固定資産税額の減額措置があります。

備考3 金融機関の融資を利用される場合は、兵庫県から 1%（5 年間）の利子補給が受けられます。



耐震改修補助〔小規模型〕

耐震診断を受け、瞬時に倒壊に至らない程度の耐震改修（改修後の上部構造評点0.7以上1.0未満など）をする方に、改修設計費及び改修工事費の一部を補助します。

	設計費（計画策定費）補助	工事費補助	設計工事パック							
対象者	神戸市内に対象となる住宅を所有する方（個人・法人）	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市内に対象となる住宅を所有する方（個人） 所得 1,200 万円以下の県民（兵庫県民以外の方の場合は、（注）をご確認下さい） 兵庫県住宅再建共済制度に加入している方または加入する方 								
対象住宅	下記のすべてを満たす 戸建住宅 <ul style="list-style-type: none"> 昭和56年5月31日以前に着工されたもの 違反建築物に対する措置が命じられていないもの 改修前の耐震診断の結果、以下のいずれかのもの <ul style="list-style-type: none"> ※賃貸住宅、店舗併用住宅（住宅用途の部分が延べ面積の半分を超えているもの）を含む 									
	A 木造住宅：全体の上部構造評点が0.7未満であるもの その他の構造：構造耐震指標が0.3未満（2次診断）のもの B 1階の評点が1.0未満であるもの（木造のみ）		左欄Aと同じ							
対象費用	耐震性を向上するための耐震改修（※）設計（耐震改修計画策定）と、それに伴う耐震診断に要する費用（工事費用見積含む）	耐震性を向上するための耐震改修（※）工事に要する費用	耐震診断、耐震性を向上するための耐震改修（※）設計（耐震改修計画策定）および工事に要する費用（総額 50 万円以上に限る）							
	※「耐震性を向上するための耐震改修」とは 対象住宅A：改修後の全体の上部構造評点が0.7以上 改修後の構造耐震指標が0.3以上（2次診断） 対象住宅B：改修後の1階の評点が1.0以上（木造のみ）		※「耐震性を向上するための耐震改修」とは 左欄の対象住宅Aと同じ							
補助金額	対象費用の9/10 または 27万円のうち低い額	対象住宅A・Bにより異なる	対象費用の9/10 または 107万円のうち低い額							
		<table border="1"> <tr> <td>対象費用 < 50 万</td> <td>対象費用の1/4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">対象費用 ≥ 50 万</td> <td>次の①②の合計額</td> </tr> <tr> <td>①「対象費用-50万」の1/4 または30万円のうち低い額 ②50万円</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>対象費用の1/4 または 30万円のうち低い額</td> </tr> </table>		対象費用 < 50 万	対象費用の1/4	対象費用 ≥ 50 万	次の①②の合計額	①「対象費用-50万」の1/4 または30万円のうち低い額 ②50万円	B	対象費用の1/4 または 30万円のうち低い額
		対象費用 < 50 万		対象費用の1/4						
対象費用 ≥ 50 万	次の①②の合計額									
	①「対象費用-50万」の1/4 または30万円のうち低い額 ②50万円									
B	対象費用の1/4 または 30万円のうち低い額									

（注）兵庫県民以外の方は、小規模型（工事費補助）の補助金額は対象住宅Bの場合と同様（※設計工事パックは対象外）

シェルター型工事補助、屋根軽量化工事補助

	シェルター型工事補助	屋根軽量化工事補助
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市内に対象となる住宅を所有する方（個人） 所得 1,200 万円以下の県民 兵庫県住宅再建共済制度に加入している方または加入する方 	
対象住宅	下記のすべてを満たす 戸建住宅 <ul style="list-style-type: none"> 昭和56年5月31日以前に着工されたもの 改修前の耐震診断の結果、木造住宅は上部構造評点が1.0未満、鉄筋コンクリート造等は構造耐震指標が0.8未満（1次診断）又は0.6未満（2次診断）のもの 	下記のすべてを満たす 木造戸建住宅 <ul style="list-style-type: none"> 昭和56年5月31日以前に着工されたもの 改修前の耐震診断の結果、上部構造評点が0.7以上1.0未満であるもの
	※1 賃貸住宅、共同住宅及び店舗併用住宅（住宅用途の部分が延べ面積の半分を超えているもの）を含む。 ※2 違反建築物に対する措置が命じられていないものが対象です。	
対象費用	住宅が倒壊しても、居室内の安全性が確保できる工法として、兵庫県の「ひょうご住まいの耐震化促進事業」で認める工法（注）による工事に要する費用	非常に重い屋根を、重い屋根又は軽い屋根に軽量化する工事に要する費用
補助金額	定額50万円（総額が50万円以上のものに限る）	

（注）室内に置く簡易なシェルターは、シェルター型工事費補助ではなく、防災ベッド等設置補助の対象となります。

（注）補助対象となるシェルターについては、市のホームページ又は窓口にてご確認ください。

※小規模型、シェルター型工事及び屋根軽量化工事（上部構造評点1.0未満のもの）には、税優遇措置は適用されません。

戸建住宅建替工事費補助

耐震診断で「倒壊する可能性がある、又は高い」と判定された戸建住宅について、安全な住宅に建替える場合に**定額100万円**を補助します。

対象者	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市内に対象となる住宅を所有する方又はその2親等以内の親族 新たに建築する住宅の所有者（個人） 所得1,200万円以下の県民
対象住宅	除却する住宅 <ul style="list-style-type: none"> 昭和56年5月31日以前に着工されたもの 耐震診断の結果、木造住宅は上部構造評点が1.0未満、鉄筋コンクリート造等は構造耐震指標が0.8未満（1次診断）又は0.6未満（2次診断）のもの ※1 賃貸住宅、店舗併用住宅（住宅用途の部分が延べ面積の半分を超えているもの）を含む。 ※2 違反建築物に対する措置が命じられていないものが対象です。 所有者又はその2親等以内の親族が自己の居住の用に供するもの
	新たに建築しようとする住宅 <ul style="list-style-type: none"> 申請者が自己の居住に供するもの 兵庫県住宅再建共済制度に加入するもの
対象費用	現地建替え工事 に要する経費 （除却する住宅の除却費及び新たに建築する住宅の建築工事費）
補助金額	定額100万円 （総額100万円以上のものに限る）

備考1 過去に神戸市すまいの耐震改修事業で耐震改修工事補助を受けた住宅については、過去に受けた補助金額を控除した額が補助金額となります。

防災ベッド等設置補助（戸建住宅対象）

耐震診断で「倒壊する可能性がある、又は高い」と判定された戸建住宅について、防災ベッドやシェルター（室内に置く簡易なもの）等を設置する場合に**定額10万円**を補助します。

対象者	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市内の対象となる住宅に居住するもの（個人） 所得1,200万円以下の県民
対象住宅	<ul style="list-style-type: none"> 昭和56年5月31日以前に着工されたもの 耐震診断の結果、木造住宅は上部構造評点が1.0未満、鉄筋コンクリート造等は構造耐震指標が0.8未満（1次診断）又は0.6未満（2次診断）のもの ※1 賃貸住宅、店舗併用住宅（住宅用途の部分が延べ面積の半分を超えているもの）を含む。 ※2 違反建築物に対する措置が命じられていないものが対象です。 兵庫県住宅再建共済制度又は兵庫県家財再建共済制度に加入しているもの又は加入するもの
対象費用	住宅が倒壊しても、安全な空間を確保する防災ベッドその他の装置として、兵庫県の「ひょうご住まいの耐震化促進事業」で認めるもの（注）の設置に要する経費
補助金額	定額10万円 （総額10万円以上のものに限る）

（注）補助対象となる防災ベッド・シェルターについては、市のホームページ又は窓口にてご確認ください。

家具固定補助・派遣

家具等の転倒を未然に防止するための金具による家具固定（取付）費用の一部を補助します。

また、防災活動の一環として家具固定を実施する地域団体を対象に専門員を派遣します。

解体撤去補助

地震時に倒壊し避難路をふさがないように、住宅が密集している地区における木造住宅の解体撤去工事費の一部を補助します。

家具固定及び解体撤去に対する支援制度については、別途ご案内のチラシがございます。詳細については、そちらをご覧ください。

島根県 出雲大社参拝旅行

関西塗研工業(株) 藤田 秀人

11月、旧暦10月の神無月は島根県だけ『神在月』になり日本中の神様が出雲大社に集まり会議をされるといわれています。全国の神様が出雲に集まるこの時期は自然と参拝客も増えます。

もちろん私もその一人です。今回は神在月の出雲大社旅行をご紹介しますと思います。

兵庫県から島根県出雲大社まで、車でおよそ4時間。距離にして約320kmの旅。

車での旅は途中の大きなSAでの休憩も一つの楽しみです。

今回は中国自動車道を利用して、出雲に向かいました。ちょうど中間地点となる勝央SAにてちょっと休憩。ここ数日雨が降ったりで急に寒くなっていましたが、驚いたことに勝央SAには雪が積もった跡が…!!前日まで雪が降っていたようです。

SAから見える高鉢山も雪化粧ですが、すっかり雲に隠れてしていました。



道路脇に雪が残る中国自動車道を走り、島根県突入です。

島根の中心地松江から車で約40分。やっと出雲大社に到着しました。

ちょうどお腹がいい具合に。名物の出雲そばを頂きました。

こちらのお蕎麦屋さんが出雲大社参道で唯一十割そばを出しているお店で、季節柄新そばを頂きました。十割なのに意外にももちもちしておいしい!

つついお土産に生そば購入です。

さて、小雨が降ってきましたが出雲大社参拝です。

実際に神様が出雲大社に集まる期間は11月下旬の1週間ほどですが、参拝した日はちょうど神様たちが会議を終え、大社から帰られる日でした。

厳かな雰囲気の中、神等去出祭の神事が執り行われ「お立ち～！」という声で神々は出雲大社を立たれます。

気が付くと神事の間雨がやみ、雲の間から光が……う～ん、さすが出雲！神秘的な気持ちになりました。



さて、翌日は松江を観光です。

松江城近隣にある、小泉八雲邸を見学。小ぢんまりとした武家屋敷に、八雲が愛した日本庭園。

八雲は、床間を背に座ると三方の庭が見れるこの家を大層気に入っていたのだとか。

小説家の小泉八雲は、みなさんご存知の『耳なし芳一』・『雪女』等を執筆しました。イギリス籍から帰化した八雲ですが、もしかしたら日本人よりも日本の心を持っていたのかもしれないね。

最後は松江歴史館で出来たてのおいしい和菓子とお抹茶を頂き、島根をあとにしました。



島根の神在月出雲大社参拝の旅、一度の参拝で全国の神様にお参りできるなんとなくお得な気がした旅でした。

出雲大社の縁結びは恋愛が有名ですが、基本は『人と人』の出会いの良縁を結ぶ神様です。

日々の出会いに感謝、またこれからの出会いにちょっとした良縁の願いをしに、皆様も足を運んではいかがでしょうか。

バルセロナの建築をたずねて「モンタネールの遺産」

(株)ナックス建築設計事務所 中村利明

スペイン北東部カタルーニャ州バルセロナを旅行する機会を得て、建築を観て回ることが出来たのは有益でした。

バルセロナは市内に多くの世界遺産が点在します。特に有名なのはサグラダ・ファミリアをはじめとするアントニ・ガウディの作品群ではないでしょうか。

ガウディの建築とともに、19世紀末に興ったモデルニスモ運動の中心的存在だったリュイス・ドメネク・イ・モンタネールについて、私が訪れた建築をご紹介します。

「モデルニスモ」とは、フランス語で言う「アール・ヌーヴォー」、つまり、1900年前後に流行した、新しい芸術・文化運動のことを指します。

この時代は、カタルーニャ地方はイベリア半島で産業革命を唯一達成した地域となり、一気に発展しました。そして、経済的地位の上昇に伴って、「カタルーニャ」の復権運動が起こり、自治を求める機運が高まったのです。

「モデルニスモ」は、純粋に芸術的・文化的なムーブメントという側面もある一方、「マドリードの中央政府に対して、カタルーニャ独自のアイデンティティを確立しよう」とする思想的運動という面もありました。現在、カタルーニャ州の独立問題を新聞等でよく目にしますが、もしかしたらカタルーニャの人たちは、20世紀初頭の繁栄を今に再現したいと考えているのかと個人的に思っています。

モンタネールは1850年に製本業者の裕福な家庭に生まれ何不自由なく育ち、マドリードの建築学校を卒業後、建築家の資格を得て、1875年弱冠25歳のときバルセロナ建築学校に教授として招かれたのです。

対照的にガウディは、カタルーニャ地方レウスの銅細工職人の息子として生まれ、経済的に恵まれない幼少時代を過ごし、学生時代にはアルバイトをしながら家族を養っていたといえます。バルセロナ建築学校に入学するも、病気や成績の悪さから3年ほど長い5年をかけて卒業し、建築家の資格を取得しました。

そして、モンタネールは1900年にバルセロナ建築学校の校長として、翌年には国会議員になるなど、文化と政治の両面において活躍した人でした。当時はモンタネールのほうが建築家として名声が高く、むしろガウディは日陰の存在でした。しかし、現在はガウディの陰にすっかり隠れてしまい、日本ではその存在もよく知られていません。

モンタネールはガウディのわずか2歳年上で、2人はバルセロナ建築学校の教授と生徒として出会いました。当時から天才的な教え子ガウディの才能を見抜いて意識していたといわれています。私もガウディの作品を観るために訪れたのですが、モンタネールの作品に出会ってその素晴らしさに魅了されました。

バルセロナには、その他プッチ・イ・カタファルク、ジュゼップ・マリア・ジュジョール等の建築家が活躍した足跡を見ることができますが、今回は、モンタネールの作品のうちカタルーニャ音楽堂とサン・パウ病院をご紹介します。

【カタルーニャ音楽堂】

カタルーニャ音楽堂は、1905年から1908年にかけて、カタルーニャ・ルネサンス（文芸復興運動）において指導的役割を果たした合唱団、ウルフェオー・カタラーのために建設されました。建設にあたってはバルセロナの篤志家たちの財政

支援も受け、この音楽堂の建設によりモンタネールは1909年にバルセロナ市より賞を受けました。



1997年、サン・パウ病院とともに、ユネスコの世界遺産に登録されました。

カタルーニャ広場から西に向かって徒歩10分程度、旧市街・ゴシック地区にあります。建物正面の有名作曲家の胸像や、彫刻家ミケル・ブライによるカタルーニャの守護聖人サン・ジョルディ像も素晴らしいですが、何より見事なのは音楽ホール内部です。

水の滴り落ちる様を模した天井のステンドグラスは繊細優美で、小さな花々を散りばめ、美しい装飾を施されたホールの美しさは圧巻です。



滴り落ちそうなステンドグラスやシャンデリアの傾きは、物質に“動き”を与え、見る者に躍動感、生命力を感じさせるための演出なのだそうです。

大晦日のニューイヤーコンサートのチケットが入手できたので、モデルニスモの究極美と心地良い音楽に魅了され素晴らしい時を過ごせました。

内部の見学ツアーでは、撮影は一切禁止されているのですが、コンサートに参加すれば自由に撮影できました。



音楽ホールは、全ての座席に人が座った状態で、音響が完璧になるよう緻密に設計されており、人が座っていない座席でも同様の効果となるよう椅子が作り直されています。1つ1つの椅子には寄付者の名前が刻まれています。また、以前に隣にあった教会など隣接した土地利用の状況まで含めて音響効果、ステンドグラスを通した自然採光を考慮して緻密に設計されています。

【サン・パウ病院】

モデルニスモのこの豪華な病院は、1400年頃からバルセロナの市内にあった6つの病院を統合するために現在の位置サンタ・クレウ病院が建てられました。19世紀末に街の発展に伴い拡大の必要性から、モンタネールが設計を担当し、1902年から1930年にかけて増改築され、15万平方メートルの敷地内には48の建築物が立ち並びサン・パウ病院の建物群が出来上がりました。

建物は、広大な敷地に点在しており、中には教



会の建物もあります。

2009年まで診療が行なわれていたのですが、病院の裏手で大規模な建設工事が行われており、そちらに病院の機能が移転し、現在のサン・パウ病院はツーリストとアートの施設になる予定です。

サグラダ・ファミリアから徒歩10分位の場所にあり、病院正面から通りアベニーダ・ガウディを通してサグラダ・ファミリアが見える場所にあります。



モンタネールの「芸術には人を癒す力がある。」という考えのもと建てられた、モデルニスモ建築では最大級の規模です。

建築様式はムデハル様式というイスラムとキリスト教建築様式が融合したスタイルで、豪華な、細やかな装飾が建物のところどころに施されています。花のモチーフ、ピンク系の淡い優しい色彩、モザイクやステンドグラスなども取り入れられ、その美しい空間を造っております。



機能性においても当時としては画期的なアイデアが多く取り入られています。患者の入院環境の向上のため、それぞれの病棟が日の当たるような配列にしたり、風通しがよいように海風の方角を考慮した建物の向きを採用し、すべての病棟が地下のトンネルでつながる等の工夫がされています。



今回は、バルセロナの街をめぐる機会を得ました。どこの国に旅行しても思うことは、世界のそれぞれの文化圏を形成する重要なものは建築であるということです。しかし、それぞれの文化の理解無しには建築は理解しえません。日本文化の基礎となる建築も同じです。

私たちの住む街の良さ、これからのあり方を考える上で、評価の比較指標としてその国の建築を知ることが有用であると考えます。特にこれから、建築を志す若い方々には、早い時期に海外に出ていただき、その国の文化を通して建築を観ていただきたいと思いました。

福井県立恐竜博物館を訪ねて

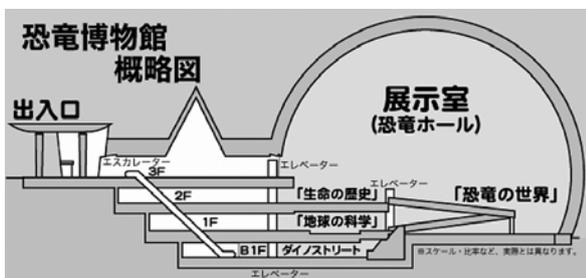
(株)吉田設計事務所 吉田多雄

2015年夏に、福井県立恐竜博物館を訪れました。訪ねたきっかけは帰省の途中にある福井県辺りで観光人気スポットを探したところ、一位にランキングされていたためです。福井県の東部の勝山市に位置し、冬場はスキー客で賑わうエリアです。



福井県立恐竜博物館 位置

軽いノリで行ったわけで子供のためのスポット程度にしか思っていなかったのですがエントランスに入ると、スケールの大きさ、近代的なデザインに期待は良い意味で大きく裏切られました。それもそのはず、調べてみると黒川紀章氏によって設計されたものだったのです。



【建物概要】

延面積15,000㎡ RC造地上3階建・地下1階
高さ 37.5m、長径 84m、短径 55mの鉄骨造展示室 (恐竜ホール)

エントランスには楕円の大きな吹き抜けがあり、その中心を横切るようにエスカレータで最下

階にまず誘導されます。

このあたりはさすが、黒川先生らしいダイナミックなデザインだなと感じました。

その先には巨大な展示室 (恐竜ホール) が広



エントランスホール



恐竜ホール



巨大ジオラマ



等身大骨格(複製)



発掘現場模型

がっています。動く恐竜のジオラマや、実物大の複製された骨格などがありました。その中でも特に目を引いたのは、本物の恐竜の卵の化石でした。

これが道端に転がっていたらただの丸い石にしが見えないと感じましたが、発掘者はよく化石だと分かったなと感心しました。



卵の化石(実物)

この小さな卵から何十メートルもある巨大な生き物に実際に成長していたこと、人間の歴史よりはるかに長い時の流れを巡ってきたことに思いを馳せると、胸に感動を覚えました。

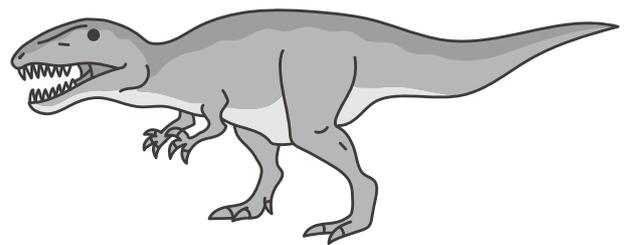
このことを考えると、身の回りに普通に転がっているものにも貴重な発見が隠れている事があるのではないか、それに気づかず、見逃してしまっていることも多いのではないかと思います。大切なものを見過ごしてしまうことのないように、先入観を持たず、いつも好奇心をもって過ごしてゆきたいと思いました。

建物の周辺は一帯が公園となっており、広々としており緑も多く、歩くだけでも楽しめました。申し込めば、化石の発掘体験もできるようです。恐竜のモニュメントもあちこちにあり、ベンチに座った恐竜もいて周囲全体がテーマパークのようになっておりました。

ほとんどの方が車で来場されており、関東方面からも多数こられているようでした。実は世界三大恐竜博物館のひとつと称されているようで、自分の中では意外な知名度の高さでした。

良い建物を見学でき歴史の学習にもなり、良い時間をすごせました。

近くにお越しの際は是非足を伸ばしていただくことをお勧めします。



ビフォーアフターの裏ばなし。

YURI DESIGN 前田由利

【経緯】

昨年11月頃、ビフォーアフターの制作会社のプロデューサーから出演依頼の電話があり、事務所に来られました。

依頼者が姫路の双子の姉妹なので、兵庫県で女性の建築士を探すことになり、以前から私のホームページをご覧になっていたとのこと。小さな家の割に、工事予算2千万円ということで、きちんとしたものを設計させていただきそうに思ってお受けしました。ちなみに設計料は出ませんが、交通費と、テレビ制作協力費がいただけるとのこと。

【現場検証】

11月の終わり、初めて現場を見に行った時に、もうカメラが回っていました。現場検証という場面です。しばらくして登場シーンに取り直しがあるので、髪型を変えないでくださいと言われていましたが、結局取り直しは終盤の8月となり、暑い日に冬の格好で歩くハメになりました。



【焼け跡の廃屋】

現場の横に、火事になって放置されている建物がありました。見た目が恐ろしいので、足場を建てて白い養生シートで覆い見えなくしてから撮影しました。

【工事費】

ご予算に余裕があるかと少しスペックをあげて張り切って設計していたら、3千2百万円の見積が出てしまいました。接道がないので、車のルー

トを確保するため、近くの公園を通り抜けて空き地に鉄板を敷いたりする仮設工事や、基礎工事を行うためのジャッキアップなど、通常必要のない費用がかかったのも事実です。結局、お風呂もキッチンも既製品にし、外部建具も木製からアルミサッシになり、障子もなくなり、バッサバッサ減額しても追いつかず、最後は、いろいろなメーカーに連絡して協力をお願いしました。宣伝になるところか映像に映るかどうかもわかりませんが、「ビフォーアフターって大変なんでしょ？」といくつかの会社が提供してくれたり、値引きしてくれたりして、仏壇を別にすればご予算に収まるようになり、工事請負契約に至りました。かなり大変な作業でしたが、ご協力いただいた業者さんに本当に感謝です。

【猛烈に働くディレクターとAD】

ディレクターは、解体が始まる頃から、朝から晩までカメラを回し続け、何ヶ月も家に帰らないで仕事をするという過酷な仕事。最初のAD（アシスタントディレクター）は、体調を崩してごなくなり、次のADは新卒で、初めての一人暮らし。最後までがんばってくれましたが、結局この1本でビフォーアフターはやめてしまいました。

ディレクターの仕事の範囲が広く、施主の代わりに私と設計の打ち合わせをし、そのあとのストーリーづくりや施主、工務店、設計、近隣対応、制作会社とのやりとり、カメラマンの手配、編集など全て引き受けてなおかつ自分でもカメラを回していました。アシスタントがいるとはいえ、体力・気力の要る仕事です。数年間ずっとリフォーム現場を一部始終見ているわけですから、建築現場にとってもお詳しく、話が早かったです。

【仏壇】

施主は、当初仏壇を小さくするとおっしゃられていましたが、仏壇屋さん「これはいいお仏壇です」と言われて処分しづらくなり、そのまま修理「お洗濯」して使うことになりました。木工、彫金、漆、箔貼りなど8工程別々の職人が丁寧に仕上げられて、結果的に良かったと思いました。



【茅葺き】

経年により茅葺きの縄が切れて垂れ下がっており、補修が必要だったので、職人の相良さんに1日だけ手伝っていただくことにしました。ヘリテージマネージャー仲間などに声をかけると、無報酬なのに5人が助っ人に来てくれて、あっという間に作業が終わりました。それにしても茅を触ると汚れます。マスクもほとんど意味なく、全てが真っ黒になりました。



茅をインテリアとして見せようとしたとき、この煤や埃による汚れをどうするかが最大の課題でした。テントのようなものを作りたいというと、ディレクターが、以前使ったことがあると目の細かいメッシュのサンプルを取り寄せてくれました。埃を防ぎながら通気性があります。多少可視性が低いので、茅をライトアップすれば、透けて見えてきれいに見えるはず。照度をいろいろと調整して、思い通りの空間になりました。



【着物】

姉妹が14歳のときに亡くなられたお母様の着物を託されました。

結構傷んでいたもので、綺麗な部分だけ建具や家具に貼ろうと、全部を広げて確認し、使い方を細かく設計しました。事務所はしばらく着物の山で、古着屋さんのような状態でした。



【草屋根】

私の得意が草屋根なので茅葺き部分に草を生やせないかとかと言われましたが、メンテナンスのできない無理やりの屋根緑化はお勧めできないし、そもそも施主は草屋根にご興味があるのか確認させてほしいと申し出て、うちの草屋根を見て



いただくことにしました。最初はびっくりされているだけでしたが、だんだんやってもいいかなという気になられたようです。

軒先の花すだれは、当初のスケッチ通りで、目隠しスクリーンの意味もあります。

飯田の施主が毎年夏から秋にかけて軒先にいい感じに花すだれを作られているのを思い出し、苗を仕入れて送っていただき、それを植えました。もうひとつ、お花は撮影期間が2～3週間先になるので、暑さにつよい、長持ちする千日紅を選びました。

【庭】

このあたりには、もともと6棟同じような家があったようですが、道がないので新築できず、いつのまにか1棟だけになってしまったそうです。土地は自治会のものですが、他に使いようがないため、木を植えても大丈夫との許可をもらって庭にしました。

昔からのお付き合いのある植木屋さんがとても協力してくださり、たくさん木を植えてくれ見違えるほどになりました。

【完成撮影】

建物が完成すると、インテリアコーディネーターが来て引き出しの中まで、ぎっしりものを詰め込み、1週間ほどかけて撮影をします。



自動的にドアが開いたり、ビフォーの映像から、アフターに切り替わったり。

カメラマンも3人に。ADも増えて今までで一番賑やかな撮影です。

【スタジオ収録】

全部撮り終わってたった3日後に、世田谷のスタジオで、収録がありました。

関係者はスタジオで見学できますが、私はVTRチェックがあるので別室でした。

最後に所ジョージさんから花束をいただきました。



【放映日の度々の延期と反響】

収録日に放送予定が9月13日に決定したと知らされましたが、関東地方で台風による水災があったので、床下浸水の映像があるこの家の放送は、急きょ延期になりました。結局1ヶ月くらいあとの10月11日に放送されました。

反響はかなりありましたが、仕事につながるかどうか未定です。

放送から1ヶ月程たち、ようやく落ち着いてきました。

工事関係者や撮影スタッフの人たちがみんな一生懸命だったので、とても楽しい現場で、いい思い出となりました。



第3回 神戸市都市デザイン賞募集!!

神戸市住宅都市局 計画部まちのデザイン課 課長 西 修

神戸市では「デザイン都市・神戸」を推進する一環として、神戸らしい魅力ある景観やまちなみをまもり、つくり、そだてる取り組みを進めています。

その取り組みの一つとして、2～3年に一度、「神戸市都市デザイン賞」を開催し、神戸らしい魅力ある空間・環境を形成している建築物などを表彰し、市内外に広く発信しています。

●沿革

神戸市ではこれまで、市民に親しまれる良い建物を表彰することにより、建物に対する市民の関心を深め、神戸の建築文化を高めることを目的とした「神戸市建築文化賞」、神戸らしい優れた都市景観の形成に寄与している建築物や工作物、市民主体の活動、屋外広告物を表彰することにより、市民および事業者の景観に対する理解と意識の向上を図ることを目的とした「神戸景観・ポイント賞」を行っていました。

これら2賞を発展させたのが、平成23年度に創設した「神戸市都市デザイン賞」であり、これまでに2回開催されました。

	開催年度	開催数	受賞作品数
神戸市建築文化賞	昭和49年度～平成16年度	全9回	66作品
神戸景観・ポイント賞	昭和61年度～平成21年度	全22回	174作品
神戸市都市デザイン賞	平成23年度～	2回	19作品

●概要

第3回神戸市都市デザイン賞には、神戸らしい景観やまちなみを形成している建築物などを表彰する「まちのデザイン部門」と、環境に配慮された優れた取り組みを行っている建築物などを表彰する「地球にやさしいCASBEE建築部門」、そして神戸の景観の魅力を伝える写真を表彰する「まちの魅力発信部門」の3部門があります。



第2回表彰式の様子

●まちのデザイン部門

①建築文化賞

◇対象

- ・神戸市内の市民に親しまれている、または神戸にふさわしい建築物

◇選考のポイント

- ・美しいデザイン（空間構成、斬新性、独創性等）
- ・高度な技術、最先端の技術（構造、設備、工法等の先進性）をもちいた建築物

◇第2回受賞作

- ・チャイルド・ケモ・ハウス（中央区港島中町）



チャイルド・ケモ・ハウス

②景観・ポイント賞

◇対象

- ・神戸らしい景観、まちなみ（※神戸らしい眺望景観50選、10選は除く。整備等されている場合は、時期を問わない。）
- ・神戸市内の建築物その他の工作物、土木構造物、広場、オープンスペース、植栽など
- ・神戸市内の屋外広告物や案内サイン等

◇選考のポイント

- ・海、河川、山なみ等の自然環境を考慮しているもの
- ・伝統的なまちなみに配慮しているもの
- ・賑わいのあるまちなみを考慮しているもの
- ・まちのシンボル、ランドマーク的存在となっているもの
- ・共同化や協調化によって、建物が新しいまちの景観を創り出しているもの
- ・住民等のまちづくり活動によって美しいまちの景観を創り出しているもの
- ・周辺と調和、あるいは建築物と一体的にデザインされ、まちなみに配慮された屋外広告物や案内サイン等
- ・わかりやすく見やすい広告物や案内サイン
- ・ユニバーサルデザインに配慮されたもの

◇第2回受賞作

- ・株式会社三ツ森 炭酸泉店（北区有馬町）
- ・新開地 聚楽横丁（兵庫区新開地水木通）

③ストック再生賞

◇対象

- ・既存建築物を転活用・改修するなど、建築ストックを再生することで新たな価値を生み出したもの
- ・当該建築物の当初の完成年次は問わない

◇選考のポイント

- ・建築ストック活用への寄与（歴史の配慮、社会的影響等）

◇第2回受賞作

- ・デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）
（中央区小野浜町）

④市民活動賞

◇対象

- ・神戸市内で美しいまちなみを形成または保全する取り組みを行っている団体の実施している活動で継続的なもの

◇選考のポイント

- ・神戸市内で美しいまちなみを形成または保全するもの



新開地 聚楽横丁



株式会社三ツ森 炭酸泉店



デザイン・クリエイティブセンター神戸



地域人材支援センター



有馬町まちづくり活動

◇第2回受賞作

- ・ 地域人材支援センター（長田区二葉町）
- ・ 有馬町まちづくり活動（北区有馬町）

●地球にやさしいCASBEE建築部門

①CASBEE建築賞

◇対象

- ・ おおむね3年以内に完成した神戸市内の建築物

◇選考のポイント

- ・ 神戸市建築物総合環境評価制度又は神戸市すまいの環境性能表示で定める基準による評価が優秀であるとともに、環境配慮等の点で特に優れた取り組みを行っているもの

◇第2回受賞作

- ・ 神戸製鋼所本社ビル（中央区脇浜海岸通）
- ・ 神戸市立医療センター中央市民病院（中央区港島南町）



神戸製鋼所本社ビル



神戸市立医療センター中央市民病院

②すまいの環境性能賞

◇対象

- ・ 概ね3年以内に完成した神戸市内の集合住宅または戸建住宅

◇選考のポイント

- ・ 神戸市すまいの環境性能表示で定める基準による評価が優秀であるとともに、環境配慮等の点で特に優れた取り組みを行っているもの

◇第2回受賞作

- ・ ヤマト住建 エネージュSSE（北区君影町）



ヤマト住建 エネージュSSE

●まちの魅力発信部門（デジタルフォトコンテスト）（※第3回新設部門）

テーマ① ビューポイント

◇対象

- ・ 「神戸らしい眺望景観50選. 10選」のビューポイント（サインが設置されているポイントに限る）から撮影された写真で、市民にそのビューポイントに誘う魅力を伝えるもの（※ビューポイントサイン設置ポイントは、神戸市ホームページにてご確認ください。）

◇選考のポイント

- ・ 市民に神戸の景観の魅力を伝えるもの

テーマ② 魅力再発見

◇対象

- ・ ①以外の場所で撮影された写真で、神戸の景観の魅力を再発見できるもの

◇選考のポイント

- ・ 神戸の景観の魅力を再発見できるもの



●応募方法

①まちのデザイン部門、地球にやさしいCASBEE建築部門

期間：平成28年1月18日（月）～平成28年3月18日（金）

方法：所定の「応募・推薦用紙」に必要事項を記入のうえ、写真を添えて、末尾記載のお問い合わせ先まで、郵送、窓口への持参、またはEメールにてご提出ください。

注意：・自薦、他薦を問いません。

・その他詳細については、神戸市ホームページや応募・推薦用紙をご確認ください。

②まちの魅力発信部門

期間：平成28年1月18日（月）～平成28年5月18日（水）

方法：必要事項と写真（ファイル形式：JPEG、5MB以内）を、末尾記載のお問い合わせ先までEメールにてご提出ください。

スマートフォンで撮影した写真も応募できます。

注意：その他詳細については、神戸市ホームページやチラシをご確認ください。

●選考のスケジュール

平成28年6月頃に選考を行い、平成28年10月頃に表彰を行う予定です。受賞した建築物などに対し、表彰とあわせて副賞を贈呈いたします。

●お問い合わせ先

（まちのデザイン部門、まちの魅力発信部門担当）

神戸市住宅都市局計画部まちのデザイン課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1（神戸市役所2号館4階）

TEL 078-322-5486、078-322-5484 FAX 078-322-6096

（地球にやさしいCASBEE建築部門担当）

神戸市住宅都市局建築指導部建築安全課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1（神戸市役所2号館1階）

TEL 078-322-5619 FAX 078-322-6116

E-mail（各部門共通）keikan@office.city.kobe.lg.jp

内容については、神戸市ホームページからもご覧いただけます。
神戸市トップページから、「都市デザイン賞」でご検索ください。



神戸市都市デザイン賞HP



E-mail

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/project/urban/scene/toshi-design.html>

たくさんのご応募をお待ちしております。

これからの安心安全タイル張りセミナー

(一社) 全国タイル業協会 理事・需要喚起委員会委員長 古津 彰宏

■はじめに

会員の皆様には昨年7月に神戸にて開催しましたタイルセミナーには多数参加頂きまして有難うございました。また集客にもお力いただきまして150名もの方々に集まっていただきました。本セミナーは一昨年にスタートして以降、全国9都市で開催し、今年も5ヶ所で開催を予定しております。

そもそもこのセミナーを考えたきっかけは、昨今の外壁タイル剥離問題です。我々タイル業界はこの問題に大きな危機感を持ち、業界全体の問題として課題解決すべく、タイル施工業者、タイルメーカーおよび元請であるゼネコン・工務店に向けて講習会や研修会を順次開催しており、また有機系接着材張りをはじめとする新工法の開発など種々の事故防止に向けた活動を続けてきました。しかしながら、正しい材料、正しい手順で施工さえすれば剥離は発生しないのですが、情けないことにその当たり前の事がなかなかできていません。ゼネコン、サブコン等業者は数多く、そのすべてに周知徹底させるのは非常に困難です。また厳しいコストダウンを要求される中で、新たなコストの発生が許されない状況もあり正しい施工が思うように広まっていまい、未だ危うい施工をしているところも散見されるというのが現状です。

ただここにきて約3年前に剥離問題に対応してJASS19が改訂されたこともあり、徐々に正しい施工が広まりつつある兆しは感じます。この流れを加速させ剥離問題とは決着をつけるべく、設計者、発注者の方々に正しい施工の重要性を訴え、発注時に材料指定・工法指定をして頂くとの趣旨で、このセミナーの開催に至りました。セミナー終了後の参加者アンケートでは「タイル剥離防止のポイントで、仕様指示が重要との説だったが、まずタイル業界自身が不具合を発生させないようにすべきではないか」との指摘を受けました。その通りなのですが、外壁タイル張りは設計から施工・検査まで全体をシステムとして捉えなければ剥離問題の解決は困難です、その上でまず我々が正しい施工に努めるとの前提での話であるにご理解ください。

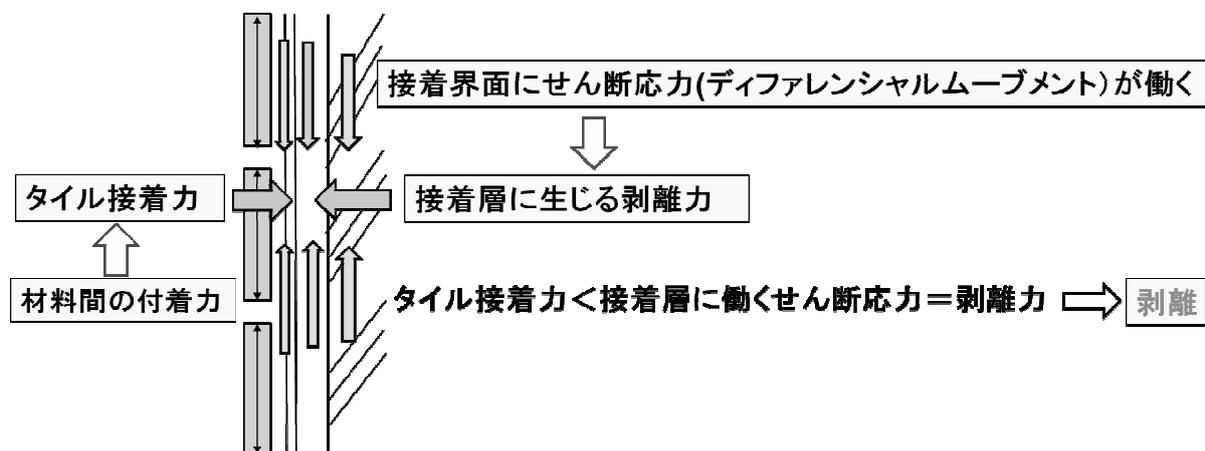
それでは簡単にセミナーの概要を説明します。



2015/7/2 タイルセミナー神戸会場

■ 剥離のメカニズム

タイルの剥離は躯体とタイルの間に異なる方向の力が発生することにより発生します。その原因はコンクリートの収縮や歪、温度による膨張率の違いです。コンクリートと鉄は同じ膨張率ですが残念ながらタイルは異なります。そこで発生する応力がタイルの接着力より大きくなると剥離するわけです。剥離をしないようにするには発生応力を小さくするか接着力を大きくする必要があります。



■ 剥離の実例と対策

セミナーではさまざまなパターンの剥離の実例を説明しましたが、現在の剥離の多くはコンクリート躯体と次の材料との界面で起こっています。コンクリート直貼りであれば張付けモルタルとの界面、躯体の不陸調整を行えば躯体と下地補修材との界面、モルタル下地を作成するならば躯体とモルタルとの界面で剥離は発生します。対策としては発生応力減少の面からは適正な伸縮目地の配置、接着力増加の面からはコンクリート面の目荒し、ポリマーセメントモルタルの使用、圧着モルタル2度塗り、付着状態の確認の徹底などが考えられます。



■ 剥離防止のために

剥離を防止するためには、新しくJASS19で規定されたプロセス検査をはじめとした正しい手順でタイル施工をしなければなりません。それに加え設計、仕様段階でのコンクリート面の目荒しの指定(150MPa以上の超高压水洗浄)や下地調整材の指定(CM-2相当品)、ポリマー入り既調合張付けモルタルの材料指定をしていただければより安心です。

■新しいタイル張り技術

たとえタイルが剥離しても落下させない工法として、ループ+モルタルに混入した繊維によって剥落を防止する「LT工法」、コンクリート躯体表面に繊維シートを打ち込んだ「ウェブフォーム工法」などがあります。また、今もっとも有望な工法として、従来のモルタルにかわり有機系接着材を使ったタイル張りがあります。

そもそも剥離の原因である応力の発生がなくなる素材ですから、剥離対策としては極めて有効です。さらに技能工の熟練度にかかわらず施工品質が安定していますので、今後の技能工不足にも対応も期待されています。完成後もタイルにクラックやエフロが発生しにくくなります、約10年前に弾性接着材張りで施工した建物を久しぶりに見に行ったのですが全く白華もなく新築当時の外壁がそのまま美しく維持されていたのは新鮮な驚きでした。



約10年前に弾性接着材張りで施工した商業施設

■タイルデザインの最新トレンド

セミナー2部ではタイルデザインの最新情報として施工例やデジタルプリント、ローラープレスなどの新しい製造技術の紹介、それを使った新しいデザインのタイル紹介をしました。講師の相澤氏より2015チェルサイエ等のタイル最新情報をご紹介します。



剥離問題が解決しても、より多くのタイルを使っていただくためには、タイルを使ったデザインそのものに魅力がなければなりません。材料は用意できますが調理の方は皆様方をお願いするしかありません。どうか新しいタイルを知って頂き、未来に通用するタイルを使った新しいデザインを開発してください。切実にお願い申し上げます。

名古屋モザイク工業(株) 相澤 昭郎

アーキトニック (ARCHITONIC.COM.スイス・2003年創立) という世界の建材ウェブサイトがある。1,500のブランドと6,200人のデザイナーによる約20万点の製品を紹介している。利用者は、約1,600万人の建築家やインテリアデザイナーである。同サイトでは2015年1月-6月の期間中に、最も人気のあったタイルとモザイクのブランドのアクセス数を集計して“チェルサイエ”会期に合わせて発表した。“チェルサイエ”とは、イタリア・ボローニャで毎年9月下旬開催されるタイルや水回りの設備における世界最大規模の展示会で、タイル産業のプラットホームと言われるまでになっている。

アーキトニックの発表によると、1位.Bisazza (ビザッサ・イタリア/1956年創立) 2位.Marazzi (マラッチ・イタリア/1955年創立)、3位Vives (ヴィヴェス・スペイン/1957年創立) であった。そこで2015年チェルサイエの新製品展示と合わせて紹介する。

1位のビザッサは、言わずと知れたガラスモザイクのトップブランドであるが、最近は同じくイタリアの“シチス”に押され気味。恒例のSTUDIO JOBも目新しさが無いが、タイル製品を強化している。しかしタイルのデザインは、すでにタイル専門のスタジオ系メーカーが様々なアイデアでしのぎを削っているため、強みとなるのかが疑問である。サイト上で最も人気があったということは、ミラノ・ロンドン・パリ・ニューヨーク・バルセロナなど8つの旗艦店の運営と約5,000の販売代理店によるプレゼンス効果であろう。ちなみに海外でモザイクといえは、ガラスや石材が主流で、セラミックタイルは日本とアジアの一部程度である。

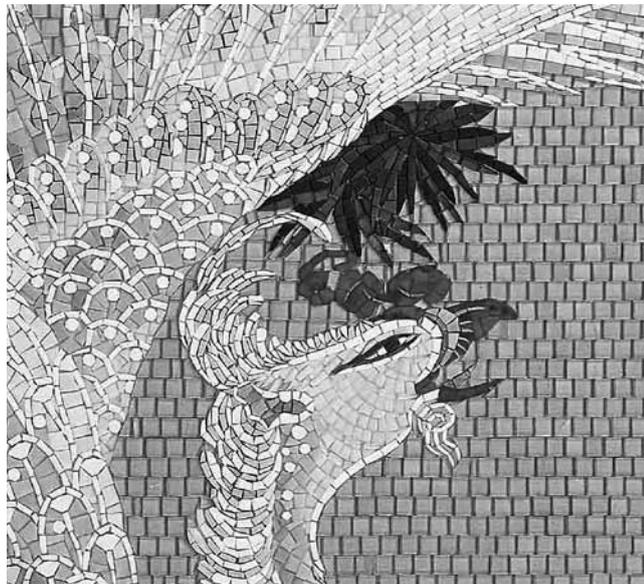
■ビザッサ STUDIO JOB



Carlo Dal Bianco氏による中国趣味のパターン。10x10mm.

Studio JobがBisazzaより発表した動物や人の骨格がデザインされたモザイク

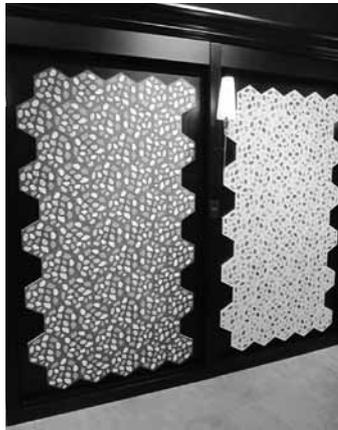
■ シチス・2015年チェルサイエ展示



SICIS 伊藤若冲コレクション#11老松白鳳図(部分)

ガラスモザイク高級路線で追上げるシチス。近年特に人気のある日本画家“伊藤若冲”をモチーフにして話題となっている。シチス・トーヨーキッチンスタイルショールームにて展示を開始している。

■ ビザッサのデザインタイル Cement Tile Collection



TOM DIXON / QUADRATE WALL GREEN
れんがサイズや洗い出しセメントをデザインしたプリント。

CEMENTILES / TOM DIXON / ESAGONALI

デザインタイルでトレンドを作るスタジオ系
メーカー チェルサイエ2015より



左：TARGET STUDIO
右：GAMMA DUE

2位のマラッチは、2015年が創立80周年にあたり、本社工場のオフィスやショールームを全面改装。バラバラにあったブランドも本社に一元化した。チェルサイエの展示会場よりは自社へ招いての集客・製品展示に力を入れた。同社は、木目タイルのトレパークシリーズが大ヒット商品で、売上の60%を占める。さらに石材のテイストにも力を入れており、31種類もの石種を写してシリーズ化している。チェルサイエ2015年は、大理石模様をリアルに再現することを追及した製品が、1つの大きなトレンドになっていたが、マラッチも大理石調タイルでは、多形状(9種)、多面状(4種)展開を打ちだして、外部に使っても統一感が保たれる設計提案をした。



工場にあるオフィスビルと外構タイルの庭。



左：ショールーム内の8本の大きな柱それぞれに大型タイルを張りこむ。
右：デジタルで進化した大理石模様を見せるシーン展示。



外装壁・外床材としてピアンコ調タイルを見せる屋外展示。
壁1200x600・床1200x400

3位.VIVESはスペインの総合タイルメーカー。元来スペインらしい赤土の内装デザインタイルが得意であるが、近年はコンテンポラリーな製品を積極的に打ち出している。スペインは全体的にタイル生産ではイタリアの先輩格になるが、プロモーションでは常に後手に回りがちで、イタリアのトレンドを半年から1年位の後追いをする製品が多い。オリジナリティをどう出せるかが、今後のスペインブランドの課題だ。



Vives社“1900 comillas” 200x200mm

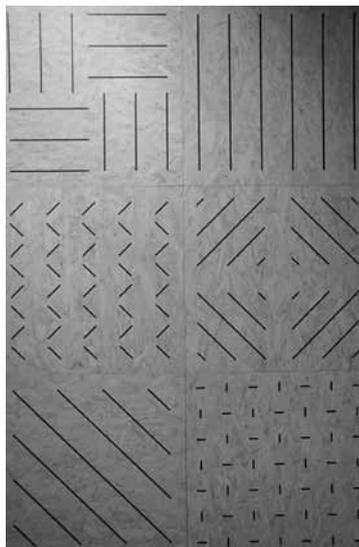
アーキトニックのサイトで良く見られたのは、“1900 comillas” 1900年代のタイルを現代的に復刻させたデザイン。



Etina シリーズ200x200mm / 2015年チェルサイエブース



工事現場の仮囲いで使われるイメージをデザイン。遊び心をそのままタイルに。



STRAND (ストランド) シリーズ 593x593mm • 593x119.3mm

独自に異なるトレンドを発信する各社であるが、3社とも、1950年代の創業でタイル産業の中では老舗の部類に入り、知名度が高い。古いメーカーが頑張っって新しい製品を作り、新規メーカーが参入して、それらを追いあげる健全な競争が、産業自体を維持する環境を作っていくのであろう。

■ アーキトニックのタイルとモザイクメーカー、ベスト10

10社中、8社がイタリアのメーカーで、イタリアをベースとしたメーカーが根強い人気を保つ。スペインは2社がランクイン。3位のヴィヴェス社と8位にイナルコ社が入った。

2015年は、内装壁タイルに加えて、集成木材であるストランドボードをモチーフとした製品を発表した。配向性ストランドボード (OSB : Oriented Strand Board) は木質ボードの一種で、下地や仮囲いなどで見かけるが、原木から切削された長方形の薄い木片を、表面層とコア層で繊維方向が直交するように、重ねて高温圧縮した「構造用木質ボード」である。そのチープな素材を、特異なデザインで提案している。

MOST POPULAR TILE & MOSAIC BRANDS ON ARCHITONIC.COM by text search (only exhibitors Cersaie 2015 included)				
RANK	TRADEMARK	BRAND	COUNTRY	FOUNDED
1		Bisazza	Italy	1956
2		Marazzi	Italy	1935
3		VIVES Cerámica	Spain	1957
4		Atlas Concorde	Italy	1969
5		Ceramiche Refin	Italy	1962
6		Ceramiche Caesar	Italy	1988
7		Ornamenta by Gamma Due	Italy	1977
8		Inalco	Spain	1970
9		Casalgrande Padana	Italy	1960
10		Lea Ceramiche	Italy	1974

第2回フォトコンテスト

広報部 前田 信行

昨年度より始めましたコンテスト。皆様の写真に対する知識や技術を高める事で仕事にも役立ちますし、何より、広報誌アプローチや支部ホームページに掲載して頂く事になり、広報誌への関心や話題も出来、また会員同志の親睦にも寄与できたのではと思っています。今年度は会員の所員の応募を可能にし、撮影期間の1年延長。そして賛助会様の御協力を頂き入賞者に副賞を添えるなど、応募しやすいように募りましたところ沢山の作品が集まりありがとうございます。審査は今年も当会の賛助会でもある大阪ガス(株)兵庫リビング営業部の平井保夫氏にいろいろとお忙しいところ無理を承知でお願いしました。ひとつひとつの作品に丁寧に講評を頂きとても感謝しております。

■フォトコンテスト結果は以下のとおり

自由部門

★最優秀賞 ……	関西塗研工業株式会社	藤田 秀人
★優 秀 賞 ……	TETSU：徹建築設計事務所 株式会社 創建設計事務所	岡田 徹 佐川 圭
★入 賞 ……	株式会社 東洋工業一級建築士事務所 株式会社 アーキノヴァ設計工房 一級建築士事務所 プラマ190	稲垣 謙一 柏本 保 竹中 郁雄

建築物部門

★最優秀賞 ……	TETSU：徹建築設計事務所	岡田 徹
★優 秀 賞 ……	一級建築士事務所 伊丹工房 前田信行一級建築士事務所	安藤 昇 前田 信行
★入 賞 ……	株式会社 創建設計事務所 一級建築士事務所 YURI DESIGN 株式会社 アトリエフルタ建築研究所	佐川 圭 前田 由利 竹下 修司

※協賛金、協賛品への御協力ありがとうございました。
三和シャッター工業(株)・(株)北村鉄工所・関西塗研工業(株) (敬称略)

《審査・講評を終えて》今年で2回目となります神戸支部フォトコンテストを今回も審査・講評をさせていただき本当にありがとうございます。初回から回を重ねるたびに、応募作品のレベルが向上しており驚いています。皆さん構図に気を配って、対比させたり、シャッターチャンスを考えたりと作品作りをされていることが分かりますし、写真を拝見していて実に楽しかったです。この調子でどんどん作品作りを続けていただきたいと心から願っています。

(審査員 平井 保夫)

[自由部門]

★★★★最優秀賞★★★★

題名『さいこーな気分!!』(藤田 秀人)



《撮影主旨》女性の様に美しい富士山に惚れてしまったので…

《講評》パステル調の淡い富士が美しく撮影されています。構図も計算されていて、プリントも丁寧に撮影者の感動が伝わります。心が安らかになる写真で、何も考えることなく心の中に入ってくる感じがしましたので、最優秀賞に選びました。ただ、題名と写真が合っていないように思います。せっかくのすばらしい作品ですので、普通に題名をつけられた方がよろしいのでは？

題名『広島元安川の夕景』(岡田 徹)

★★★優秀賞★★★

《撮影主旨》晩秋の川面に映った黄金色の風景を切り取りました。

《講評》最優秀賞にするかどうか迷いました。写真の水平が取れておらず若干上がりになっているのが何とも残念です。ビル群の夕景を絞り絞って、せっかくシルエットにして川面の反射を撮影したのですから、上下シンメトリーの構図にして、もう少し右にカメラを振れば、左右に広がりが出て更に素晴らしい写真になったと思います。



題名『えびっさんとえべっさん』(佐川 圭)

《撮影主旨》奈良の研修会の街歩きで、屋根の上に鬼瓦、ではなくえべっさんが！鎮座！ちょうどその場に戎先生が！えびっさんとえべっさんの2ショット。

《講評》まず、スナップ写真のこれしかないタイミングのシャッターチャンスを生かして楽しい写真です。題名も写真とあっています。えべっさんの瓦と戎先生の対比の撮影で題名も写真とあっています。関係者にしかわからない題名ですが、撮影の瞬間に題名まで浮かんでいたとしたら、それはそれで凄い才能だと思います。笑わせていただきました。

題名『板宿商店街キャンペーン』（柏本 保）

★入賞★

《撮影主旨》すまいるネットのウルキャラ『はかせくん』と板宿商店街ウルキャラ『いたやどかり』の2ショットです。地元での子供の人気は『いたやどかり』が圧倒的。『はかせくん』は不人気でたじたじでした。ちなみに『はかせくん』は藤谷さん（四国化研）、『いたやどかり』は北村さん（北村鉄工所）が中に入っておりましたが、当日は気温が高く、二人共汗だくでした。御苦労さまでした。

《講評》画面全体に被写体が納まっていて記念写真かスナップ写真が微妙ですが、それなりに構図も考えられています。賛助会として着ぐるみに入られたお二人（エスケー化研 藤谷さん、北村鉄工所 北村さん）のご苦労を労わって入選としました。



題名『古寺に蓮』（稲垣 謙一）



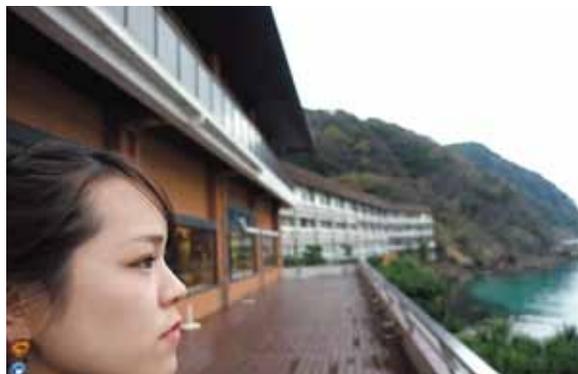
《撮影主旨》何百年もたたずむ僧庵と一期の蓮華

《講評》奥の僧庵と手前の蓮の花を対比させて、年月の経過を感じさせます。撮影意思がきっちり伝わります。撮影したカメラがわからないのですが、奥の僧庵が少しぼけていて蓮の花が強調されているのもいい感じです。ハイレベルなテクニックになりますが、逆に奥の僧庵にピントを合わせて、蓮の花を前ボケで撮っていたらどうでしょうか？テーマの主従を逆転させることで、主題の花が更に際立つかもしれません。

題名『ポートレート』（竹中 郁雄）

《撮影主旨》荒々しい海を臨むやや古びた観光ホテルで彼女は何を思うのか？

《講評》この作品も女性と建物を対比させています。撮影に意思を持って臨むのは作品を作るという意味では素晴らしいのですが、人物ですら切り取り方をもう少し考えていただくとよかったですと思います。ちょうど首のところで切り取るのはお勧めしません。女性にモデルをお願いされたはずですから、シャッターを切る瞬間に何か話しかけてにこっとしてもらうとか何か物思いにふけるとか、女性の柔らかな表情があればよかったですと思います。



★佳作★

題名『長府・古江小路』（前田 由利）



《撮影主旨》城下町長府は、合戦に備えて、赤土を固めた土塀が続きます。

この家は菅家といい、侍医兼侍講職を務めた家ですが、伏せ瓦の下に格子窓があり、古い様式をそのまま今に伝えています。瓦、蔦のからまった赤土の土塀、石垣、落ち葉。人工物と植物が層状に積み重なりながら一体化して、風景を作っています。

《講評》城下町長府の土塀とのこと。歴史を感じさせるたたずまいを真正面から小細工せずに撮影されていて好印象を持ちました。残念ながら、撮影時の解像度か、プリントか理由はわかりませんが、色がくすんでいるように感じます。写真のファイル容量は上がりますが解像度をMAXにして撮影し、プリントも専用の写真用紙にプリントするだけで写真が大きく変わると思います。

題名『希望のひかり』(安藤 昇)



《撮影主旨》仄もえる秋。ゆるる愛のころ・・・
 なかなかもえなかった安芸でした。
 光に暖かさを感じて、シャッターを切りました。宮島にて
 《講評》木々の木漏れ日に暖かさを感じてシャッターを切られたとのこと。気持ちが伝わります。いい感性をお持ちです。逆光下での撮影は露出が微妙で難しいです。デジカメは撮影した写真をその場で確認できるのですから、1枚撮って終わりではなく、数枚撮影して都度確認されることをお勧めします。太陽が真ん中で切れていることと露出補正をして全体を暗くして、紅葉をもう少し表現していただきたかったと思います。

題名『秋のタウンウォッチング』(前田 信行)



《撮影主旨》研修旅行での町歩き中、影の長さが気になり、歩きながらシャッターを切りました。
 《講評》影の長さを撮影されたのですが、強調するなら、カメラの位置を下げることで更に影を長く撮影できたのではないのでしょうか？影の真ん中の方が作者でしょうか？カメラを目線の高さで構えるのではなく、視線を変えることで非日常性が出てきます。

★佳作★

【建築物部門】

★★★★最優秀賞★★★★

題名『ノーサイド』(岡田 徹)



《撮影主旨》・・・ヤンマースタジアムのノーサイド直後の夕景
 《講評》文句なしの最優秀賞です。まず絵が美しい。夕焼け空とスタジアム、ピッチの明るさのバランスが絶妙です。建築物部門・自由部門両方を通じて最優秀の作品です。暗い部分もつぶれてしまうことなくたくさんの観客がゲームの余韻に浸っていることが分かります。メインスタンドのま正面で撮影できなかったのでしょうか？メインスタンドを中央に置いて真正面から撮影することで、ランニングトラックの白線が水平になり、完成度はさらに上がったと思います。写真の出来が良ければよいほど、些細なことが気になります。

題名『青空とジェットと原爆ドーム』(前田 信行)



《撮影主旨》この建物の見る者に訴える力は圧巻です。世界の恒久平和を祈ります。

《講評》青空をバックに小細工せずに原爆ドームを撮影されています。よく見ると原爆ドームの左上に航空機の飛行機雲を配置しています。原爆は軍用機から透過されましたが、この写真の飛行機は民間機でしょう？単なる記念写真ではない、作者の平和を願う気持ちまでが表現されています。

題名『ねこがいました』(安藤 昇)



《撮影主旨》なにげなく写した旧料亭(某伝建地区)の玄関ポストの上に猫が隠れていました。

《講評》最初見た瞬間は題名の意味がわかりませんでした。照明とその反射でしょうか？よく見ると確かに猫が隠れています。猫に見立てた光景を左端に寄せたところも憎い構図です。撮影者の鋭い感性を感じましたので優秀賞に選びました。

★★優秀賞★★

★入賞★

題名『功山寺仏殿』(前田 由利)



《撮影主旨》長府にある功山寺は、1327年鎌倉時代に創建。わが国最古の禅寺様式を残した仏殿で、国宝に指定されています。特に、大きく反り上がった檜皮葺きの2枚の屋根が美しく、それを支える軒裏の木組みがまた美しい。幕末の頃、高杉晋作が伊藤俊介(博文)らを率いて挙兵したところでもあります。700年もの歴史を静かに見守り続けてきた存在感に圧倒されます。

《講評》写したいところだけを切り取れるのが写真の面白いところで、軒裏の木組みの美しさを表現されています。バックの空が青空でなかったのが残念。もし可能であれば、晴天の夕方で少し空が暗くなりかけた時間帯に露出補正をして明るく撮影されると軒裏がもっと表現できたのではないかと思います。作品のレベルになると手間がかかるのが大変なところです。

題名『朝靄』(竹下 修司)

《撮影主旨》新聞に雲海の季節の記事が載っていたので、週末見に行った帰り道、辺りは朝靄に包まれており、ふと正面にこの光景が目に入り、車を止めて、パシャリ。

《講評》朝靄に感動されて撮影したとのこと。なかなか巡り合えないシャッターチャンスですね。逆光下の難しい撮影ですので、モニターでチェックして段階露出されたら、合掌造りが際立ったのではないのでしょうか？手前のススキが暗くなるかもしれませんが、もう少し暗い方が良かったように思います。



★入賞★

題名『いつまでも平和でありますように』(佐川 圭)

《撮影主旨》還暦前にして初めて訪れた広島。悲惨な戦争の傷跡を物語る原爆ドーム。空は快晴の青空。平和のありがたさが身に染みました。

《講評》この写真は、絞りを絞って暗いトーンで原爆ドームをシルエットにされています。この写真にも飛行機を写しこんでいます。今回のフォトコンの作品は、皆さんテクニックを使っておられますが、この写真もその1枚ですね。ドームが木と重なっているのが残念なのと少し暗くしすぎた感じがします。



題名『夢見る上海』(波多野 隆之)

★佳作★



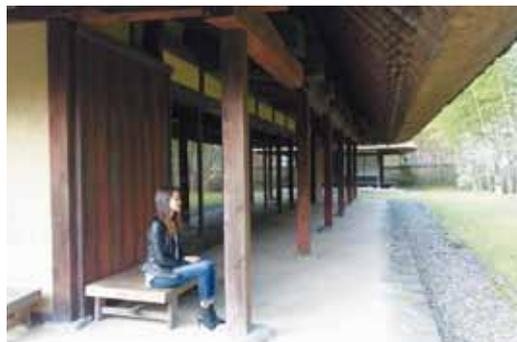
《撮影主旨》船でめぐる夜の上海は、色とりどりにライトアップされ、あるいは自信で光を放ち、光のドレス身にまとった超高層ビルやタワーが、我勝手に自身の美しさを誇示しているようです。船が進むにつれ景色が変わり、放たれる光の変化とともに、刻一刻と変化するその時々を、目に焼き付けるべきか、それともファインダー越しに観てシャッターを押すべきか、悩みながらの撮影でした。

《講評》素晴らしい夜景です。写真の綺麗な部分だけをトリミングされたのでしょうか？正方形にされるなら何らかの意図があったのでしょうか？夜景はシャッタースピードが遅くなるので手ぶれがしやすくなります。何か動かないものにカメラを押しつけて撮るなど工夫が必要かなと思いました。

題名『萱葺きと女性』(竹中 郁雄)

《撮影主旨》自然の中の伝統的萱葺き建物とピンヒールに革ジャン女性の対比が面白い！

《講評》女性を萱葺きの軒下に立っていただいた方が良かったのではないかと思います。このような構図では、人の目は軒先の一番遠いあたりに行きます。放射線状の構図の中心のところです。モデルさんがもったいない感じがします。



題名『世界平和祈聖堂礼拝室・飾り窓』(柏本 保)



《撮影主旨》世界平和祈念聖堂は原爆犠牲者の冥福を祈り、世界平和を守るために世界各国から集められた資金により、村野藤吾氏の設計で建てられ、平成18年に戦後の建築物で初めて国の重要文化財に指定された。建物全体は端正な佇まい、控え目な表現ではあるが、窓のデザインはその表情の豊かさが随所に表現されており、利用者の心を和ませる役割を果たしている。

《講評》室内から外を撮影する際、コントラストの差が大きいため非常に困難な撮影条件です。室内に露出をあわせると外は真っ白に飛んでしまいますので、これは室内を犠牲にして外に露出をあわせるべきでしょう。そうすると露出はもっと暗いのが適正になります。窓枠をきっちり水平に写すこと、窓を写真のどこに配置するのか、ここらが重要なと思います。

平成27年度 1級建築士 設計製図試験

兵庫県
ストレート合格者占有率
合格者占有率

No.1

兵庫県ストレート合格者のおよそ7割が
当学院現役受講生!

兵庫県 学科・製図
ストレート合格者占有率
[平成27年度 学科+製図合格]

兵庫県ストレート合格者 60名中
当学院現役受講生 41名

他講習
利用者
+
独学者
当学院
現役
受講生

68.8%

兵庫県合格者の6割以上が当学院現役受講生!

兵庫県 合格者占有率

兵庫県合格者 149名中
当学院現役受講生 90名

他講習
利用者
+
独学者
当学院
現役
受講生

60.4%

※都道府県合格者数および都道府県ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センターの発表に基づきます。総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 <平成27年12月17日現在 >

1級・2級建築士 受験対策講座

受講生募集中!

無料体験入学実施を実施しております。
詳しくは下記最寄校までお気軽に!



総合資格学院 平成28年度 建築士合格者占有率目標

平成28年度もより多くの合格者を輩出できるよう、スタッフ一丸となってサポートします!

1級建築士試験
ストレート合格者占有率
(学科+製図)

95%

1級建築士学科試験
合格者占有率
最低ライン80%以上
取組中(目標90%以上)

90%

2級建築士試験
ストレート合格者占有率
(学科+製図)

70%

2級建築士学科試験
合格者占有率

60%

現在に至る経験と知識を 研鑽し、証明する絶好機!

実務に従事される方が、自らの知識と経験を第三者に証明するために最も有効な方法は、専門性の高い、より上位の資格取得です。設備に関する熟練者としての建築設備士、設備設計1級建築士、構造に関する専門家としての構造設計1級建築士。資格取得は更なる躍進への絶好機です。

平成28年度試験対策

1級建築士 合格実績 **No.1** 指導校の**上位資格対策講座!!**

構造設計
1級建築士対策講座

設備設計
1級建築士対策講座

ライブ or DVD or E-講義



新規講座順次開講! **NEW 建築設備士** DVD or E-講義

各種講座の詳しい情報や受講相談など、お電話またはオフィシャルサイトからお気軽にお問い合わせください。

願書 取り寄せ **無料**
サービス実施中!

当学院が責任を持って各資格の願書をお渡しするので、入手し忘れの心配無用。最寄校または、QRコードからお申し込みください。



1級・2級 **建築士**

構造設計1級建築士
設備設計1級建築士

建築設備士

1級・2級
建築施工管理技士

1級・2級
土木施工管理技士

宅地建物取引士

インテリア
コーディネーター



総合資格学院

www.shikaku.co.jp 総合資格 検索 Facebook [総合資格 fb]で検索!

私たち総合資格学院は
おかげさまで創立35周年を迎えました。
これからも有資格者の育成を通じて、
業界の発展に貢献して参ります。



総合資格学院
学院長 岸 隆司

神戸校

兵庫県神戸市中央区雲井通 4-2-2 マークラー神戸ビル 3F
TEL.078-241-1711

姫路校

兵庫県姫路市白銀町 50 番地 日本生命姫路ビル1F
TEL.079-224-1411

ショールームのご案内



～あべのハルカスにショールームがOPENしました～



当ショールームは商品の情報をタイムリーに発信するとともに商談や情報交換から出された要望・課題を新商品の開発に反映させるコミュニケーションの場としても活用していきます。



ミーティングスペース



プレゼンルーム

見学は予約制ですので、弊社担当者にお問い合わせ下さい。

神戸市場開発課 担当：三原 ☎ 078-871-5557



アクセス ※JR天王寺駅
※大阪市営地下鉄天王寺駅
※近鉄阿部野橋駅

☆あべのハルカスB1Fよりシャトルエレベーターにて17Fまで上り、フロア中央の中層階エレベーターに乗り換え 27Fで降りてください。

三和シャッターショールーム
〒545-6027
大阪府大阪市
阿倍野区阿倍野筋1-1-43
あべのハルカス27F

「脱出経路確保」という観点で

地震に立ち向かう!

それが私たちの使命です。

おかげさまで

10年で4631件

マンションの「玄関ドア対震改修事業」進行中!!

近い将来発生するとされる南海トラフ地震。

今、これに備えておくことが必要です。

北村鉄工所は、「マンションの地震対策」の一環として、

住戸からの脱出経路の確保となる「玄関ドアの対震改修工事」を進めてきました。



一方、マンションの大規模改修工事において、「地震対策工事」の導入を促すために、当協会会員の皆様と共に、管理組合に向けたセミナー開催など、徐々に普及活動を進めております。

activity

1

神戸市すまいるネット共催セミナー

「高経年マンションの地震対策」開催しました!



第2回もご期待ください!

2013年11月23日すまいるネットにて、正会員(株)アーキノヴァ設計工房様、賛助会員菱電エレベータ施設(株)様との協働にて開催。市内のマンション管理組合から、18名の聴講ご参加をいただきました。

activity

2

当社が独自で実施した
玄関ドアの対震改修工事の
実績は、おかげさまでこの10年間で
4,631件に上ります。

伊丹市「桜台ハイツ」/神戸市「北野ダイヤハイツ」/神戸市「和光ハイマート」など、兵庫県下でも多くのマンションで当社の対震ドアは採用されています。



activity

3

UR都市機構の全国の
マンションの玄関ドアの
耐震化に採用!
現在、工事進行中



activity

4

全国の国家公務員宿舎に
採用決定!

対震丁番・累計出荷数611,306個(2013年10月末現在)

TOYOTAプリウスのバッテリーを製造するクリーンルームに、
摩耗による金属粉を抑える丁番を納入。

K-iw 株式会社北村鉄工所

本社/大阪市東住吉区桑津4丁目12-22

TEL.06(6719)3031 FAX.06(6719)3043

<http://www.taishin-hinge.com/>

NEW

Leica Nova MS50 Geosystems

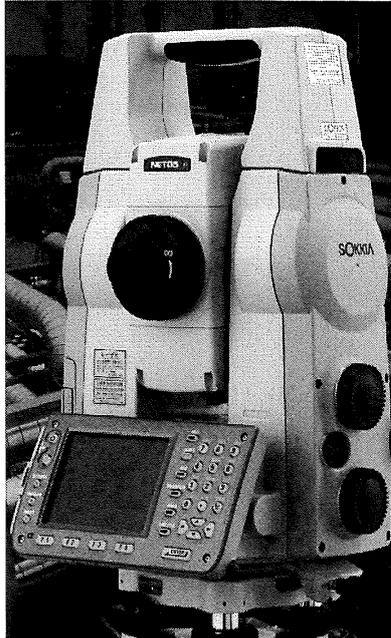
NEW ついにレーザーキャナーと光波測距儀が融合
オートフォーカス同軸カメラ内蔵
ライカの技術力が可能にした次世代3次元計測機

- スペック Leica Nova MS50 MultiStation
- 測角精度 1"
- 測距レンジ プリズム 1.5m to >10000m
ノンプリズム 1.5m to 2000m
- 測距精度 シングル(プリズム) 1mm+1.5ppm
シングル(ノンプリズム) 2mm+2ppm
- スキャンング レンジ 300m (1000Hzモード)
1000m (1Hzモード)
- スキャンング レンジ/サイズ 1.0mm at 50m (1000Hzモード)
0.6mm at 50m (1Hzモード)
- 内蔵カメラ 5メガピクセル CMOS センサー
視野角 19.4°
フレームレート 20 フレーム/秒 以上
- 望遠鏡部 オートフォーカステレスコープ 30x 1.7m to infinity
- 本体重量 7.6kg (バッテリー含む)



NEW

「大物測定の効率化」を促進する AUTO 3Dステーション



Model	NET05AX	NET1AX
測角部		
精度	0.5"	1"
最小表示	0.1"/0.5"選択可	
測距離		
測定可能範囲 (気象条件:良好時)	ノンプリズム 100m 反射シート (RS50N-R 正対時) 200m 1素子AP 反射プリズム 3,500m	400m 300m 3,500m
精度	ノンプリズム 1mm+1ppm 反射シート (弊社製使用正対時) 0.5mm+1ppm AP/CP 反射プリズム 0.8mm+1ppm	2mm+1ppm 1mm+1ppm 1mm+1ppm
最小表示	0.01/0.1mm	0.1/1mm
自動視準部		
最長自動視準可能範囲	1素子AP 反射プリズム 1,000m 反射シート 50m	
自動視準精度	1素子AP 反射プリズム 1" (1mm@200m) 反射シート 4" (1mm@50m)	

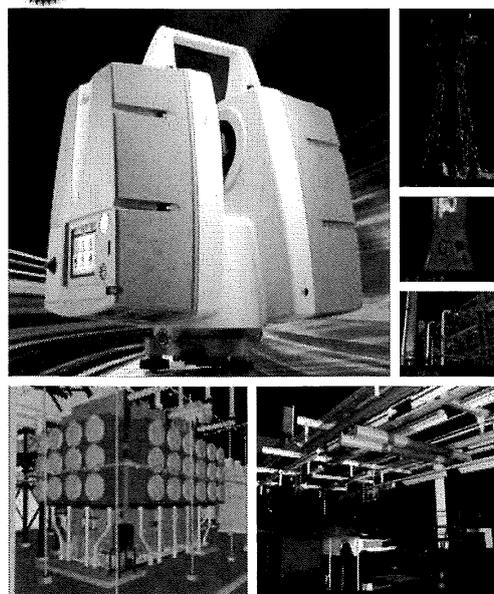
超高速レーザーキャナー

スキャンレート	最大 1,000,000 点 / 秒			
レンジノイズ	距離	黒 (10%)	グレイ (28%)	白 (100%)
	10 m	0.8 mm rms	0.5 mm rms	0.4 mm rms
	25 m	1.0 mm rms	0.6 mm rms	0.5 mm rms
	50 m	2.8 mm rms	1.1 mm rms	0.7 mm rms
	100 m	9.0 mm rms	4.3 mm rms	1.5 mm rms

NEW

Leica ScanStation P20

世界トップの高パフォーマンスを実現超高速レーザーキャナー、スキャンングのすべてのワークフローをカバー



仕様	
半角測定精度	3mm@50m; 6mm@100m
産標精度	±1mm
リニアリティエラー	8" (水平)/8" (鉛直)
測角精度	2" (水平)/2" (鉛直)
ターゲット測定精度	2mm (50mまでの標準偏差)
2軸コンベンセータ	任意オン/オフ、分解能1"、ダイナミックレンジ±5°、精度1.5"
ワークフローを加速する	
レーザータイプ	超高速タイムオブライイト方式レーザー、ウェーブフォームデジタイズ (WFD) テクノロジー搭載
レーザー波長	808nm (不可視) / 658nm (可視)
レーザークラス	2 (IEC60825-1)
ビーム直径	0.2mrad
前面ウインドウでのビーム径	±2.8mm
測定範囲	120m@反射率18% (最短測定可能範囲0.4m)
スキャンレート	最大1,000,000点/秒
レンジノイズ	距離 黒 (10%) グレイ (28%) 白 (100%) 10m 0.8mm rms 0.5mm rms 0.4mm rms 25m 1.0mm rms 0.6mm rms 0.5mm rms 50m 2.8mm rms 1.1mm rms 0.7mm rms 100m 9.0mm rms 4.3mm rms 1.5mm rms
スキャン時間と解像度 (時間/分)	7段階のポイント密度測定 mm@10m 密度 品質レベル 1 2 3 4 50 00:20 00:20 00:28 — 25 00:33 00:33 00:53 01:43 12.5 00:58 01:44 03:24 06:46 6.3 01:49 03:25 06:46 13:30 3.1 03:30 06:47 13:30 26:59 1.6 13:33 27:04 54:07 — 0.8 54:07 1:48:13 — —
スキャン範囲	360° 水平 鉛直 視準
	360° 270° 視準なし、内蔵ズームビデオ



ISO9001 認証



株式会社 神戸清光 システムインストルメント

KOBE SEIKO SYSTEM INSTRUMENT CO.,LTD.

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 5-10-9
TEL : 078 (681) 5789 FAX : 078 (681) 8357
E-mail : ksi-kobe@kobeseiko.co.jp



校正・検査
事業者認定

適用範囲: 測量機器の校正・修理サービス
適用事業所: 本社営業部 測量技術課
品質保証部 大阪支店

レーザー3次元計測機・精密測量機械・計測機器・測定機器・気象環境機器
試験機器・情報機器・保安用品 販売、レンタル、修理、計測、システム開発

BX*Go! Next 60*

おかげさまで60周年

文化シャッター

Life in & Lifelong Partnership

文化シャッターはお客様に安心・安全を提供する「快適環境のソリューショングループ」を目指します。

「待ったなし」の増水時。 あなたはどう動きますか？

ゲリラ豪雨により相次ぐ浸水被害。一気に水かさが増す状況で、決め手となるのは“素早く対策ができること”。文化シャッターの止水製品はカンタン・スピーディに設置が可能。緊急時も安心してお使いいただけます。

フロントやドアのある開口部、仕切りが無い開口部に

BX止水板

ラクセット

工事不要のカンタン対策。

開口部に金具で固定するだけなので、様々な場所に取り付け可能。設置後にまたいで出入りすることもできます。

簡単
スピード設置

様々な開口部に
取り付け可能

工事不要で
導入可能



ビルや店舗などの通用口に

止水ドア

アクアード

(片開きスチールタイプ)

浸水対策を1枚のドアで。

非常時は「レバーを水平に引き上げる」だけ。扉が枠に密着し、屋内への水の浸入を抑制します。

高い止水性能

軽い操作性

優れたコスト
パフォーマンス



シャッターまたはフロントのある開口部に

簡易型止水シート

止めピタ

急な増水時もスピード設置。

女性ひとりで持ち運びできる軽さで設置もカンタン。土のうのデメリットを解消し緊急時に備えます。

軽量

スピード設置

コンパクト収納



文化シャッター株式会社 関西営業開発部 神戸

〒650-0027 兵庫県神戸市中央区中町通2-1-18 日本生命神戸駅前ビル10F TEL.078(371)3853 <http://www.bunka-s.co.jp/>

大阪ガス発祥の地に、食と住まいの情報発信拠点

大阪ガス

“hu+gMUSEUM”をオープンいたしました。見て、触れて、味わって、ご体感ください。



MUSEUM

ハグミュージアム



館内ガイドツアー

(無料・要予約)

館内をガイドによりご案内します。(所要時間30分～)



クッキング体験

(有料・要予約)

お料理しながら最新のガスコンロの先進性・便利性を体感いただけます。ご家族やご友人と楽しく学べる多彩なメニューをお手頃価格でご提供します。(1,000円～)



ミスト体感

(無料・要予約)

体にやさしく、芯まであたまるミストカワックの体感ルームです。お気軽にご体感ください。(所要時間60分～)



〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2番59号

TEL: 06-6586-3789(代表)

<http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/hugmuseum/index.html>

■開館時間・休館日

【1F-4F】10:00～18:00 水曜日(祝日は開館)・年末年始休館

【5F】10:00～17:00 土日祝・年末年始休館

※5Fは完全予約制

電車・バスをご利用の場合

■大阪市営地下鉄 長堀鶴見緑地線「ドーム前千代崎」駅

下車 ①番出口より徒歩3分

■阪神なんば線「ドーム前」駅 下車 ②番出口より徒歩3分

■JR環状線「大正」駅 下車 正面の信号を渡り右へ徒歩7分

■大阪市交通局 市営バス

○野田阪神前、鶴町四丁目、地下鉄住之江公園方面から

「ドーム前千代崎」バス停下車徒歩3分

○なんば、天保山方面から「大正橋」バス停下車徒歩5分

▶▶▶ ご見学をご希望の方はこちらまで ※団体での見学も可能です

大阪ガス(株) 法人第2営業部 兵庫営業チーム

TEL

078-360-3024

担当

平井

日本の環境に適したその性能が、
いま各種施設で選ばれています。

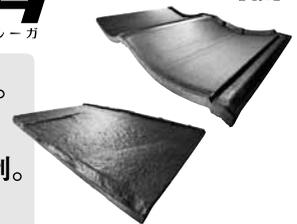
KMEW

自然災害に強い屋根材。

ROOGA
ルーガ

ROOGA [雅]

- 地震に有利な軽量設計。
- 台風でも飛散しにくい。
- 紫外線による変色を抑制。
- 衝撃への強さを発揮。



ROOGA [鉄平]

日本の気象条件に耐える雨とい。

アイアン「サーフェスケアFS-II型」

- 夏も冬も変形しにくい。
- 雪や土砂の重みに強い。
- 飛来物の衝撃に耐える。
- 経年の色あせを抑える。



ケイミュー株式会社 [神戸営業所] 〒650-0031 神戸市中央区東町126 神戸シルクセンタービル8F
(旧社名:クボタ松下電工外装株式会社) ●ホームページアドレス <http://www.kmew.co.jp/>

お客様
ご相談窓口

ナビダイヤル **0570-005-611**
受付時間:月～金 9:00～17:00 FAX.0743-57-9885



資産価値を守る大規模修繕工事



国土交通大臣許可(特-27)第14858号

関西塗研工業株式会社

本社 大阪市福島区海老江8丁目8番7号
〒553-0001 TEL(06)6454-1271(代)

FAX(06)6454-1672

神戸営業所 神戸市中央区神仙寺通4丁目6番14号

e-mail : info@kansaitoken.co.jp

http://www.kansaitoken.co.jp



FS556255/ISO9001:2008

ISO認証 9001:2008/ JIS Q 9001:2008 認証取得
(鋼構造物大規模改修工事部門)

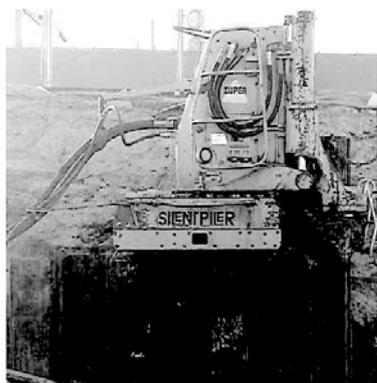


建物の礎を、創造し、形にする会社

大創建設工業株式会社

〒650-0015 神戸市中央区多聞通3丁目3番7号
TEL (078) 371-0325 FAX (078) 341-6015

E-mail : daisou@arion.ocn.ne.jp



営業品目

- ・各種土留工事の設計及び施工
連続地中壁、H形鋼打抜、鋼矢板打抜
山留支保工・仮設棧橋の架設、アンカー工、霧液注入工
ダウンザホールハンマ、大口径ポーリング工法 (BH)
- ・既製コンクリート杭・場所打ち杭・鋼管杭の設計及び施工
- ・既存杭の引抜・破碎工事
- ・深礎混合処理工 (柱状地盤改良工事)
- ・一般土木請負工事他

入会のご案内

当協会では随時、正会員・賛助会員を募集しております。
入会に関する質問は、メール・FAX・電話にてお問い合わせ下さい。

会員の種別

正会員… 建築士法により兵庫県下において建築士事務所を開設し事務所登録をした開設者の方。

会費	54,000円/年	入会金	50,000円
----	-----------	-----	---------

賛助会員… 本会の目的に賛同する正会員以外の個人または法人を会員とします。

会費	50,000円/年	入会金	入会金なし
----	-----------	-----	-------

※上記会費・入会金の他に、各支部の規定により若干の支部費を納めて頂くことがあります。

入会の手続き

入会は、入会申込書を支部に郵送してください。到着次第連絡いたします。

入会申込書の提出

申込書にご記入の上、
原則、会員になろうとする
事務所の所在地がある
支部へご提出ください。

入会手続き

提出いただいた
入会申込書は支部を経由し
本部理事会にて正式承認と
なります。

入会手続き完了

入会手続き完了後、
①会員の章 ②会員名簿
③建築設計関係業務報酬表
④広報誌「くすのき」
⑤日事連会報月刊「日事連」
⑥会員証 を随時発行いたします。



■アプローチ46号投稿のお願い

本誌面を通じ会員の交流や意見、研究等の発表の場として活用して戴きたく、会員・賛助会様には、内容については自由ですのでたくさんのご投稿をお待ちしております。

投稿先

〒657-0822 神戸市灘区畑原通3丁目8-12-101

前田信行一級建築士事務所 前田信行

TEL.078-881-5640/FAX078-871-0123

E-mail : maeda-ao@mud.biglobe.ne.jp



編集後記

この一年、関東で大変な災害があり、訪日外国人旅行者数が2000万人ほどになり、猿買、ドローン、五郎丸、自撮棒、MRJ、パリのテロ、戦後70年、大阪都構想、火花、等々、色々ありましたが、今国内に800万戸を超える空き家があるそうです。つまり8戸に1戸は空き家です。これは全国に分譲マンション総戸数約600万戸より多いそうです。少子高齢化が進む中益々家余りが進んで行く事でしょう。建築士の一員として又、神戸支部としても積極的に取り組んでいかなければならない命題だと思います。

さて、今年度も神戸支部広報誌「アプローチNo45」の発行が皆様のご理解、ご協力のおかげをもちまして、お忙しい中たくさん投稿を頂きました。興味深い内容の各紙面となり関係者の方々に改めまして深く感謝いたします。

広報部 岡田 徹

